

日本

# 生理学

雑誌

JOURNAL OF THE PHYSIOLOGICAL SOCIETY OF JAPAN

56巻 8・9号 1994

## 第71回日本生理学会大会

平成6年3月24日～26日

香川医科大学

第71回日本生理学会大会記念写真

***INFORMATION*** ..... 225

***RECORDS*** ..... 229

第71回日本生理学会大会を主幹開催して(当番幹事) ..... 239

第71回日本生理学会大会目次 ..... 243

シングルチャネル・データ  
解析用ソフトMAC-TAC、  
遂に登場!



## ドイツ・ヘカ社／パッチクランプ・システム EPC-9 Version Macintosh

あの新世代パッチクランプ・システムEPC-9が、  
新しいパートナー、マックⅡとめぐり逢いました…

- ◆ドイツが世界に誇る2大オーソリティ、ヘカ社の技術と、マックス=プランク研究所のオリジナリティ。これらを見事に融合させた数々のパッチクランプ専用デザインで武装しています。
- ◆アンプ、スティミュレータ、オシロスコープを統合し、マックス=プランクのノウハウに基づいたソフトウェアと、アップル社のマッキントッシュⅡで駆動します。多彩なユーティリティと使いやすさを高次元で両立させて、すべてのパッチクランパーを強力にサポートします。

※EPC-7でも使えるソフトウェア(Pulse・PulseFit・MAC-TAC)のサンプルをご提供しています。  
詳しくは下記へお問合せ下さい

ヘカ社日本総代理店  
EPC-9 西日本総発売元

 ショーシンEM株式会社

〒444-02 愛知県岡崎市赤波町蔵西1-14  
ショーシンビル2F

TEL. 0564-54-1231

FAX. 0564-54-3207

EPC-9 東日本総発売元

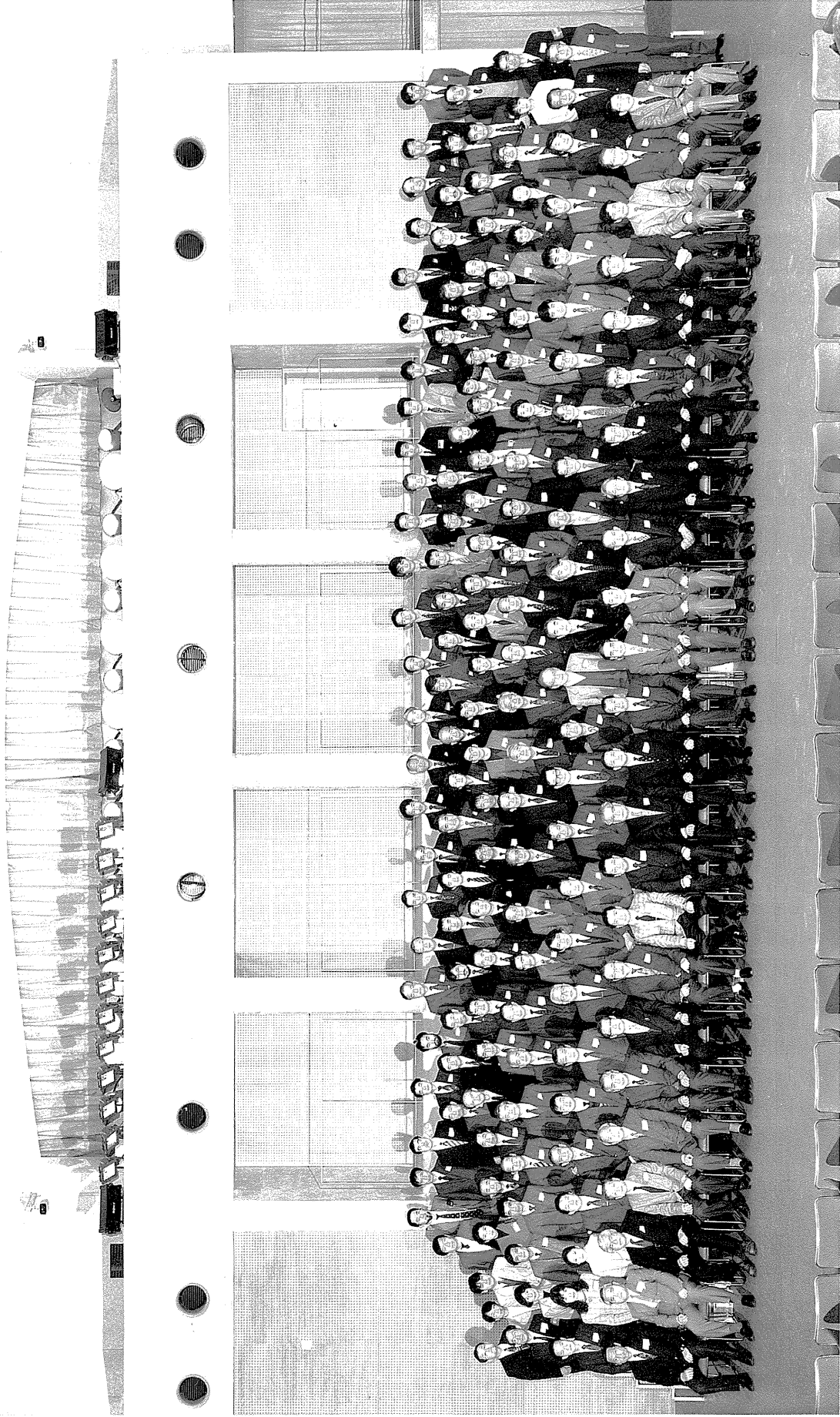
(*Physio-Tech*)

株式会社 **フィジオテック**

〒101 東京都千代田区内神田3-10-3  
コイイダビル4F

TEL. 03-3258-1641

FAX. 03-3258-1657



第71回 日本生理学会大会

平成6年3月24日～26日 於 香川医大（高松市）

## 目 次

### **INFORMATION**

日本時間生理学会	225
国立循環器病センター流動研究員募集	225
福岡女学院短大生活学科教員公募	225
1995年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者 及び研究助成候補者の推薦依頼について	226
(財)ブレインサイエンス振興財団, 第9回研究助成候補者・塚原仲晃記念賞 受賞候補者及び第8回国際交流助成候補者の推薦を公募	227
日本生理学会大会英文抄録を査読して	227

### **RECORDS**

日本生理学会平成6年度第1回常任幹事会議事録	229
第71回日本生理学会大会評議会・総会議事録	232
第71回日本生理学会大会目次	243

## INFORMATION

### 日本時間生理学會 the Japanese Society for Chronobiology 第1回設立記念学術大会

日時：平成6年10月1日(土), 2日(日)

場所：都市センター  
東京都千代田区平河町2-1-1  
TEL 03-3265-8211

特別講演：Professor William J. Schwartz  
Department of Massachusetts Medical  
School  
Molecular Mechanisms of Photic Signal  
Transduction in the SCN (tentative)  
座長 千葉 喜彦 (日本生物時間学会会長)

シンポジウム：老化とサーカディアンリズム  
—基礎と臨床から—

柴田重信 (九州大学薬学部)  
神経伝達物質と老化  
白川修一郎 (国立精神・神経センター精神保健研  
究所)  
睡眠・覚醒リズムの老化

山岡貞夫 (獨協大学第一生理学)  
加齢によるサーカディアンリズムの変化と視  
交叉上核

貴邑富久子 (横浜市立大学第二生理学)  
脳の活動リズムと老化

三島和夫 (秋田大学医学部精神医学)  
痴呆老年者の活動・休止・および深部体温の  
概日リズム障害特性

田村康二 (山梨医科大学第二内科)  
老化と血圧リズム

司会 高橋清久 (学術大会長)  
大川匡子 (学術大会長)

問い合わせ先：国立精神・神経センター武蔵病院  
第1回日本時間生物学会学術集会事務局  
TEL 0423-46-1728  
FAX 0423-46-1774

### 国立循環器病センター流動研究員募集

資格：採用日において、原則として35歳未満の  
者で、大学(学部を問わない)卒業後2年  
以上の研究歴を有する者、又はこれに準  
ずる者。

研究課題：指定5課題のうち1課題を専攻する。

採用日：平成7年4月1日

任用期間：1年度ごとの評価により、3会計年度を

限度として再採用を行う。

願書締切：平成6年10月31日(月) <必着>

願書請求先：〒565 大阪府吹田市藤白台5-7-1

国立循環器病センター企画室研修係

TEL 06-833-5012 (内線2216)

(切手を190円分同封して下さい。)

### 福岡女学院短大生活学科教員公募

- 募集教員：生活学科専任教員1名(教授, 助教授  
または専任講師)
- 担当科目：生理学, 衛生学, 育児学およびその関  
連科目
- 採用予定：1995年4月1日
- 応募資格：①大学院修士課程修了以上またはこれ  
と同等の資格があると認められる者  
②65才位以上または35才位以下  
③キリスト教信者または理解者
- 応募締切：1994年10月末日

6. 提出書類：①自筆履歴書(写真添付) 1通  
 ②研究業績一覧表 1通  
 ③研究業績現物または写し 各1部

7. 提出先及び問い合わせ先：  
 〒816 福岡市南区日佐3-42-1  
 福岡女学院短期大学 事務部長  
 TEL 092-581-1492(代)  
 FAX 092-575-2480

## 1995年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者 及び研究助成候補者の推薦依頼について

「女性科学者に明るい未来をの会」(1980年創立)は、自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者に、毎年、賞(猿橋賞)を贈呈してまいりました。

1990年度からは、さらに、海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する若手の女性研究者にたいし、研究助成することにいたしました。

賞金と助成金は、1990年3月に本会を母体として新設された、公益信託「女性自然科学者研究支援基金」(受託者 東洋信託銀行株式会社)から支出されます。

つきましては、下記の要領により受賞候補者と研究助成候補者の推薦をお願いいたします。

### 記

#### 猿橋賞

1. 本賞は自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者(ただし、下記の推薦締切日で50歳未満)に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞金(30万円)をそえます。
3. 本賞の贈呈は1年1件(1名)です。
4. 所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由(400字程度)、略歴、主な業績リスト、主な論文別刷10編程度を、本会事務所までお送り下さい。
5. 締切は1994年11月30日(必着)。
6. 第15回の賞贈呈式は、1995年5月、東京において行なう予定です。  
 なお、最近3年間の猿橋賞受賞者は次の通りです。

#### 猿橋賞受賞者

- 第12回(1992) 国立核融合科学研究所助教授  
 加藤隆子博士  
 「高温プラズマの原子過程の研究」

- 第13回(1993) 東京大学教養学部教授  
 黒田玲子博士  
 「非対称な分子の右左やDNA塩基配列の識別のしくみの研究」

- 第14回(1994) 岡山大学理学部助教授  
 白井浩子博士  
 「ヒトデの排卵と卵成熟のしくみの研究」

#### 研究助成

1. 海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する女性研究者に対し、研究助成をいたします。
2. 助成金は1件10万円とし、年に数件とします。
3. 所定の用紙に推薦対象者(各締切日において満40歳未満)の略歴、研究業績、国際会議名(主催団体、開催場所、年月日)、発表論文題目、推薦理由等を記入して、本会事務所までお送りください。
4. 締切は1994年11月末日と、1995年4月末日の2回。  
 なお、1992年度以降の研究助成金受給者は次の通りです。

- |       |                |
|-------|----------------|
| 池田裕子  | 京都工芸繊維大学助手     |
| 田村知子  | 大阪市立工業研究所研究員   |
| 井上美穂  | 京都大学霊長類研究所講師   |
| 内海紀代美 | 東京大学大学院理学研究科在学 |
| 木下圭   | 日本医科大学助手       |
| 本間美和子 | 東京医科歯科大学医学部助手  |
| 熊谷紫麻見 | 日本学術振興会特別研究員   |
| 山口知子  | 東京都立工業高専助教授    |
| 青木圭子  | 静岡大学工学部助手      |
| 筑本知子  | 東京大学工学部技術補佐員   |

- 女性科学者に明るい未来をの会  
 〒166 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217  
 電話 03-3330-2455(FAX 兼用)

**(財)ブレインサイエンス振興財団、第9回研究助成候補者・塚原仲晃記念賞  
受賞候補者及び第8回国際交流助成候補者の推薦を公募**

ブレインサイエンス振興財団では、平成6年度の助成、褒賞事業として下記の事業を行う計画で、候補者の推薦を公募している。

**I. 助成、褒賞事業**

**1. 研究助成：**

ブレインサイエンスの分野において国際的評価に値する研究の助成。研究分野は、脳神経に関する実験的研究のみならず理論、モデリング研究をも含む。

助成件数 8件, 1件 100万円

**2. 塚原仲晃記念賞：**

生命科学の分野において優れた独創的研究を行っている45歳以下の研究者に賞牌及び賞金200万円を贈呈。

(原則として1件)

**3. 派遣助成：**

ブレインサイエンスの研究の促進を図るため、国際学会、シンポジウム等への参加、あるいは短期間の共同研究のための研究者の海外派遣の助成。往復航空運賃を40万円を限度として若干件助成。

(助成総額 150万円)

**4. 招聘助成：**

ブレインサイエンス研究分野において、独創的テーマに意欲的に取り組んでいる外国人研究者の短期間(3ヶ月以内)の招聘の助成。往復渡航運賃または滞在費を40万円を限度として若干件助成。

(助成総額 100万円)

**II. 推薦方法：**

関連学会代表責任者または研究者の所属機関長及び当財団の理事、評議員の推薦による。但し、所定の用紙に必要事項を記入すること。

**III. 推薦締切日：**

1及び2については平成6年11月30日(水)

3及び4については平成7年1月17日(火)

**IV. 選考：**

選考委員会での選考を経て、平成7年3月中に評議員会、理事会で決定。

推薦要領及び推薦書式を御希望の方は、80円切手同封のうえ財団宛文書でお申込下さい。

(財)ブレインサイエンス振興事業団

〒104 東京都中央区八重洲2-6-20

ホンダ八重洲ビル 内

電話 (03) 3273-2565

**日本生理学会大会英文抄録を査読して**

高松で開催された第71回日本生理学会大会で発表された演題抄録の英文校閲を担当された Professor Charles Edwards から校閲時の感想が寄せられましたので、原文のままここに転載いたします。Edwards 先生は以前2回ほど日本で英文論文の書き方の講習会の講師をされましたので、受講された方も多いことと思います。ご自分の書かれた抄録がなぜ直されたのか、疑問を感じておられる方もあると思いますが、今後の参考になれば幸いです。

JJP 編集委員会委員長 金子章道

The object of editing an abstract is to help the reader understand what you did, why you did it, and what you learned. I know how much work the usual abstract represents, and so I feel it is most important that it be written so as to convey as much information as possible.

Some specific comments and examples :

- 1) the first sentence should introduce the reader to the work ; this is most easily done by relating something about the state of the field and why you did the experiments :

To determine whether growth hormone, which causes muscle to develop, also affects the nervous

system, we measured its effect on avoidance learning in rats.

- 2) it helps the reader if there is a closing sentence summarizing the findings :

The potentiation of avoidance learning by growth hormone suggests that in rats a development type process may underlie avoidance learning.

- 3) long sentences with respectively are a bit clumsy: instead of ;

Injection of growth hormone increased body temperature, heart rate, respiration rate and blood pressure by 37%, 42%, 56% and 83%, respectively.

it is better to say :

Injection of growth hormone increased body temperature by 37%, heart rate by 42%, respiration rate by 56% and blood pressure by 83%.

- 4) verb tenses: the common practice is to express the work being described in the past tense, and previously reported work in either the present or past tense. Note, however, that not everyone does this.

- 5) adjectival phrases, that is phrases describing something should be placed as close as possible to what they are describing; instead of :

Examination of catalase revealed much denaturation in X-ray at high concentration.

it is better to say :

Examination of catalase at high concentration revealed much denaturation.

Many of the abstracts were quite good and required only minimal changes. A few of the changes, such as the use of the articles (a, an, and the) and the use of singular and plural verbs are partly a matter of style. The rules are less strict and therefore other people may handle them somewhat differently from the way I did. My only other comment is that I learned from the two writing workshops that I conducted in Japan that one's colleagues can frequently be very helpful. Therefore if you have colleagues who will read your abstract and comment on it, take advantage of them.

## RECORDS

### 日本生理学会平成6年度第1回常任幹事会議事録

日 時：平成6年3月23日(水) 14:00~18:00  
 場 所：リーガホテルゼスト高松(ダイヤモンドの間)  
 出席者：有田 眞, 植村慶一, 小澤静司, 小野武年, 加藤正道, 金子章道, 菅野義信, 工藤典雄, 久場健司, 熊澤孝朗, 熊田 衛, 栗原 敏, 佐藤昭夫, 佐藤 誠, 高橋國太郎, 津本忠治, 富田忠雄, 中島祥夫, 中野昭一, 永坂鉄夫, 畠瀬 修, 福田淳, 藤本 守, 堀 哲郎, 本郷利憲, 森本武利, 藪 英世, 菅野富夫(日英合同生理学会 Meeting Secretary), 久保田競, (動物実験に関する委員会委員長), 細見 弘(当番幹事), 村上哲英(当番幹事)  
 欠席者：伊藤正男, 入来正躬, 西山明德, 曾我部正博(次回当番幹事), 渡邊 悟(次回当番幹事)  
 議 長：畠瀬 修

#### <報 告>

1. 庶務報告(本郷庶務幹事)：会員について、平成6年1月~3月の期間、入会148名、退会71名、自然消滅125名で会員総数3,687名(一般会員3,426名[含外国在住者16名]、特別会員31名、名誉会員2名、準会員194名、寄贈交換34件[国内13件、国外21件])となったことが報告された。また、昨年12月以降逝去された特別会員勝木保次氏、評議員福原武彦氏に対する追悼の辞が述べられた。

研究助成について、日産科学振興財団学術研究助成に坂東武彦氏、志村 剛氏、古川康雄氏、山田科学振興財団研究助成に片淵俊彦氏を推薦した旨報告された。

第10回ヒューマン・インターフェース・シンポジウム(1994.10)、日本分光学会平成6年度春季シンポジウム(1994.5)および日本膜学会 膜シンポジウム '94(1994.11)に対して協賛することが報告された。

2. 会計報告(熊田会計幹事)：平成5年度の決算報告(平成5年1月1日より平成5年12月31日まで)があり、承認された。

3. 日本生理学会雑誌編集報告(金子編集幹事)：編集委員の松井洋一郎氏から野崎修一氏に、藤本 守氏から福田 淳氏に交代する旨報告された。生理学会雑誌第56巻の編集について、現在4号まで編集が終了したこと、ブルーページを前へ出してニュース性を強調したこと、教育委員会の協力を得て、平成6年度から実験手技の講座シリーズを掲載する予定であることが報告された。また、原著論文は少なくなったこと、日誌の印刷費・発送費が年会費の半分を占めている現

実に鑑み、委員会で発行回数および発行形態等について検討する時期に来ているのではないかという問題点が提起された。

4. JJP編集委員会(金子委員長)：JJPの論文投稿状況、平成5年度決算(見込み)ならびに平成6年度予算について報告された。また、Vol. 43の刊行(論文58編、ミニレビュー9編を掲載)を完了したこと、未購読者(評議員の13%)を減らす努力が必要なこと、平成6年度の購読料の値上げはしないことになったことが報告された。

5. 評議員選考委員会(高橋委員長)：1994年度生理学会評議員候補者として60名の推薦があったことが報告された。

6. 教育委員会(栗原委員長)：平成5年度第2回日本生理学会教育委員会での審議事項につき報告があり、平成6年度の教育委員会活動費について、および生理学多肢選択問題集を日本生理学会教育委員会編として出版する件について提案され、承認された。

7. 研究費委員会(佐藤委員長)：文部省科学研究費の細目のキーワード改訂案について報告され、7月までに見直し案を学術会議生理学研究連絡委員会へ提出する予定である旨報告された。環境生理学充実のため入来正躬氏を新委員として追加したい旨報告された。

8. 動物実験に関する委員会(久保田委員長)：動物実験を行うに当たっての指針・資料集の作成・出版について検討する旨報告された。動物実験への規制や反対運動に対する対応等についてアンケート調査を実施する予定である旨報告された。

9. 日本学術会議第7部生理学研究連絡委員会(伊藤委員長代理本郷庶務幹事):平成6年4月中に研究連絡委員会を開催して次期への申し送り事項を審議する予定である旨報告された。日本生理学会より第16期日本学術会議会員候補者1名(伊藤正男氏)と推薦人1名(本郷利憲氏, 予備 熊田 衛氏)を申請した旨報告された。

10. 国際生理科学連合(伊藤 IUPS 会長代理本郷庶務幹事):1994年5月15~17日にサントペテルスブルグにおいて IUPS 執行委員会が開かれ, 1997年の IUPS 大会の準備状況が視察される計画であり, この時, プログラム委員が決定する予定である旨報告された。また, IUPS の特別会員(年会費2,000米ドル)を日本の企業, 団体に募ったところ7件の応募があったこと, NIPS の新編集委員長 SCHULTZ 教授より, NIPS の associate editor に日本から4人推薦してほしいとの要請があり, 金子編集幹事, 工藤典雄幹事, 野間昭典氏, 岡田泰伸氏を推薦し, 了承されたこと, 日本からの NIPS の購読申込の扱いが円滑でなかった点については SCHULTZ 編集委員長に申し入れて, 改善が約束された旨報告された。

11. アジア大洋州生理科学連合(伊藤 FAOPS 会長代理本郷庶務幹事):1994年11月7~10日上海において開催の第3回 FAOPS 大会において次期役員を選出が行われるので, 現在インドの ANAND 教授を委員長として指名委員会作業をしている旨報告された。1998年の FAOPS 大会はオーストラリア開催に決まっており, 現在2002年の主催国を募っているが, まだマレーシアが立候補しているだけである旨報告された。

12. 日英合同生理学会に関する報告(菅野・富田 Meeting Secretaries):1995年3月27日, 28日の両日, 生理学研究所(岡崎)において菅野富夫, 山岸俊一両氏を Meeting Secretary として, また1995年4月1日, 2日の両日, 名古屋において富田忠雄, 曾我部正博, 熊澤孝朗, 渡邊 悟の4氏を Meeting Secretary として日英合同生理学会を開催するよう準備が進んでいる旨報告され, プログラム案が提示された。

13. 日本医学会定例評議会報告(富田医学会評議員):第24回日本医学会総会(名古屋)の進行状況につき報告があった。

14. 地方会の名称変更について:永坂鉄夫幹事より, 中部生理学談話会から中部日本生理学会に名称が変更された旨報告された。

15. 地方会の開催回数変更について:福田 淳幹事

より, 近畿生理学談話会(2回/年)は演題減少にともない, 秋に1回だけ開催することになった旨報告された。

16. 第72回(平成7年度)日本生理学会大会の準備状況報告(当番幹事):平成7年3月30日から31日まで名古屋大学東山キャンパスで開催すること, 発表形式は口演およびポスターとし, 抄録申込締切は平成6年11月5日とすること, 宿泊および交通斡旋は名鉄観光サービスに委託すること, グループディナーは日程の関係で全体をまとめて設定できないので, 実施するときは各グループの責任で行って欲しいこと等報告された。本大会のサテライトシンポジウムとして第2回日英合同生理学会が岡崎生理学研究所(3月27~28日)および名古屋大学(4月1~2日)で開催されるので, これらを合わせて詳細を日本生理学雑誌第56巻7号に掲載する予定である旨報告された。

17. 第71回(平成6年度)日本生理学会大会に関する報告(当番幹事):参加登録1,656名, 演題総数898題(一般口演831題, シンポジウム10テーマ64題, テクニカルセミナー3題)の申込があったこと, これらを四国電力総合研修所の12会場で行う旨報告があった。懇親のためのサンセットクルージングに多数参加されるよう要望された。

#### <議 題>

1. 前回議事録が承認された。

2. 平成6年度予算案について(熊田会計幹事):日本生理学会平成6年度予算案が提示され, 承認された。年会費はこれまで8年間据え置いてきたが(それ以前は17年間に4回値上げ), 平成6年度収支の悪化が予想されるため, 平成7年度から年会費を8,000円に, 臨時会費を4,000円に値上げすることが提案され, 承認された。また, 予定どおり会費の自動振込による納入を平成7年度から実施することを評議員会・総会に諮る旨報告された。

3. 特別会員の推薦について:松下 宏氏の推薦書が提出され, 津本忠治幹事より推薦の辞が述べられ, 同氏を評議員会ならびに総会に推薦することが承認された。

4. 評議員の推薦について(高橋委員長):新評議委員候補者として推薦のあった60名を評議員会・総会において評議員に推薦することが了承された。

5. JJP入澤賞授賞論文の選考について(金子編集幹事):入澤賞授賞論文として, 河原克雅(千葉大学

医学部)ほか1名の論文が提案され、承認された。表彰の方法について検討され、評議員会・総会において議事の最後、当番幹事に対する謝辞の直前に行うこととした。なお、学会前に授賞者を決定することが望ましいので来年度からは委員会メンバーに常任幹事会から3幹事を加えて選考委員会とし、選考委員会の決定を持って決めることが提案され、承認された。

6. 生理学用語委員会報告(植村委員長):生理学用語集を改訂するため編集庶務委員会(委員は本郷, 熊田, 金子, 栗原, 福田(康), 小沢(澗), 貴邑, 植村の各氏)をつくり, 基本的な事項を決定し, 編集にあたることを提案され, 承認された。編集庶務委員会において, 改訂の必要性の検討, 出版社の決定(南江堂, 医学書院, 南山堂等), 用語集内容の形式(ローマ字, 漢字, カナ, 対応外国語[英, 独, 仏他], 説明の有無, 索引[英一和等])の決定を行い, 関連分野(解剖学, 生化学, 薬理学, 臨床各科)との関係も考慮する旨報告された。

作業手順としては, 編集庶務委員会で各分野別の専門委員を決定委嘱し, 用語を選択し(前用語集について使用, 修正, 削除を決定, 新しい用語の追加), 説明を完成させ, 次に編集庶務委員会で編集を行う予定である(現在の各教科書の索引を参考に, 全体として3,000語程度を目安とする)旨提案され, 承認された。本大会後に第1回委員会を生理学会事務所で開催する。

7. 文部省科学研究費の細目のキーワード改訂案について(佐藤委員長):文部省科学研究費の細目のキーワード改訂案について検討された。「生理学一般」のキーワードとして分子生理学, 細胞生理学, 組織・器官生理学, システム生理学, 一般生理学の5ワード, 「環境生理学(含体力医学, 栄養生理学)」のキーワードとして環境生理学, 体力医学, 栄養生理学, 適応・協同生理学, 生体リズム, 発達・成長・老化の6ワード, 「神経・筋肉生理学」のキーワードとしてニューロン・シナプス機能, 筋肉生理学, 感覚系神経生理学, 運動系神経生理学, 自律神経生理学, 高次神経機能の6ワードが改訂案として提案され, 承認された(7月までにこの改訂案を学術会議に提出する予定である)。環境生理学充実のため入来正躬氏の新委員1名増員が了承された。

8. 国際交流委員会について(本郷庶務幹事):前回常任幹事会の討議を受けて, 委員会の骨子が提案説明され, 管掌事項, 委員構成と任期, 財政基盤等が審議

され, 承認された。委員にはIUPS役員及びFAOPS役員として伊藤正男幹事, 日本生理学会専任幹事として本郷利憲幹事, JJP編集委員として金子章道幹事, 教育委員会委員として栗原敏幹事が, 委員長に伊藤正男幹事が選出され, 承認された。日本学術会議生理学研究連絡会委員1名および常任幹事会が指名するもの5名以内の委員の選出は委員長と庶務幹事に一任された。

9. FAOPS 役員の推薦について:FAOPS 指名委員会に対し, FAOPS 次期会長候補として伊藤正男現FAOPS 会長を推薦することが提案され, 承認された。

10. FAOPS 総会派遣代表について:上海のFAOPS 総会に派遣する日本生理学会代表として金子章道, 佐藤昭夫, 小野武年, 高橋國太郎, 本郷利憲の5幹事が, 補欠として菅野富夫氏を選出され, 承認された。

11. FAOPS 上海大会援助について(熊田会計幹事):上海大会援助金として330,000円支出することが承認された。

12. 常任幹事数の地区配分について:菅野義信幹事より各地区評議員数と常任幹事の配分数に大きなアンバランスが生じている, 即ち中国四国地区の評議員数(127名)に対する常任幹事数(現行2名)が他の地区に比して明らかに少ないのでは正して欲しい旨提案された。是正に関する議論が行われ, ①会則(附則)の定数30名を変更しないで, i) 中国四国地区は辛抱すべきである, ii) 北海道地区2名のうち1名を中国四国地区へ移し(合計3名となる), 北海道地区は常任幹事1名のほかに代行(地区内扱い)を置く, ②会則を改訂して定数31名とし, 1名を中国四国地区に配分する, 等の意見が出された。次回常任幹事会で継続審議することとなった。

13. 常任幹事会の開催時期について(本郷庶務幹事):3月下旬または4月上旬に各年度の第一回幹事会を, 11月上旬頃(現在は12月上旬)に第二回を開催する旨提案され, 了承された。

14. 第73回日本生理学会大会開催地について(本郷庶務幹事):福井医科大学が担当し, 岡宏, 根来英雄氏が当番幹事となって開催することが提案され, 承認された。第74回以降は浜松医科大学と金沢大学医学部の立候補があり, 次回以降の常任幹事会で決定する。

15. その他:福田淳幹事より大会参加に関連して, 臨時会費, 学生割引等につき発言があり, 将来的に検討することで了承された。

## 第71回日本生理学会大会評議員会・総会議事録

日 時：平成6年3月25日(金) 17:10~18:30  
場 所：四国電力総合研修所

議長は開会にあたり、恒例に従って評議員会と総会を並行して行うことを提案し、承認された。また畠瀬当番幹事より大会は順調に進行しており、参加者数は1,805人、演題数は898題である旨の報告があった。

### <評議委員会・総会報告>

#### 1. 平成6年度第1回常任幹事会報告(畠瀬当番幹事)

平成6年3月23日に第1回常任幹事会が行われた旨報告された。地区別の常任幹事及び常任幹事会の各担当幹事、会計監事、各委員会委員長等は表1のとおりである。

#### 2. 庶務報告(本郷庶務幹事)

会員数について、表2のとおり報告があった。また、昨年12月以降逝去された特別会員勝木保次氏、評議員福原武彦氏に対する追悼の辞が述べられた。

#### 3. 平成5年度決算報告及び平成6年度予算(熊田会計幹事)

平成5年度決算報告(表3)について説明があり、会計監事の監査を受けた旨が報告され、総会で承認された。次いで平成6年度予算案(表4)が提示され、総会で承認された。

#### 4. 会費の改訂と自動引き落としの実施について(熊田会計幹事)

平成6年度の収支の悪化が予想されるため、平成7年度から年会費を8,000円に、臨時会費を4,000円に夫々値上げすることが提案され、承認された。また会費の自動振込を平成7年度から希望者に対し実施することが提案され、承認された。

#### 5. 日本生理学会雑誌編集報告(金子編集幹事)

編集委員の松井洋一郎氏から野崎修一氏に、藤本守氏から福田 淳氏に交代する旨報告された。日本生理学会雑誌55巻(平成5年度)の編集結果(表5)及び第56巻(平成6年度)の編集状況について報告された。

#### 6. J J P編集委員会報告(金子委員長)

J J Pの論文投稿状況(表6)、平成5年度決算(見込み)ならびに平成6年度予算について報告された。Vol. 43の刊行(論文58編、ミニレビュー9編を掲載)を完了したこと、平成6年度のJ J P購読料の値上げはしないことが報告された。J J Pの名称変更につい

表1 日本生理学会常任幹事

<任期平成5年4月~平成8年改選時>

〈地区別〉		
北海道地区	加藤正道	藪 英世
東北地区	佐藤 誠	西山明德
関東地区	伊藤正男	小澤澗司
	工藤典雄	中島祥夫
	中野 昭	
東京地区	植村慶一	金子章道
	熊田 衛	栗原 敏
	佐藤昭夫	高橋國太郎
	本郷利憲	
中部地区	入来正躬	小野武年
	熊沢孝朗	富田忠雄
	永坂鉄夫	
近畿地区	津本忠治	福田 淳
	藤本 守	森本武利
中国・四国地区	菅野義信	畠瀬 修
九州地区	有田 眞	久場健司
	堀 哲郎	
〈常任幹事会〉		
庶務幹事	本郷利憲	
会計幹事	熊田 衛	
編集幹事	金子章道	
会計監事	植村慶一	高橋國太郎
J J P編集委員会委員長		金子章道
評議員選考委員会委員長		高橋國太郎
選挙管理委員会委員長		佐藤昭夫
会則委員会委員長		加藤正道
教育委員会委員長		栗原 敏
研究費委員会委員長		佐藤昭夫
動物実験に関する委員会委員長		久保田 競
賞選考委員会委員長		本郷利憲

て質問があり、協議中である旨回答された。

#### 7. 評議員選考の件(高橋委員長)

平成6年度生理学会評議員候補者として60名(表7)の推薦があり、評議員会において全員が承認された。

#### 8. 教育委員会報告(栗原委員長)

表2 日本生理学会庶務報告

(平成5年12月末現在)

会 員			
一般会員		3,472名	
特別会員		32名	
名誉会員		2名	
準会員			
学校図書館		107部	
研究所・書店		89部	
寄贈及び交換			
外 国		21部	
国 内		13部	
合 計		3,786	
特別会員(31名)			
井上 章	伊藤真次	伊藤 龍	
市岡正道	岩瀬善彦	岩間吉也	
内藪耕二	岡本彰祐	勝木保次	
河村洋二郎	後藤昌義	額 額 教三	
佐藤昌康	斎藤幸一郎	須田 勇	
杉 靖三郎	鈴木達二	銭場武彦	
高木貞敬	塚田裕三	問田直幹	
名取禮二	中村治雄	永井寅男	
長嶋長節	西田 勇	福原 武	
松本淳治	三田俊定	山田 守	
吉井直三郎			
(尚、勝木保次氏は、平成6年3月6日逝去 されました)			
名誉会員(2名)			
Sir John Eccles			
Tasaki Ichiji			

平成5年度第2回日本生理学会教育委員会での審議事項につき報告があり、平成6年度の教育委員会予算について、および生理学多肢選択問題集を日本生理学会教育委員会編として出版する件について、常任幹事会で承認された旨報告された。

## 9. 研究費委員会(佐藤委員長)

第1回常任幹事会において文部省科学研究費の細目のキーワード改訂案について審議され、表8の案が承認された旨報告された。7月までにこの見直し案を学術会議に提出する予定である旨報告された。

環境生理学充実のため incoming 正躬氏の新委員1名増員を行った旨報告された。

## 10. 動物実験に関する委員会報告(久保田委員長)

動物実験を行うに当たっての指針・資料集の作成・出版について検討する旨報告された。動物実験への規制、反対運動に対する対応等についてアンケート調査を実施する予定である旨報告された。

## 11. 生理学用語委員会報告(植村委員長)

生理学用語集を改訂するため編集庶務委員会(委員は、本郷利憲、熊田 衛、金子章道、栗原 敏、福田康一郎、小沢澗司、貴邑富久子、植村慶一の各氏)を中心に作業して行く旨報告された。本大会後に第1回委員会を開催し、作業に着手する旨報告された。

## 12. 国際交流委員会について(本郷庶務幹事)

第1回常任幹事会において国際交流委員会の発足が承認されたこと、委員には IUPS, FAOPS 役員として伊藤正男氏、日本生理学会専任幹事として本郷利憲氏、JJP 編集委員長として金子章道氏、教育委員会委員として栗原敏氏が、また委員長には伊藤正男氏が選出され、日本学術会議生理学研究連絡会委員1名および常任幹事会が指名するもの5名以内の委員の選出は委員長と庶務幹事に一任されたことが報告された。

13. 特別会員推薦: 酒井敏夫氏及び松下 宏氏の推薦があり、それぞれ栗原 敏氏及び、辻 繁勝氏より推薦の辞が述べられた。両氏を特別会員とすることが評議員会ならびに総会において承認された。

## 14. 日本学術会議生理学研究連絡委員会報告(伊藤委員長代理本郷庶務幹事)

日本生理学会より第16期日本学術会議会員候補者1名として伊藤正男氏を、推薦人1名として本郷利憲氏を予備推薦人として熊田 衛氏を申請した旨報告された。平成6年4月中に研究連絡委員会を開催して次期への申し送り事項を審議する予定である旨報告された。

## 15. 国際生理科学連合(伊藤 IUPS 会長代理本郷庶務幹事)

1994年5月15~17日にサンクトペテルスブルグにおいて IUPS 執行委員会が開かれ、1997年の IUPS 大会の準備状況が視察される計画であり、この時、プログラム委員が決定する予定である旨報告された。また、IUPS の特別会員(年会費2,000米ドル)を日本の企業、団体に募ったところ7件の応募があったこと、NIPS の新編集委員長 SCHULTZ 教授より、NIPS の associate editor に日本から4人推薦してほしいとの要請があり、金子編集幹事、工藤典雄幹事、野間昭典氏、岡田泰伸氏を推薦し、了承されたこと、日本からの NIPS の購読申込の扱いが円滑でなかった点について

表3 日本生理学会平成5年度決算報告  
(自平成5年1月1日 至平成5年12月31日)

	収 入		差 額	備 考
	5年度予算	5年度決算		
(A) 前年度繰越金	6,826,036円	6,826,036円		
(B) 平成5年度収入	31,207,400	33,052,782		
(内 訳)				
会 費	23,101,600	24,375,199	+	
購 読 料	1,675,800	1,790,500	+	
論 文 掲 載 料	500,000	544,572	+	
広 告 料	3,140,000	3,495,408	+	
会 誌 分 冊 売	10,000	11,440	+	
預 金 利 子	80,000	53,243	-	
日本医学会奨励金	200,000	200,000		
印 税	100,000	31,200	-	用 語 集
論 文 表 題 集	2,300,000	2,189,000	-	
雑 収 入	100,000	362,220	+	
(A)+(B) 合 計	<b>38,033,436</b>	<b>39,878,818</b>	+	
	支 出		差 額	備 考
	5年度予算	5年度決算		
(内 訳)				
会 誌 印 刷 代	13,500,000円	11,548,131円	+	54.11~55.10
会 誌 発 送 代	3,000,000	3,156,098	-	同 上
編 集 会 議 費	130,000	94,459	+	日本生理学雑誌
校 正 料	300,000	175,906	+	同 上
原 稿 査 読 料	30,000	17,500	+	同 上
大 会 援 助 費	900,000	900,000		香川医科大学
事 務 室 使 用 料	3,090,250	3,051,700	+	12ヶ月
事 務 室 光 熱 費	300,000	305,359	-	
通 信 費	1,000,000	940,940	+	
事 務 費	1,000,000	1,164,297	-	
備 品	600,000	693,650	-	F A X
会 合 費	300,000	252,275	+	幹事会, 委員会
旅 費	1,500,000	1,434,640	+	同 上
人 件 費	4,500,000	4,495,294	+	アルバイト含む
社 会 保 険	420,000	375,865	+	
職 員 退 職 金 積 立	120,000	120,000		
論 文 表 題 集	2,300,000	2,092,034	+	
国 際 交 流 基 金	250,000	250,000		
F A O P S 会 費	380,000	380,000		
雑 費	200,000	203,546	-	献花, 清掃, 他
予 備 費	5,975,520	3,094,460	+	教育, 名簿
合 計	<b>39,795,770</b>	<b>34,786,154</b>	+	
平成5年度繰越金		5,092,664		

\*JJP Supplement 未納のため +3,217,194円

表4 日本生理学会平成6年度予算  
(自平成6年1月1日 至平成6年12月31日)

		収 入	
		6年度予算	備 考
(A)	前年度繰越金	5,092,664円	
(B)	平成6年度収入	31,487,450	
(内 訳)			
	会 費	23,147,600	会費7,000円×3,452×0.9+臨時会費
	購 読 料	1,769,850	準会費9,500×207×0.9
	論 文 掲 載 料	750,000	
	広 告 料	3,080,000	
	会 誌 分 冊 売	10,000	
	預 金 利 子	50,000	第一勧業銀行等
	日本医学会奨励金	200,000	
	印 税	30,000	生理学実習書, 用語集
	論 文 表 題 集	2,300,000	
	雑 収 入	150,000	
	(A)+(B) 合 計	<b>36,580,114</b>	
		支 出	
(内 訳)			備 考
	会 誌 印 刷 代	14,550,000円	55巻11号~56巻10号, サブルメント
	会 誌 発 送 代	3,881,000	同 上
	編 集 会 議 費	130,000	日本生理学雑誌
	校 正 料	120,000	同 上
	原 稿 査 読 料	20,000	同 上
	大 会 援 助 費	900,000	名古屋大学
	事 務 室 使 用 料	2,885,400	12ヶ月
	事 務 室 光 熱 費	307,000	12ヶ月
	通 信 費	1,100,000	会誌外通信(会費督促他)
	事 務 費	1,100,000	コピー, 会誌外通信, 事務雑費
	備 品	50,000	
	会 合 費	330,000	常任幹事会, 委員会
	旅 費	1,500,000	同 上
	人 件 費	4,750,000	アルバイト含む
	社 会 保 険	420,000	
	職 員 退 職 金 積 立	120,000	
	論 文 表 題 集	2,300,000	
	国 際 交 流 基 金	250,000	
	F A O P S 会 費	330,000	33000(¥110)
	雑 費	200,000	
	予 備 費	1,336,714	委員会活動費
	合 計	<b>36,580,114</b>	

表5 日本生理学雑誌55巻(平成5年度)編集報告

55巻1～12号(8・9号合併)発行11回	
55巻総ページ数 514ページ	
〈内訳〉	編
INFORMATION(お知らせ)	60
TRENDS(生理学の広場)	23
RECORDS(会報)	16
PROFILE(生理学者群像)	8
追悼	2
総説	6
原著	7
生理学実験講座	1
特別寄稿	1
学会抄録	11
大会号	873題
尚, 業績表題集は別冊として刊行	

は SCHULTS 編集委員長に申し入れて, 改善が約束された旨報告された。

16. アジア大洋州生理科学連合(伊藤 FAOPS 会長代理本郷庶務幹事)

1994年11月7～10日上海において開催の第3回 FAOPS 大会において次期役員を選出が行われるので, 現在インドの ANAND 教授を委員長として指名委員会作業をしている旨報告された。1998年の FAOPS 大会はオーストラリア開催に決まっておりますが, 現在2002年の主催国を募っているが, まだマレーシアが立候補しているだけである旨報告された。

17. 日英合同生理学会に関する報告(菅野・富田 Meeting Secretaries)

1995年3月27日, 28日の両日, 生理学研究所(岡崎)において菅野富夫, 山岸俊一両氏を Meeting Secretary として, また1995年4月1日, 2日の両日, 名古屋において富田忠雄, 曾我部正博, 熊澤孝朗, 渡邊悟の4氏を Meeting Secretary として日英合同生理学会を開催するよう準備が進んでいる旨報告され, プログラム案が提示された。

18. 第72回(平成7年度)日本生理学会大会の準備状況報告(当番幹事)

平成7年3月30日から31日まで名古屋大学東山キャンパスで開催すること, 発表形式は口演およびポスターとし, 抄録申込締切は平成6年11月5日とすること, 宿泊および交通斡旋は名鉄観光サービスに委託すること, グループディナーは日程の関係で全体をまと

表6 JJP論文投稿状況

(1993年2月25日現在)

月	新規投稿数	掲載数	返却数
平成5年3月	8(0)	Vol. 43-2	1(0) t
4	7(0)	11+MR2	1(0) u
5	5(2)	Vol. 43-3	2(0) v
6	7(1)	10+MR2	2(0) w
7	4(1)	Vol. 43-4	0(0)
8	8(0)	10+MR2	1(0) x
9	7(0)	Vol. 43-5	1(0) y
10	5(1)	10+MR1	4(1) z
11	4(1)	Vol. 43-6	1(0) a
12	3(1)	9+MR1	2(1) b
平成6年1月	11(3)	Vol. 44-1	1(0) c
2	3(2)	7+MR2	0(0)
合計	72(12)	57+MR10	14(2)

平成6年2月審査中原稿数: 35(7)

( )内は Short Communication+Technical Note 数

## 【返却理由概要】

- t (却下, 他誌を薦める) 1論文
- u (取下げ) 1論文
- v (却下) 2論文
- w (取下げ) 1論文, (却下) 1論文
- x (却下) 1論文
- y (受理せず) 1論文
- z (取下げ) 4論文
- a (却下) 1論文
- b (却下) 2論文
- c (取下げ) 1論文
- s (却下) 2論文

めて設定できないので, 実施するときは各グループの責任で行って欲しいこと等報告された。本大会のサテライトシンポジウムとして第2回日英合同生理学会が岡崎生理学研究所(3月27～28日)および名古屋大学(4月1～2日)で開催されるので, これらを合わせて詳細を日本生理学雑誌第56巻7号に掲載する予定である旨報告された。

19. 第73回(平成8年度)日本生理学会大会開催地について(本郷庶務幹事)

岡 宏, 根来英雄両氏が当番幹事となって福井で開

表7 平成6年度日本生理学会新評議員名簿

(敬称略)

氏名	所属・職名	氏名	所属・職名
安倍 博	北海道大学医学部第一生理・助手	田崎 雅和	東京歯科大学生理・講師
荒木 陽子	岐阜大学医学部第一生理・助手	竹 森 重	慈恵医科大学医学部第一生理・講師
入来 篤史	東邦大学医学部第一生理・講師	立屋敷かおる	上越教育大学生生活健康系・助教授
梅崎 俊郎	佐賀医科大学耳鼻咽喉科・助手	立石 憲彦	愛媛大学医学部第二生理・助手
江連 和久	東京都神経科学総合研究所・研究員	都築 馨介	群馬大学医学部第二生理・助手
榎本 浩一	島根医科大学生理・助手	土屋 徹	(株)資生堂皮膚科学研究所・研究員
遠藤 豊	産業医科大学第二生理・講師	戸田 孝史	東北大学歯学部口腔生理・助手
大木 紫	杏林大学医学部第一生理・助手	富永 恵子	大阪市立大学医学部第二生理・助手
鬼丸 洋	昭和大学医学部第二生理・講師	中園 嘉巳	札幌医科大学第二生理・助手
片倉 伸郎	東京医科歯科大学歯学部・助手	中村 修一	九州歯科大学生理・助教授
金森 憲雄	徳島大学歯学部・助教授	鍋倉 淳一	秋田大学医学部第一生理・助教授
神谷香一郎	名古屋大学環境医学研究所・助手	南部 篤	生理学研究所総合生理・助教授
川口 崇子	愛知県心身障害者コロニー研究所・助手	西尾 元	香川医科大学第一生理・助手
河岸 重則	九州歯科大学口腔科学・助教授	平井 恵二	東京医科歯科大学難研・助教授
木村 敦子	東京都老人総合研究所自律神経・助手	深尾 偉晴	近畿大学医学部第二生理・助手
菊池 啓	近畿大学医学部整形外科・講師	古川 康雄	広島大学総合科学部生理・助手
倉橋 隆	生理学研究所情報記憶部門・助手	堀 耕治	埼玉医科大学第一生理・助手
古谷野 好	京都大学医学部第二生理・助手	本田 栄子	九州歯科大学・講師
佐伯 由香	信州大学医学部第二生理・講師	真鍋 俊也	東京大学医学部脳研脳生理・助手
佐藤 実	秋田大学医学部第二生理・助手	水口 章	恵愛会南一条病院・医長
佐藤 容子	東京医科歯科大学医学部第二生理・助手	光家 保	京都大学医学部第二生理・助教授
佐原 資謹	東京医科歯科大学歯学部生理・助手	南 武嗣	九州大学医学部小児科・講師
島崎久仁子	自治医科大学医学部第一生理・講師	宮下 英三	生理学研究所生体システム部・助手
下山 一郎	浜松医科大学脳神経外科・講師	宮本 修	香川医科大学第一生理・助手
小路 眞護	久留米大学医学部第二生理・助手	虫 明 元	東北大学医学部第二生理・助手
杉山 由樹	名古屋大学環境医学研究所・助手	山内 正毅	長崎大学教育学部保健体育・助教授
鈴木 敦子	東京都老人総合研究所自律神経・研究員	山本章嗣	関西医科大学第一生理・講師
鈴木 洋司	愛媛大学医学部第二生理・助手	吉村 和法	埼玉医科大学医学部第一生理・助手
勢井 宏義	徳島大学医学部第二生理・助手	米澤 秀利	小野薬品工業KK安全性研究所・研究部長
相馬 義郎	大阪医科大学第一生理・助手	渡辺 達生	山口大学医学部第二生理・助教授

催することが提案され、承認された。

20. JJP入沢賞受賞論文の発表及び表彰式(金子章道JJP編集委員会委員長)

選考の結果、河原克雅氏(千葉大学医学部)ほか1名の論文“A Stretch-Activated Cation Channel in the Apical Membrane of A6 Cells” Jap. J. Physiol. 43, 817-832, 1993 がJJP入沢賞受賞論文に決定したことが報告された。発表後表彰が行われ賞状と副賞が授与された。

21. その他(島瀬当番幹事)

第1回常任幹事会において、現在の常任幹事の地区配分数にアンバランスが生じているので是正してほしいとの提案があり、議論されたが結論を得ず、次の常任幹事会で引き続き審議されることとなった旨報告された。

評議員会・総会終了後、前回の当番幹事(山梨医科大学入来正躬、竹内 亨氏)を代表して入来正躬氏から今大会当番幹事に対し、謝辞が述べられた。

表8 文部省科学研究費の細目のキーワード改訂

部	分科	細目	キーワード(現行)	キーワード(変更案)
医学	生理	生理学一般	分子生理, 細胞生理, 細胞間相互作用, 組織器官系生理	分子生理学, 細胞生理学, 組織・器官生理学, システム生理学, 一般生理学
		環境生理学 (含 体力医学, 栄養生理学)	環境生理, 人体生理, 体力医学, 栄養生理	環境生理学, 体力医学, 栄養生理学, 適応・協同生理学, 生体リズム, 発達・成長・老化
複合領域	神経科学 (含 脳科学)	神経・筋肉生理学	脳生理学, 神経生理学, 感覚生理学, 運動生理学, 筋肉生理学	ニューロン・シナプス機能, 筋肉生理学, 感覚系神経生理学, 運動系神経生理学, 自律神経生理学, 高次神経機能

## 第71回日本生理学会大会を主幹開催して

第71回日本生理学会大会

当番幹事 畠瀬 修・細見 弘・村上哲英

第71回日本生理学会大会は、平成6年3月24日より26日までの3日間、四国電力総合研修所（高松市屋島西町1850-1）において開催された。全国より1,805名の方々の参加を得るとともに発表演題数も898演題を数えた。大会期間を通じまずまずの天候に恵まれ、大きな問題もなく無事盛会裡に終わられたのは、大会に参加いただいた方々や大会関係者の他に、開催にあたり指導いただいた香川県、高松市、会場をお貸しいただいた四国電力(株)や駐車場を提供いただいた屋島陸上競技場、さらには観光面で協力いただいた屋島観光協会の皆様方等多方面の協力があったことと深く感謝しており、この紙面を借りてお礼を申し上げたい。

1年間の成果を発表し質疑応答を通じ今後の研究の発展に有用な意見や情報の交換ができ、シンポジウムも10テーマを取り上げ、最近話題の項目につき集中的に討論をいただけたものと思う、一般的にコンパクトで内容の充実した大会となったのではないだろうか、以下各項目についてまとめる。

### 1. 会場の決定

会場の決定については以下の点に留意して選定を行った。

1) 大部分の参加者が宿泊する高松市内の主要ホテルからの交通の便が良いこと。2) 多数のセッションに見合うだけの広く充分な部屋数があること。特にシンポジウムや総会など多数の参加者が予想される催しに対応できる大きな会場が確保できること。3) 出来るだけ各会場間の距離が短く参加者が効率的に多くのセッションに参加できること。4) 会場のアメニティーがよく、参加者が快適に過ごせることにより討論に集中できること。またできれば今までにない新しい企画が採用できること。5) 以上を満足させながらも、経費が比較的安く参加者に過大な負担をかけないこと。

上記の点を勘案し 1) 香川医科大学キャンパス 2) 香川大学キャンパス 3) 四国電力総合研修所 4) その他を候補として考えたが上記をほぼすべて満足する3)を最終的に選択することとなった。ここには最新鋭の会議システムが備わっており、特にスライドを全く使用しないテレビカメラシステムは画面の明るさや

解像度はまだ未完成の点もあるが会場を暗くする煩わしさも無く、スライド係に要する人員を省き最少の人員で運営できること、また何よりも参加者が学会前のスライド作製の煩わしさから解放されるなど新しい方式として試みる価値があると思われた。またホテルのような快適さも魅力と思われた。ただ一つの問題は企業の施設であり新入社員研修等のため4月には使用できず3月中に開催しなければならなかった事である。

会場設営計画のため、山梨での第70回大会に参加した時学会会場を回り、各セッションの聴衆人数および会場の大きさを調べておいた。このデータと抄録集をもとに、比較的早期に、学会の3日間にわたる時間割と会場割りをあらかじめ表にしておいた。この表は後ほどかなり改変されたが、スケジュールおよび会場設営決定に向けて試行錯誤するのに大いに役だった。問題はポスター会場であった。四国電力総合研修所は例年の会場に比べやや小さめだったため、ポスター会場を設けるなら、一部を会場に隣接する中学校の体育館に設営する必要があるが、参加者に移動の不便さを与えることが危惧された。この問題を解消するために、ショートコミュニケーションを考案した。このショートコミュニケーションのおかげで、会場面積の節約にもなり、口演の時間割作成時にも時間的融通がききスケジュールが立てやすかった。だが、ポスターをご希望の方には、ご迷惑をおかけしたかもしれず申し訳なく思っている。

会場となった四国電力総合研修所には、テレビカメラシステムが全室に備え付けられていたため、これを利用した。従来のスライド形式ではなかったため、画像原稿の準備や、口演時の説明等で各先生方にずい分と気を遣わせたことと思う。特に、学会初日は、リハーサルにもかかわらずテレビカメラのアシスタントの中に要領を得ない者があった様で、聴衆者から、画面の文字や数字が見えない等のお叱りも受けた。この場を借り、改めてお詫びしたい。一部の会場では、天井の遮光装置の隙間から日光が差し込み、スクリーン画像が見えにくくなり、慌てた一幕もあった。結局屋根に登り黒いゴミ袋で覆って解決した。座長の先生方には新しいシステムでの進行とともにタイムキーパー役も

お願いし、あらゆる意味で進行を管理していただいた。全会場で行進がスムーズであったことはひとえに座長の先生方に負うところが大きくお礼を申し上げる。今回のテレビカメラシステムは使い馴れないためにとまどう点もあったが、部屋を明るく保てたり会場係の人数が少なく済み節約になった等の利点があった点評価できる点も多かった。

会場をひとつに集中できたこと、スライドを使用しなかったこと、後述のように本学学生の協力が得られたこと、各方面の多大なご厚意があったこと等の理由で特に会場設営費では当初の計画に比べ大幅な節約ができ、その分コーヒーマシンサービス、シャトルバスのサービス、クルージングの一部援助等を行う余裕が生じ参加者の方々の便宜を多少なりとも計り得たのではないかと思う。

会場の収容人数が全体で800名位とやや少なめだったことが直前まで懸念された。しかし、いざ開かれてみると、意外に窮屈感がなく大混雑になった会場もなく安心した。参加者がきちんと詰めて座って下さったこと、プログラムの構成で比較的人数をばらまくことができたこと等の理由が考えられた。また、学会期間中幸いにも雨が降らなかったため、参加者が屋外に出られたこともあっただろう。

会場周囲の食事のできる店が少なく、昼の休憩時間も短かったのが、会場内食堂が大混雑になる恐れもあったが、食堂関係者の多大なご協力をえて、何とか乗り切れたと思っているが、皆様方にはあるいはご迷惑をおかけしたかもしれない。

## 2. 大会運営委員会

平成4年11月2日に第1回運営委員会を招集し幹事3教室のスタッフで大まかな役割分担を決めた。会場の決定等急を要するものから順次処理していくことを確認した。以後ほぼ2週間に1度の割合で委員会を開催し全部で32回の会合を持った。若手が積極的にアイデアを出し、これまでの良い伝統を踏襲するとともに香川医大ならではの特色も出していこうと毎回白熱した議論が展開された。新しい企画もこういった議論の中から生まれてきたものである。失敗を恐れず新機軸を打ち出す姿勢を尊重した。また本学学生にボランティアとしての協力を募った結果50人を越える学生が準備期間と大会期間中を通じて手伝ってくれたことも特記すべきことであろう。また準備期間中に前回大会開催主幹であった山梨医科大学の入来先生・竹内先生はじめスタッフの先生方に貴重な情報を頂戴し、大い

に役立った。心より御礼申し上げる。

## 3. 予稿集の作成

日本生理学会研究分野小委員会において審議、作成された分類表に則り演題を募集した。従って、予稿集の研究分野の分類は従来通りこれに基づいて行った。

予稿集の作成にあたって、従来と一番異なった点はポスターセッションの廃止とショートコミュニケーションの採用であった。ポスターセッションであれば、演題の収容能力が高いのでプログラム作成上融通が利くが、ショートコミュニケーションは限られた時間枠の中に演題をはめ込まなければならず、多少手間取ってしまった。このため予稿集の発送が予定より遅れてご迷惑をおかけした点ご容赦いただきたい。また時間の関係上、希望に反してショートコミュニケーションになった演題についてもご容赦いただきたい。プログラム・日程、抄録以外の部分は全てマッキントシコンピュータを用い手作りで作成した。

表紙の写真、屋島合戦の帖「那須与一」、は所有者、松平公益会松平頼武氏のご厚意により提供していただいた。

## 4. 学術内容

今回大会の事前参加申込者数は1,456名、当日参加者349名、計1,805名の参加をいただいた。発表演題は一般演題831題、シンポジウム64題、テクニカルセミナー3題の計898題であった。遠路はるばる多くの方々に積極的に参加いただいたことを感謝している。また今回から再び英文抄録の査読制度が復活し秋田大会同様、全演題につき native speaker のチェックを受けた。ただし今回の特例としてシンポジウム演題については個々の責任で英文チェックをお願いした。JJP編集委員長の金子章道先生にはいろいろとご指導をいただいた。

### シンポジウム

はじめての試みとしてシンポジウムを公募した。これは意欲的なシンポジウムを偏りのない広い分野から集め、参加者へのインパクトを可能な限り高く保つこと、また少壮気鋭の研究者にもシンポジウムをオーガナイズしていただく機会を公平に与える事を目的としたためである。応募総数は採用予定数のほぼ2倍に当たる18件におよんだ。各応募者から提出していただいた要項ならびにシンポジスト案を資料として、以下のような基準に基づき第71回日本生理学会運営委員会の全メンバー(12名)が各々5点満点で投票し、最終的に10のシンポジウムを選出した。

- 1) 内容を重視し魅力的なテーマ、シンポジストを挙げてあるものを優先する。
- 2) 重複を避け統一できるものは二つの応募を合体させる。
- 3) 最近同様のテーマでシンポが行なわれたもの、また同一のオーガナイザーによるシンポジウムがあったものはできるだけ避ける。ただし、進展の著しい分野については実績を考慮し、近々のシンポジウム実績との重複を恐れない。
- 4) 時間を短くきってシンポジウムの数を増やすことではない、(充実した内容と討論を重視するため)

会場としてホールならびに404会議室を使用した。404会議室はホールに比べ小規模で定員が少ないため、全館放映装置を使ってロビーに放映を行った。内容は予想したとおり意欲的で充実した内容が多かった。ホールの教材提示装置の画面がやや暗く解像度も充分でなかった事が残念であった。

#### 5. グループディナーおよび研究会

全部で14のグループディナーおよび研究会が市内6カ所の会場に分かれ行われた。各会場とも盛大であった旨報告を受けている。評議委員会・総会の開催時間の都合上、25日のグループディナーの開催時間が7時半と遅くなったことについてはお世話下さった先生方にご迷惑をおかけしたと思う。

#### 6. クルージング

香川で開催する以上、例年に無い試みとして何らかの特徴を出したいとのことで運営委員会で議論したところ、瀬戸大橋クルージングを開催したらどうかということになった。かつての宇高連絡船の讃岐丸が、改装されて様々な催しに利用されている。大会第一日目の3月24日夕刻午後5時より高松港をスタートし、約3時間のクルージングを楽しんだ。当日はやや天候が不順であったが、予約250名、当日参加100名の計約350名の参加を得た。参加費3,000円で幕の内弁当と飲み物(飲み放題)、うどん・おでんの屋台を提供し大好評であった。暮れゆく瀬戸内海・瀬戸大橋の風情を満喫していただいたのではないかと、日が落ちる頃から風が強くなり軽いシャワーに見舞われた。瀬戸大橋の上で電車がストップするという地元の者でもなかなか目撃できない場面に遭遇したのは思わぬお土産になったのではないかと。帰りは追い風に帆かけての調子で速度を速め帰港した。到着とほぼ同時に雨が小降り

になった。

#### 7. 機器展示

この企画はエーイー企画に依頼した。不況のあおりと、またほぼ同時に京都で開催された薬理学会の影響を受け、協賛業者数は例年に比べやや低調であった。また会場の問題で一部展示が別棟にならざるを得なかった。これによる不公平を解消する試みとして各展示業者より抽選券を配ってもらい、記念テレホンカードが当たる抽選を行った。ほぼ半数が当たる割合で、一度当たった方は2度目はご遠慮願った。また今回新しい試みとして、機器や新しい技術紹介としてテクニカルセミナーを企画し、3題の発表が行われた。発表後盛んに討論が行われ、好評であった。今後このような発表も増えてくるものと考えられる。

#### 8. ストップエイズシンポジウムの開催

生理学会大会を主幹開催するにあたり、香川県民のために何か役立つことを企画しようとの意見が運営委員会において持ち上がり全員が賛成した。さまざまな企画が出された中で、エイズについて考える機会を提供するシンポジウムを開催することに決めた。厚生省の指導のもと、香川県(環境衛生課)と協力して、日本生理学会及び財団法人エイズ予防財団の共同主催という形で、世界エイズ／かがわ ストップ エイズシンポジウム「エイズと正しくつき合うために」を開催した。期日については大会の前後での開催も考えたが、世界エイズデー近辺での開催が適当との判断で、1993年11月6日に高松市商工会議所の大ホールを使用した。講師、パネリストとも第一線でご活躍の方々をお願いすることができ、一般県民・学生を中心に550名の参加を得た。特にパネルディスカッションでは、壇上及びフロアから熱を帯びたディスカッションや質疑がなされ3時間の予定時間をオーバーしてもなお足りないほどのものであった。

以上のようにさまざまな点で工夫をこらし円滑な大会運営を図った。運営委員会のメンバーがそれぞれ担当責任を持ち分業制で、また全員の協力を要する時には力を結集してこれにあたったので、全国レベルの大会を主幹開催できたものと思う。

最後にご協賛ご協力いただいた個人・団体で、文章中で謝意を表することができなかった方々に対しお礼を申し上げる。

## 第71回日本生理学会大会目次

第71回日本生理学会大会記念写真	
第71回日本生理学会大会を主幹開催して(当番幹事) .....	239
第71回日本生理学会大会目次 .....	243

### 大会行事一覧

- 1) 一般口演, ショート・コミュニケーション (201~403会場)
 

3月24日(木)	8:30~16:00	
3月25日(金)	8:30~17:00	
3月26日(土)	8:30~15:00	
- 2) 学術シンポジウム (ホール, 404会場)
 

3月24日(木)	8:30~12:00	13:00~16:00
3月25日(金)	8:30~12:00	13:00~17:00
3月26日(土)	8:30~12:00	
- 3) テクニカルセミナー (301会場)
 

3月24日(木)	8:30~12:00
----------	------------
- 4) 動物実験に関する委員会主催懇談会「動物保護と動物実験」(第一会議室)
 

3月24日(木)	13:00~14:00
----------	-------------
- 5) 医学教育シンポジウム (ホール)
 

3月25日(金)	13:00~17:00
----------	-------------
- 6) 写真撮影 (ホール)
 

3月25日(金)	17:10
----------	-------
- 7) 評議員会・総会 (ホール)
 

3月25日(金)	17:15~18:30
----------	-------------
- 8) 研究会・グループディナー
 

3月23日(水), 25日(金)	6会場
------------------	-----
- 9) 機器・書籍展示 (別館展示室1~5および本館3F・4Fロビー)
 

3月24日(木)	9:00~16:00
3月25日(金)	9:00~17:00
3月26日(土)	9:00~12:00
- 10) 瀬戸大橋クルージング
 

3月24日(木)	17:00~20:00
----------	-------------
- 11) テニス大会 (香川医科大学内)
 

3月27日(日)	9:00~13:00
----------	------------

## 3月24日(大会1日目)

シンポジウム

テクニカルセミナー

一般口演

ショートコミュニケーション

3月24日(木)

ホール

午前	ホール
<b>S 1 宇宙の生理と前庭神経系</b>	
8:30~12:00	
オーガナイザー 渡辺 悟(名古屋大・環境医学研) 内野 善生(東京医科大・第二生理)	
S 1-1)	有毛細胞の生理学 京都大・医・第二生理 大森治紀
S 1-2)	前庭脊髄系における機能的シナジーとその形態的基礎 東京医科歯科大・医・耳鼻咽喉科 杉内友理子
S 1-3)	耳石器系前庭動眼・前庭脊髄反射の神経機構 東京医科大・第二生理 内野善生
S 1-4)	前庭自律神経反射の神経機構と宇宙適応症候群 大阪大・医・耳鼻咽喉科 武田憲昭
S 1-5)	無重力条件下の姿勢制御-鯉を用いた宇宙実験の成果を中心に- 名古屋大・環境医研・平行適応、藤田保健衛生大 <sup>1</sup> 、豊橋技科大 <sup>2</sup> 、東海大 <sup>3</sup> 森 滋夫 御手洗玄洋 高林 彰 <sup>1</sup> 白井支朗 <sup>2</sup> 榊原 学 <sup>3</sup>
S 1-6)	宇宙におけるヒトの前庭生理学 日本大・総合科学研究所 五十嵐眞

午後	ホール
<b>S 2 上皮膜輸送モデル系としての唾液腺 -細胞内シグナリングと分泌応答-</b>	
13:00~16:00	
オーガナイザー 村上 政隆(生理研・超微小形態生理) 杉谷 博士(日大松戸・歯・生理学)	
S 2-1)	Invitation to "Salivary Secretion" as A Model for Epithelial Transport 生理研、超微小形態生理 村上政隆 日大松戸・歯・生理 杉谷博士
S 2-2)	Calcium Signalling in Exocrine Cells NIEHS,NIH (USA) J.W.Putney,Jr.,and G.St.J.Bird
S 2-3)	Para-and Transcellular Pathways in Salivary Secretion Studied by Confocal Microscopy 北里大・医・解剖 瀬川彰久
S 2-4)	The Posttranslational Modification of Proteins in Rat Parotid Acinar Cells 日大松戸・歯・生理 横山三紀 横山紀子 杉谷博士
S 2-5)	Water and Electrolytes in Salivary Glands 生理研・超微小形態生理 Manchester Univ.(UK) <sup>1</sup> 瀬尾芳輝 Martin C.Steward <sup>1</sup> 村上政隆
S 2-6)	The Independence of Ca <sup>2+</sup> -Dependent Basolateral K <sup>+</sup> Efflux on "Maxi"-K <sup>+</sup> Channel in Rat Submandibular Gland 生理研・超微小形態生理 石川 透 村上政隆 瀬尾芳輝
S 2-7)	Ion Transporters Involved in Salivary Fluid Secretion Natl.Inst.of Dental Research,NIH(USA) R.J.Turner,R.L.Evans,C.Ferri,M.L.Moore, M.Paulais,S.J.Reshkin,A.Tanimura
S 2-8)	The Cells of Human Salivary Glands Cagliari大学・細胞形態学科(イタリア) A.Riva
S 2-9)	Interactions between Cell Volume and Intracellular pH in Rat Mandibular Acinar Cells Dept.of Physiol.Science,Manchester Univ.(UK) M.C.Steward

3月24日(木)

404号室

午前	404号室
<b>S 3 非侵襲脳機能局在研究の展開</b>	
8:30~12:00	
オーガナイザー	伊藤 正男 (理化学研究所) 本間 三郎 (千葉大・医・第一生理)
S 3-1) 基調講演: 脳機能の局在	理化学研究所 伊藤正男
S 3-2) PET による神経伝達物質と受容体の動態解析	大阪バイオサイエンス研究所、新技術事業団 渡辺恭良
S 3-3) 脳磁図による脳内電流双極子推定	生理学研究所 佐々木和夫
S 3-4) 双極子追跡による脳内電位発生源の研究	千葉大・医・生理 本間三郎

午後	404号室
<b>S 4 虚血に対する心筋細胞応答: イオン動態とエネルギー代謝</b>	
13:00~16:00	
司会	有田 眞 (大分医大・第二生理) 土居 勝彦 (山形大・医・第一生理)
S 4-1) PET からみた虚血ヒト心臓の糖代謝	東京大学・医・放射線科学、第二内科 <sup>1</sup> 森反俊幸 大嶽 達 佐々木康人 横山郁夫 <sup>1</sup>
S 4-2) NADH蛍光から見た虚血ラット灌流心のエネルギー代謝	九州大・医・心臓血管研・臨床細胞科学 金出英夫
S 4-3) 単離心筋細胞でみる低酸素・代謝阻害時の $\text{Na}^+/\text{Ca}^{2+}$ 交換系の異常	東京慈恵医大・青戸病院・内科 Natl. Heart and Lung Inst. (U.K.) <sup>1</sup> 望月正武 武田 聡 K. T. MacLeod <sup>1</sup>
S 4-4) 単一心筋細胞でみた代謝阻害時の $\text{Na}^+-\text{K}^+$ ポンプ、 $\text{Na}^+-\text{H}^+$ 交換および $\text{Na}^+-\text{Ca}^{2+}$ 交換	浜松医大・光量子医学研究センター、第三内科 林 秀晴 佐藤 洋 寺田 肇 小林 明
S 4-5) 虚血単離心筋細胞内酸素輸送	山形大学・医・第一生理 高橋英嗣 内田勝雄 土井勝彦
S 4-6) 単離心筋細胞虚血モデルにおけるATP感受性 $\text{K}^+$ 電流の変化と糖利用	大分医科大・医・第二生理 重松作治 有田 眞

3月24日(木)

201号室

午前		201号室
心臓循環器分類番号3	1-201-0830	視床前野刺激による動脈圧受容器反射促進 三重大・医・精神科、第一生理 <sup>1</sup> 乾 幸二 村瀬澄夫 <sup>1</sup> 野坂昭一郎 <sup>1</sup>
	1-201-0845	延髄孤核化学刺激の脊髄循環への影響 産業医科大学・応用生理、国立循環器病センター 一研究所 前田正信 井上正岩 林田嘉朗 中井正継
	1-201-0900	中心灰白質防衛領域-コリン作動性神経-NO 産生神経-脳血管 国立循環器病センター研究所、産業医科大学産 業生態科学研究所 中井正継 前田正信
	1-201-0915s	中脳中心灰白質による迷走神経性徐脈抑制の末 梢機構 三重大・医・第一生理、精神科 <sup>1</sup> 野坂昭一郎 乾 幸二 <sup>1</sup> 村瀬澄夫 村田敬子 <sup>1</sup>
	1-201-0922s	ウサギ中脳中心灰白質の電気および化学刺激に よる交感神経、血圧反応 筑波大学 基礎医学系 徐涛 大塚曜一郎 照井直人
	1-201-0930	小脳虫部小節へのグルタミン酸注入による循環 反応 大分医大・生理学1 西丸直子 柳井莊緑 松崎秀夫
	1-201-0945	中脳昇圧ニューロンの延髄への下行性線維連絡 山梨医科大学・第二生理、実験実習機器センター <sup>1</sup> 堀内城司 寺島 久 小山美樹子 長尾光城 寺田信幸 <sup>1</sup> 竹内 亨
	1-201-1000	ウサギ中脳、延髄昇圧ニューロン間の大きい特 性差 山梨医科大学・第二生理、実験実習機器センター <sup>1</sup> 竹内 亨 小山美樹子 堀内城司 寺島 久 長尾光城 寺田信幸 <sup>1</sup>
	1-201-1015	脊髄動物末梢交感神経に誘発される約10Hzに 活動 筑波大学 基礎医学系 大塚曜一郎 徐涛 照井直人
	1-201-1030	エンドセリンの循環・呼吸調節機能 東京大学医学部第2生理学教室 曹偉華 桑木共之 畝川美悠紀 熊田 衛
	1-201-1045	延髄と錐体及び節状神経節細胞の混合培養に よるシナプス形成過程について 群馬大・医・第一生理 岡田淳一 三浦光彦
	1-201-1100	グルタミン酸ないしGABA含有ニューロンの下 位胸髄支配 群馬大・医・第一生理 松本正弘 高山清茂 三浦光彦
	1-201-1115	心臓迷走および交感神経活動に及ぼす脳内 $\alpha_2$ レセプター刺激の影響 国立循環器病センター研究所心臓生理部、広島 大学医学部保健学科 松川寛二 二宮石雄
	1-201-1130	中枢投与アミノ酸によるヴァソプレッシン分泌 と昇圧作用 広島大学医学部生理学第二 竹本裕美
1-201-1145	延髄腹外側野におけるアンギオテンシンIIの血 圧反射特性修飾作用の解析 山梨医科大学・第一生理 三枝岳志 有田 順	

午後		201号室
心臓循環器分類番号3	1-201-1300s	細胞内cAMP瞬時増加による心筋細胞Ca電流と Cl電流活性化の解析 九州大学医学部第2生理学教室 中嶋保則 尾野恭一
	1-201-1307s	バソプレッシンによる心筋L型Ca電流の増強作用 東京医科歯科大学・難研・循環器 張社団 平野裕司 沢登 徹 平岡昌和
	1-201-1315	P <sub>2</sub> -ウーリン作動性受容体によるモルモット心房 筋K電流の調節 佐賀医科大学第一生理学 松浦 博 坂口昌之 鶴原由一 顔原嗣高
	1-201-1330	Ca <sup>2+</sup> 感受性一過性外向き電流の細胞内Ca <sup>2+</sup> による活性及び調節機構 東京医科歯科大学 難研・循環器 川野誠子 平山悦之 平岡昌和
	1-201-1345	ペースメーカー電位における時間非依存性電流 の役割 東京女子医科大学 心研内科 田村光司 萩原誠久 松田直樹 坂井理映子 笠貫 宏
	1-201-1400	ウサギ洞房結節細胞の新しい内向き電流の単離 九州大学医学部第二生理、京都大学医学部生理 過集慶 尾野恭一 野間昭典
	1-201-1415	家兎洞房結節細胞遅延整流性K電流の単離 九州大学医学部第2生理 尾野恭一 伊東裕幸
	1-201-1430	家兎洞房結節細胞における単一Cl電流の解析 東京女子医科大学 心研内科 萩原誠久 松田直樹 坂井理映子 田村光司 笠貫 宏
	1-201-1445	ウサギ洞房結節細胞のI <sub>K(ACh)</sub> はBa <sup>2+</sup> 、Cs <sup>+</sup> で抑制されるか 金沢医科大学・第二生理 須藤眞平 宮前俊一 桂田富也 高橋徳之 後藤鹿島 今西 愿
	1-201-1500	心室筋遅延整流K電流に対するI群抗不整脈薬 の抑制作用 大分医科大学生理学第二 清水達人 汪 道武 佐藤俊明 有田 真
	1-201-1515	1020チャンネル光学的同時計測システムの心房内 興奮波伝播パターン解析への適用 東京医歯大・医・2生理 廣田秋彦 佐藤容子 佐藤勝重 楊雪松 酒井哲郎 神野耕太郎
	1-201-1530	若い成熟ラットと加齢ラット心室筋のK電流の 比較 福島県立医科大学薬理学講座 于 文柯 木村純子
	1-201-1545	ラット心室筋細胞におけるCa活性化K電流 日本大学医学部第二内科、日本大学医学部第二 生理学教室 <sup>1</sup> 神田章弘 國分眞一朗 <sup>1</sup>

3月24日(木)

202号室

午前		202号室
ニ ユ ー ロ ー ン ・ シ ナ プ ス  ( 分 類 番 号 10)	1-202-0830	神経線維の発芽における細胞体膜Caチャンネル、細胞内Caイオン濃度の役割 防衛医大・生理、東大・医・形成、NTT・基礎研 福田 潤 料 和子 塚田信吾 岩本 拓 鳥密慶一
	1-202-0845	伝達物質放出時のCa <sup>2+</sup> 起源 川崎医大・第一生理 成田和彦 越智和典
	1-202-0900	網膜双極細胞軸索終末部におけるCa <sup>2+</sup> トランジェントの促進現象 東京大学文学部・心理学研究室 小林克典 坂場武史 立花政夫
	1-202-0915	皮質 slice標本における O <sub>2</sub> -glucose freeの [Ca <sup>2+</sup> ] <sub>i</sub> 変化に対する作用 名古屋市立大学医学部第二生理、Pecs University Medical Schol <sup>1</sup> 福田教夫 飛田秀樹 András Czurkó <sup>1</sup> 西野仁雄
	1-202-0930	ラット海馬スライス標本のCA <sub>1</sub> 野錐体細胞と顆粒細胞は虚血様負荷に対して反応に差がある 札幌医大、医、第二生理 清水 齋 水口 章 青木 藩
	1-202-0945	Hippocalcin を発現した COS-7細胞の細胞内Ca <sup>2+</sup> 動態 大阪大・理・生物、三変化成生命研 <sup>1</sup> 、東邦大医・第二生理 <sup>2</sup> 小倉明彦 小野富男 <sup>1</sup> 工藤佳久 <sup>1</sup> 高松 研 <sup>2</sup> 野口鉄也 <sup>2</sup>
	1-202-1000	黒質破壊線糸体組織抽出液によるPC12D細胞の電位依存性チャンネルの変化および細胞内Ca動態 名古屋市立大学・医、第二生理 飛田秀樹 福田教夫 中島京也 端谷 毅 西野仁雄
	1-202-1015	クローン化されたNMDA受容体の単一チャンネル電流の解析 群馬大・医、第二生理、山之内製薬、第二探索研 <sup>1</sup> 小澤滯司 望月 忍 <sup>1</sup> 都筑馨介 <sup>1</sup> 飯野昌枝
	1-202-1030	両生類交感神経節前線維の後過分極電位と内向き整流チャンネル 東京医科大学 第一生理 橋口美津子 橋口利雄 登坂恒夫
	1-202-1045	黒質神経細胞におけるα adrenoceptorによるダウリン応答の増強機構の解明 秋田大医第一生理、東北大医病態生体情報 <sup>1</sup> 、九州大医第二生理 <sup>2</sup> 鍋倉淳一 大村知広 <sup>1</sup> 赤池紀夫 <sup>1,2</sup>
1-202-1100	小脳長期抑圧に関わるイオントロピックグルタミン酸受容体サブユニット 京大・医・生理、新潟大・脳研・神経薬理 <sup>1</sup> 、群馬大・工・化学 <sup>2</sup> 平野丈夫 加園恵三 荒木一明 <sup>1</sup> 目黒裕之 <sup>1</sup> 楠谷悦子 <sup>1</sup> 篠塚和夫 <sup>2</sup> 三品昌美 <sup>1</sup>	
1-202-1115	内耳有毛細胞は脱分極によりグルタミン酸を放出する 京都大学医学部第一生理学教室 片岡洋祐 大森治紀	
1-202-1130	筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者におけるトランスグルタミナーゼ(TG)活性の変動 藤田保健衛生大・医学部・生理 藤田公和 安藤正人 永田 豊	

午後		202号室
ニ ユ ー ロ ー ン ・ シ ナ プ ス  ( 分 類 番 号 10)	1-202-1300	無グルコース下における海馬切片の神経伝達と高エネルギーリン酸レベル 神戸大・医・第一生理 岡田安弘 高田俊宏 金谷貫子
	1-202-1315	無酸素・無グルコース時の上丘切片におけるアデノシンの効果 神戸大・医、第一生理 藤原史利 平井宏和 岡田安弘
	1-202-1330	無酸素、無グルコース下におけるラット発達期海馬切片の神経活動—NMDAレセプター拮抗薬(D-APV)の保護効果 神戸大学医学部1生理 鍋谷まこと 岡田安弘
	1-202-1345	上丘切片におけるアデノシンの興奮性効果—蛋白キナーゼA及び蛋白キナーゼCの関与について 神戸大・医、第一生理 平井宏和 池内裕司 岡田安弘
	1-202-1400	Carbachol(Carb) 刺激による白鼠上頸交感神経節(SCG)内一酸化窒素(NO)依存性cyclic GMP(cGMP)生成系におよぼすaxotomy手術の影響 藤田保健衛生大・医・生理 安藤正人 立姿延族 永田 豊
	1-202-1415	一酸化炭素(CO)の電気化学的プローブ 新潟大学・脳研究所・神経生理学部門 淡木克栄 酒井雅史 工藤雅治
	1-202-1430	β-hydroxyglutamic acid 感受性Achatina神経細胞の薬理学的特性 岐阜大・医・第1生理 張 唯 荒木陽子 ディビナ・E・サントス 竹内 宏
	1-202-1445	Dopamine感受性Achatina神経細胞の薬理学的特性 岐阜大・医・第1生理 ムハンマド・エマドゥディン 劉 国君 竹内 宏
	1-202-1500	アフリカマイマイの心拍調節に関与する神経ペプチドの局在と機能 広島大・総合科学・生理 小林 惲 坂田真理子
	1-202-1515	神経特異カルシウム結合蛋白質:P23kのラット中枢神経系内分布 東邦大・医・第二生理 斎藤茂治 高松 研 小林正明 野口鉄也
1-202-1530	Achatin-I の興奮に対する神経ペプチドの修飾作用 岐阜大・医・第1生理 劉 国君 竹内 宏	

3月24日(木)

206号室

午前		206号室
自律神経 (分類番号14)	1-206-0830s	加齢がヒトの圧受容器反射に及ぼす影響 名古屋大学環境医学研究所 高次神経統御部門 自律神経・行動科学 松川俊義 杉山由樹 間野忠明 岩瀬 敏
	1-206-0837s	筋交感神経活動と血中ノルアドレナリン濃度の 関係に及ぼす加齢の影響 名古屋大学環境医学研究所 高次神経統御部門 自律神経・行動科学 岩瀬 敏 間野忠明 杉山由樹 松川俊義
	1-206-0845	筋交感神経活動による血圧上昇反応に及ぼす加 齢の影響 名古屋大学環境医学研究所 高次神経統御部門 自律神経・行動科学 松川俊義 岩瀬 敏 間野忠明 杉山由樹
	1-206-0900	32時間の断眠がヒトの筋交感神経活動に及ぼす影 響 名古屋大学環境医学研究所 自律神経・行動科学 渡辺 督 岩瀬 敏 松川俊義 杉山由樹 間野忠明
	1-206-0915	モルヒネによる体性交感神経反射の抑制機序 都老人研・自律神経・筑波技短・生理 <sup>1</sup> Dept. Physiol., Univ. Würzburg. <sup>2</sup> 佐藤昭夫 佐藤優子 <sup>1</sup> Schmidt R.F. <sup>2</sup> 山中 崇
	1-206-0930	鍼刺激はヒトの末梢交感神経活動にどのように影響するか 筑波技術短期大学 鍼灸学科、埼玉医科大学短期 期大学 臨床検査学科 <sup>1</sup> 、埼玉医科大学 第二生 理学学教室 <sup>2</sup> 、(財)東洋医学技術研修センター <sup>3</sup> 森山朝正 有田 彰 <sup>1</sup> 椎橋実智男 <sup>2</sup> 林 秀生 <sup>3</sup> 芹澤勝助 <sup>3</sup>
	1-206-0945	意識下ラットの腎交感神経活動及びその圧受容 器応答の日内変動 宮崎大・第一生理 國武孝人 廣田和英 花森隆充 河南 洋
	1-206-1000	アミン不活性化と糖質コルチコイド 新潟大・医・生理学第一、大阪大・蛋白研・代謝 <sup>1</sup> 平野鉄雄 永井克也 <sup>1</sup>
	1-206-1015	体性交感神経血管拡張反射に關与する自律神 経節の特性 東北大学・歯学部・口腔生理 刈田啓史郎 和泉博之
	1-206-1030	マウス尾部の血流におよぼす静磁場の影響 帝京大・医・第二生理 柴山理恵 小林孝和 杉 晴夫
	1-206-1045	肝硬変ラットにおけるNaCl受容器感受性の變化 香川医科大学生理学講座第二生理学 田中邦彦 松田恒則 森田啓之 細見 弘
	1-206-1100	空腸内NaCl濃度變化が腎NaCl排泄に及ぼす影響 香川医科大学第一外科、第二生理 <sup>1</sup> 武田智博 田中 聡 村上 宏 <sup>1</sup> 森田啓之 <sup>1</sup> 細見 弘 <sup>1</sup>
	1-206-1115s	ガストリン性胃酸分泌促進に対する門脈内グル コースの投与効果 新潟大・医・生理学第一教室・同外科学第一教室 <sup>2</sup> 坂口武夫 青野高志 <sup>2</sup> 大竹雅広 <sup>2</sup>
	1-206-1122s	迷走神経背側核ニューロンのグルコースに対す る応答性 岡山大学歯学部口腔生理学講座 小橋 基 足立 明
1-206-1130	ラット消化管運動における基礎的研究 明治鍼灸大学 第3東洋医学臨床教室 外科学 教室 <sup>1</sup> 岩 昌宏 石丸圭莊 今井賢治 佐々木定之 <sup>1</sup> 咲田雅一 <sup>1</sup>	
1-206-1145	胃拡大により惹起された自律反射 埼玉医科大学・第二生理 林 秀生 椎橋実智男 中山彰博	

午後		206号室
自律神経 (分類番号14)	1-206-1300	ヤツメウナギ消化管のアセチルコリン及びセロ トニンに対する感受性 新潟大・医・第二生理 本間信治
	1-206-1315	顎下腺における唾液分泌と血流増加反応 東北大学・歯学部・口腔生理 和泉博之・刈田啓史郎
	1-206-1330	顎下神経節におけるメチオニンエンケファリンの 抑制効果 東歯大・生理 鈴木 隆 遠藤隆行
	1-206-1345	ネコ上唾液核ニューロンの反射活動に対する散 索神経刺激の抑制効果 日本歯科大学新潟歯学部・口腔生理 日本歯科大学歯学部・共同利用研究所 <sup>1</sup> 石塚健一 佐藤義英 鈴木雄士 <sup>1</sup> 村上俊樹
	1-206-1400s	ラット延髄孤束核コレジストキニン(CCK)感受 性ニューロンの膜特性 九州大学・医学部・一生理 鈴木健治 清水宣明 栗生修司 堀 哲郎
	1-206-1407s	橋脚尿管中核と仙髄副交感神経節前ニューロンと の結合様式 東京医大第2生理 佐々木光美 内野善生
	1-206-1415s	イヌの骨盤神経膀胱枝と直腸枝の遠心性活動に 対する橋の電気刺激の効果 川崎医大・第二生理 山根正信
	1-206-1422s	腸管壁内神経への仙髄副交感神経からの興奮性 入力とその細胞形態 東海大学 医学部 生理科学1 田村謙二
	1-206-1430s	胃電図(EGG)を指標とした鍼刺激の効果について 明治鍼灸大学 第二東洋医学臨床教室 外科学 教室 <sup>1</sup> 今井賢治 石丸圭莊 岩 昌宏 佐々木定之 <sup>1</sup> 咲田雅一 <sup>1</sup>
	1-206-1437s	5-methoxytryptamine(5MeOT)は5-HT3 受容体 を介して上行性収縮を起こす 岡山大学医学部第二生理、第一外科 <sup>1</sup> 、岡山女子 短大栄養生理 <sup>2</sup> 水谷雅年 柘屋俊昭 山里晃弘 <sup>2</sup> 柚木靖弘 <sup>1</sup>
	1-206-1445	phenylephrine によるモルモット摘出胆管膨大 部の亢進効果 岡山大学第1外科、同第2生理 <sup>1</sup> 、岡山女子短期 大学 <sup>2</sup> 柚木靖弘 山里晃弘 <sup>2</sup> 柘屋俊昭 <sup>1</sup> 水谷雅年 <sup>1</sup> 森 雅信 津下 宏 浜崎啓介 <sup>1</sup> 三村 久 田中紀章 折田薫三
	1-206-1500	粘膜層の5-HT3受容体を介する蠕動反射 岡山大学医学部第二生理、第一外科、岡山女子 短大栄養生理 <sup>2</sup> 柘屋俊昭 水谷雅年 山里晃弘 <sup>2</sup> 柚木靖弘 <sup>1</sup>
	1-206-1515s	イヌの迷走神経を介するアトロピン抵抗性の十二 指腸、oddi括約部の収縮反応とそのNO抑制 川崎医大・第二生理、川崎医療福祉大・臨床栄養 <sup>1</sup> 古川直裕 岡田博臣 <sup>1</sup>
	1-206-1522s	Prostaglandin E <sub>1</sub> (PG)の経口投与による肝再生 促進効果 新潟大・医・外科学第一教室・同生理学第一教室 <sup>2</sup> 大竹雅広 <sup>1</sup> 青野高志 <sup>2</sup> 坂口武夫 <sup>2</sup>
1-206-1530	膵液胆汁によるラット膵肥大と回復までの期間 の比較 東京都老人総合研究所、九州がんセンター 宮坂京子 船越頼博	
1-206-1545	オレイン酸の膵管逆流ラットにおける耳下腺 および小腸ミラーゼ活性変化 東日本学園大・看護福祉・生命基礎科学、歯・ 口腔生理 <sup>1</sup> 倉橋昌司 星 和明 <sup>1</sup> 猪股孝四郎 <sup>1</sup>	
1-206-1600	ブタ膵外分泌腺におけるイオン分泌 大阪医大一生理、一般消化器外科 <sup>1</sup> 、兵庫医大一 生理 <sup>2</sup> 、京大衛生 <sup>3</sup> 中垣育子 佐々木貞雄 <sup>2</sup> 秋元 寛 <sup>1</sup> 今井雄介 <sup>1</sup> 堀 清紀 <sup>2</sup> 近藤久先 <sup>3</sup>	

3月24日(木)

207号室

午前 207号室	
1-207-0830	視交叉上核内Arg-Vasopressin の光反応 名古屋市立大学、医学部、第二生理 磯部芳明 西野仁雄
1-207-0845	シマリスのサーカディアンリズムに及ぼす光の影響—視交叉上核における Fos発現と行動リズムの位相変位 北海道大学医学部生理学第一講座 安倍 博 本間さと 本間研一
1-207-0900	視交叉上核における VIP放出量の概日リズムとグルタミン酸に対する反応性 北海道大学医学部生理学第二講座、第一講座 <sup>1</sup> 篠原一之 本間さと <sup>1</sup> 勝野由美子 <sup>1</sup> 安倍 博 <sup>1</sup> 本間研一 <sup>1</sup>
1-207-0915	概日リズムの加齢と視交叉上核の役割 獨協医科大学第一生理学教室 山岡貞夫 酒井美加子 鯉淵典之 高久保文恵
1-207-0930	生物時計におけるアデニレート及びグアニレートシクラーゼの役割 北里大・医・生理、精神科 <sup>1</sup> 、ME <sup>2</sup> 、東北大・院・情報学/理研フォトダイナミックス <sup>3</sup> 長谷川建治 島本昌和 <sup>1</sup> 田中館明博 <sup>2</sup> 塚原保夫 <sup>3</sup>
1-207-0945	プロスタグランジンD <sub>2</sub> の睡眠促進作用に関する作用部位 大阪バイオサイエンス研究所 松村人志 中島智子 大坂寿雄 佐藤伸介 早石 修
1-207-1000	SCN細胞外液中興奮性アミノ酸量のリズムと光反応性 北海道大学医学部生理学第一講座 本間さと 勝野由美子 篠原一之 本間研一
1-207-1015	生体と培養松果体でのメラトニンリズム 浜松医科大学・第一生理 鮫島道和 保 智己 内田勝久 浜田 登 森田之大
1-207-1030	血清メラトニン測定による生体リズム異常の評価 浜松医科大学・生理学第一講座、精神医学講座 <sup>1</sup> 内田勝久 岡本典雄 <sup>1</sup> 森田之大
1-207-1045	体内時計に対する睡眠覚醒スケジュールの同調作用 北大医・第一生理 橋本聡子 中村宏治 本間さと 本間研一
1-207-1100	体内時計のフリーラン及び社会的同調下における睡眠構造 北大医・第一生理 本間研一 中村宏治 橋本聡子 本間さと
1-207-1115	ラット視床前野の睡眠関連ニューロンへのノルアドレナリン的作用 大阪バイオサイエンス研究所 大坂寿雅 松村人志 早名 修
1-207-1130s	室傍核ニューロペプチドYとノルアドレナリン 北大医・第一生理 勝野由美子 吉原俊博 本間さと 本間研一
1-207-1137s	寒冷暴露時の着衣行動のサーカジアンリズムに対する照度の影響 奈良女子大学 生活健康学講座 登倉尋実 金 照恩
1-207-1145	純系マウスの睡眠スケジュール 山梨医科大学・第二生理 長崎紘明

午後 207号室	
1-207-1300	アメフラシえら引き込み神経回路網のモデル化 三菱電機機物中央研究所 中島道夫 山田 訓 塩野 悟
1-207-1315	アメフラシ吐き出し応答時における開口、閉口運動ニューロンの放電パターン形成 徳島大・歯・口腔生理 長濱辰文
1-207-1330	脳梁欠損マウスの運動野電気刺激による前肢反射 香川医大・生物・スポーツ医学 <sup>1</sup> 岡田泰士 根木哲郎 <sup>1</sup> 宮本 修 <sup>1</sup> 豊島哲彦 <sup>1</sup> 伴 邦晃 森 仁志 三好貴美子 榎本鈴代 JANJUA NAJMA A 村上哲英
1-207-1345	グルココルチコイドの海馬神経毒性作用：神経損傷と学習・記憶障害 産業医大・第二生理、横浜市大・医・第二解剖 <sup>1</sup> 第二生理 <sup>2</sup> 達藤 豊 小林園生 <sup>1</sup> 西村潤一 <sup>2</sup> 貴邑富久子 <sup>2</sup>
1-207-1400	クレアチン含有量がラットの行動と脳代謝に及ぼす影響 鹿児島純心女子短期大学、鹿屋体育大学 <sup>1</sup> 田中美智子 刈谷文彦 <sup>1</sup> 安井 渉 <sup>1</sup> 開発健一 <sup>1</sup> 田中隆人 <sup>1</sup> 大平充宣 <sup>1</sup>
1-207-1415	味刺激によるラット島皮質のアセチルコリン濃度の変化 大阪大・人間科学・行動生理 志村 剛 鈴木麻理 山本 隆
1-207-1430	老齢ラットにおけるストレス負荷時の海馬アセチルコリン放出量 横浜市立大学医学部第二生理 水野 徹 貴邑富久子
1-207-1445	新規脳機能改善薬T-588のラット海馬体に関するin vitroおよび in vivoの研究 富山医業大・医・第2生理、富山化学工業・探索研究所 <sup>1</sup> 木村龍生 <sup>1</sup> 小野武年 小林恒之 福田正治 小野 哲 <sup>1</sup>
1-207-1500	学習行動遂行に対するラット前頭前野ドーパミンの関与 埼玉医大第一生理、精神医学 <sup>1</sup> 山室 裕 堀 耕治 岩野 仁 <sup>1</sup> 野村正彦
1-207-1515	食欲調節における視床下部ATP感受性K <sup>+</sup> チャネルの意義 大分医科大学第一内科 小川隆一 吉松博信 黒川 衛 大隈和喜 葛城 功 坂田利家
1-207-1530	Hooded Ratの片眼摘出による視覚系の再編成 高知医科大学心理学教室 八木文雄
1-207-1545	画像処理による金魚の3次元行動解析 金沢工業大・経営工学科、金沢大・医・神経情報研伝達 <sup>1</sup> 玉田精宏 平賀豊彦 島田洋一 加藤 聖 <sup>1</sup>
1-207-1600	ラット海馬の水上市路学習関連電位 麻布大学獣医学部 生理学第二 中村 滙 井上真紀 渡植貞一郎

行動・生体リズム (分類番号)

行動・生体リズム (分類番号)

3月24日(木)

301号室

午前 301号室	
<b>テクニカルセミナー</b> 9:00-11:10 司会 村上哲英(香川医大・生物学) 根木哲郎(香川医大・基礎スポーツ医学)	
T1-301-0900	高NA水浸対物レンズの開発 オリンパス光学工業株式会社 阿部 勝行 (30分)
	討 論 (10分)
休 憩 (5分)	
T1-301-0945	マイクロバイオセンサーによる生体内物質の測定 ビー・エー・エス株式会社 浅野 昌雄 荒井 政昭 (30分)
	討 論 (10分)
休 憩 (5分)	
T1-301-1030	自由行動下動物から生体信号をテレメトリー法にて長期間測定した各種実例 プライムテック株式会社 古藤田誠一 萩原 亮介 (30分)
	討 論 (10分)

午後 301号室		
高次中枢機能能(分)類番号	1-301-1300	インターフェロン $\alpha$ (IFN $\alpha$ )による視床下部ニューロンの活動修飾 九州大学・医学部・第一生理 武 幸子 片淵俊彦 堀 哲郎
	1-301-1315s	血中サイトカイン-脳情報伝達機構における第III脳室前腹側領域(AV3V)ニューロンの役割とプロスタグランジンE2の関与 九州大学医学部第一生理 太田一樹 高木厚司 片淵俊彦 堀 哲郎
	1-301-1322s	プロスタグランジンE2(PGE2)の脳内投与に対する脾臓交感神経活動の応答 九州大学・医学部・第一生理 安藤哲也 一條智康 片淵俊彦 堀 哲郎
	1-301-1330	ノルエピネフリン(NE)代謝回転に対するサイトカインの作用 北海道大学・獣医学部・生化学 寺尾 晶 齊藤昌之
	1-301-1345	視床下部前部を介する針刺激の免疫抑制作用 昭和大学医学部第一生理学教室 佐藤孝雄 郭 試瑜 虞 顕 久光 正
	1-301-1400	交感神経脾臓枝を介する針刺激の免疫調節作用 昭和大学医学部第一生理学教室 郭 試瑜 佐藤孝雄 虞 顕 久光 正
	1-301-1415	SARTストレス状態ラット視床下部外側野におけるニューロン応答性 富山医大・医・第二生理、新技術事業団・鳥居プロジェクト <sup>1</sup> 近藤高史 <sup>1</sup> 西条寿夫 <sup>1</sup> 上野照子 <sup>1</sup> 小野武年 <sup>1</sup> 鳥居邦夫 <sup>1</sup>
	1-301-1430	サルにおける視床腹側前核から前頭葉大脳皮質への投射様式 京大医・認知行動脳科学、関西医大第2生理 <sup>1</sup> 三木直樹 玄番央恵 <sup>1</sup>
	1-301-1445	脳幹由来のアセチルコリン作動性投射による視床血流の調節 福島県立医科大学第二生理・東京都老人総合研究所自律神経 小山純正 梅 哲夫 香山雪彦 佐藤昭夫
	1-301-1500	サラシン脳室内投与が正中視索前核領域モノアミン代謝におよぼす影響 鳴門教育大・人間形成基礎、埼玉医大・第一生理 <sup>1</sup> 田中淳一 堀 耕治 <sup>1</sup> 仮谷勝秀 <sup>1</sup> 野村正彦 <sup>1</sup>
	1-301-1515	MCA 虚血・再開通モデルにおけるカルバイン活性、IgG/補体浸潤とニューロン死 名古屋市立大学・医・第二生理、第二生化学 <sup>1</sup> ベーチ医科大学 <sup>2</sup> 西野仁雄 石田和人 国松己歳 <sup>1</sup> Laszlo Lenard <sup>2</sup>
	1-301-1530	小脳分子層・樹状突起・ニューロン(MDN)モデルとしてのゴルジ細胞 東海大学医学部生体構造機能系生理科学部門 高比良英輔
	1-301-1545	光計測法による梨状皮質信号伝播の解析 金沢医大・第一生理、福井大・工・情報工学 <sup>1</sup> 杉谷道男 須貝外喜夫 谷藤 学 <sup>1</sup> 小野田法彦

3月24日(木)

302号室

午前		302号室
運 動 機 能  分 類 番 号  12	1-302-0830	食品のテクスチャーが咀嚼時の嚥下に及ぼす効果 新潟大・歯・口腔生理、長崎大・歯・口腔生理 <sup>1</sup> 山田好秋 内田憲二 <sup>1</sup> 真貝富夫
	1-302-0845	味覚刺激による咀嚼運動の修飾 第2報一 九州大学・歯学部・口腔生理、第2補綴 <sup>1</sup> 岸川直司 <sup>1</sup> 笹本一茂 太田雅博
	1-302-0900	咀嚼運動形成に関する顎二腹筋後腹プレモータ ニューロンの入出力様式 東京医科歯科大学歯学部神経機構制御学講座 野崎修一
	1-302-0915	ネコ大脳皮質顔面口腔領域運動野ニューロン の形態と入力様式 日本大学歯学部生理学教室、医学部麻酔学教室 <sup>1</sup> 若田幸一 八木淳一 坪井美行 中西宏嘉 角野隆二
	1-302-0930	ネコ感覚野顔面領域の破壊が咀嚼運動に与える 影響 日本大学歯学部生理学教室、総合歯学研究病 態生理研究室 <sup>1</sup> 平塚久雄 山口やよい <sup>1</sup> 角野隆二
	1-302-0945	顎骨への負荷減弱刺激で誘発される顎・頸筋反射 奥羽大・歯・口腔生理 宗形芳英
	1-302-1000	リズムカルな顎運動時の脊髄反射の姿調 東京医科歯科大学歯学部障害者歯科学教室、口 腔生理学教室 <sup>1</sup> 秋谷 昇 宮原隆雄 田中立弥 大山喬史 中村嘉男 <sup>1</sup>
	1-302-1015	視運動性眼振および後眼振における選択的視野 制限の効果 名大・環境医研・高次神経統御 平衡適応 鈴木啓之 渡邊 悟
	1-302-1030	MLF以外を通る興奮性前庭一動眼ニューロンの軸索投射様式 東京医大生理、整形外科 <sup>1</sup> 、鳥取大・工学部 <sup>2</sup> 、杏 林大・医・生理 <sup>3</sup> 、ロックフェラー大 <sup>4</sup> 内野善生 佐々木光美 井須尚紀 <sup>2</sup> 平井直樹 <sup>3</sup> 今川美登里 遠藤健司 <sup>1</sup> Graf, W. <sup>4</sup>
	1-302-1045	サルの弓状溝前皮質電気刺激による視覚誘発サ ツケードの変容 弘前大学医学部第2生理 東 正夫 新藤潤一 鈴木寿夫
	1-302-1100	上丘ニューロンの単純および識別指向運動にお ける活動様式の解析 東京都神経科学総合研究所・神経生理 佐々木成人 内藤公郷
	1-302-1115	小脳片葉登上新台阶反応性に対する大脳の関与 富山医科薬科大学・医学部・第一生理学 佐藤 悠 川崎 匡
	1-302-1130	サル大脳、橋、小脳のニューロン活動と追従眼 球運動の関係 電子技術総合研究所 <sup>1</sup> 、筑波大学 <sup>2</sup> 、ATR人間情報通信研究所 <sup>3</sup> 河野憲二 <sup>1,2</sup> 設楽宗孝 <sup>1</sup> 竹村 文 <sup>2</sup> 井上由香 <sup>2</sup> 五味裕章 <sup>3</sup> 川人光男 <sup>3</sup>
	1-302-1145	覚醒ネコ垂直Burster-Driving neuron (BDN)の 発射特性と局在 北大・医・第二生理、眼科 <sup>1</sup> 、医療短大 <sup>2</sup> 福島菊郎 大橋 勉 <sup>1</sup> ユーゲニ・ブハーリン 福島順子 <sup>2</sup>
	1-302-1200s	追跡眼球運動の経時的解析 愛知県コロニー・研・生理、名大・環医研 <sup>1</sup> 川口崇子 時々輪浩程 渡邊 悟 <sup>1</sup>
1-302-1207s	ディジタイザーを用いた線描動作の解析 愛知県コロニー・研・生理、名大・環医研 <sup>1</sup> 時々輪浩程 川口崇子 渡邊 悟 <sup>1</sup>	

午後		302号室
運 動 機 能  分 類 番 号  12	1-302-1300	ヒトの手指からの感覚入力による運動野の興奮 性変化 杏林大学医学部第一生理、東京大学医学部脳研 神経内科 <sup>1</sup> 大木 紫 鈴木貴美 宇川義一 <sup>1</sup>
	1-302-1315	表面粗面度弁別時の指随意運動制御について 千葉大学医学部第一生理 当間 忍 中島祥夫
	1-302-1330	ネコ大脳皮質体性感覚一運動野の脳幹・脊髄に 対する神経線維・終末の投射様式 生理学研究所・生体システム部門、旭川医大第二生理 <sup>1</sup> 本間 裕 小林吉史 <sup>1</sup> 片田彰博 <sup>1</sup> 松山清治 森 茂美
	1-302-1345	自発歩行能を持つ除脳ネコの四肢間協調の適応性 大阪大学大学院基礎工学研究科、大阪大学健康 体育部 <sup>1</sup> 近藤 勢 柳原 大 <sup>1</sup> 吉田敬義 <sup>1</sup>
	1-302-1400	1次・2次体性感覚野から運動野への単一皮質 一皮質細胞の軸索投射様式 東京医科歯科大学・医学部・第一生理 寛 慎治 二見高弘 篠田義一
	1-302-1415	歩行運動の適応的肢間協調における小脳シナプ ス可塑性の役割 大阪大学健康体育部 柳原 大 近藤 勢 吉田敬義
	1-302-1430	指向運動に伴うネコ線条体のニューロン活動 筑波大学基礎医学系生理 杉野一行 中野渡詔子 大野忠雄
	1-302-1445s	遺伝的運動障害ラットの脳組織内グルタミン 酸・グルタミン回路の変調 藤田保健衛生大生理 <sup>1</sup> 、相山女学園大学 <sup>2</sup> 、鈴鹿医療科学技術大学 <sup>3</sup> 國井修一 <sup>1,2</sup> 田丸政男 <sup>3</sup> 安藤正人 <sup>1</sup> 藤田公和 <sup>1</sup> 永田 豊 <sup>1</sup>
	1-302-1452s	新生ラットにおける感覚線維の歩行リズムリセ ット様式とその生後発達 筑波大学 基礎医学系 生理 飯塚真喜人 工藤典雄
	1-302-1500	上丘刺激に対する頸筋筋電図応答の刺激部位依存性 筑波大学・基礎医学系・生理 Collge de France, Lab. de physiol. de la perception et de l'action 北間敏弘* 吉田 薫 Alexej Grantyn*
	1-302-1515	ネコのC6運動核に投射するC8介在ニューロンの 入力様式の解析 大宮赤十字病院整形外科、群馬大学医学部第二 生理 <sup>1</sup> 五嶋孝博 伊佐 正 <sup>1</sup>
	1-302-1530	ラットの大脳皮質運動野の可塑性 工業技術院・生命工学工業技術研究所・生体情 報部・神経情報研究室 鈴木慎也
	1-302-1545	内側前庭脊髄ニューロンの上部頸髄投射様式と半規管入力様式 筑波大・基礎医・生理 <sup>1</sup> 、Dpt. Physiology, Northwestern University 岩本義輝 <sup>1</sup> Steve I. Perlmutter, James F. Baker, Barry W. Peterson

3月24日(木)

304号室

午前		304号室
細胞・分子生理学分類番号	1-304-0830	アオリイカ巨大神経のImpedance Loci TEXAS University, Marine Biological Laboratory 斎藤忠義
	1-304-0845	電子伝達フラビン蛋白の構成成分への分離と再構成 熊本大・医・一生理 佐藤恭介 二科安三 志賀 潔
	1-304-0900	アルシ-CoAデヒドロゲナーゼの基質特異性発現機構 熊本大・医・代謝内科、一生理 <sup>1</sup> 樋川岩穂 七里元亮 二科安三 <sup>1</sup> 佐藤恭介 <sup>1</sup> 志賀 潔 <sup>1</sup>
	1-304-0915	神経芽腫細胞のエネルギー代謝へのCyclocreatineの作用 京都府立医科大学小児科学教室、明治鍼灸大学生理学教室 <sup>1</sup> 四方卓磨 松村隆文 沢田 淳 西川弘恭 <sup>1</sup>
	1-304-0930	組換えヘモグロビンによる $\alpha$ 鎖penultimate tyrosine残基の機能的役割の研究 阪大・医・一生理、京大・工・分子工学 <sup>1</sup> 今井清博 河野美由紀 石森浩一郎 橋本雅一 <sup>1</sup>
	1-304-0945	ウシ血漿アルブミン溶液、ゲル状態における分子間交差緩和現象の研究 藤田保衛大・総医研・分子生理、岐阜大・医・2生理 <sup>1</sup> 、生理研 <sup>1</sup> 曾我美勝 恵良聖一 <sup>1</sup> 高崎昭彦 江尻和隆 梶原孝彦 巨 弘 <sup>2</sup>
	1-304-1000	還元ヘモグロビン多量子遷移の検討 生理研・分子生理 巨 弘
	1-304-1015	<sup>1</sup> H-NMRによる赤血球内結合水と構造水の定量化 日本医科大・第1生理 飯野正昭
	1-304-1030	<sup>1</sup> H-NMRによる正常及び Heinz小体形成赤血球の分子間交差緩和現象の研究 日本医大・1生理、藤田保衛大・総医研・分子生理 <sup>1</sup> 、岐阜大・医・2生理 <sup>1</sup> 上坂伸宏 高崎昭彦 <sup>1</sup> 曾我美勝 <sup>1</sup> 恵良聖一 <sup>2</sup> 長谷川節雄 加藤一夫 <sup>2</sup> 江尻和隆 <sup>1</sup> 梶原孝彦 <sup>1</sup> 中村浩二 <sup>1</sup>
	1-304-1045	500MHz <sup>1</sup> H-NMRによるマウス水晶体の正常及び外傷性白内障に関する研究 岐阜大・医・第2生理、藤田保衛大・総医研・分子生理 <sup>1</sup> 中村浩二 高崎昭彦 <sup>1</sup> 恵良聖一 <sup>1</sup> 曾我美勝 <sup>1</sup>
	1-304-1100	ラクテート・オキシダーゼによる乳酸の <sup>1</sup> H-NMR共鳴線の同定 徳島大・医・第1生理、京府医大・小児内科 <sup>1</sup> 、生理研 <sup>2</sup> 吉崎和男 早野尚志 <sup>1</sup> 巨 弘 <sup>2</sup>
	1-304-1115s	タンパク質溶液、ゲル状態における分子内交差緩和時間の濃度依存性 藤田保衛大・総医研・分子生理、岐阜大・医・2生理 <sup>1</sup> 、生理研 <sup>1</sup> 曾我美勝 恵良聖一 <sup>1</sup> 江尻和隆 高崎昭彦 梶原孝彦 巨 弘 <sup>2</sup>
	1-304-1122s	卵白アルブミン(OVA)のMOLTEN-GLOBULE STATE 藤田保衛大・総医研・分子生理、岐阜大・医・2生理 <sup>1</sup> 、京都大・食研 <sup>2</sup> 曾我美勝 恵良聖一 <sup>1</sup> 高崎昭彦 梶原孝彦 江尻和隆 中村浩二 <sup>1</sup> 小関泰平 <sup>2</sup> 土居悦四郎 <sup>2</sup>
	1-304-1130s	アシル-CoAデヒドロゲナーゼの基質活性化にはたらく水素結合 熊本大・医・一生理 二科安三 佐藤恭介 樋川岩穂 志賀 潔
	1-304-1137s	マウス・ミオグロビンにおけるMixed Disulfide形成 奈良医大・第2生理 榎 泰義 大賀好美 森本委利
1-304-1145s	ポリペプチドのヘリックス構造の相対的安定性 東北大学・医学部・第1生理 物井宏之	
1-304-1152s	スエーデンに見出された糖鎖含有ヒト変異アルブミンの解析 埼玉医大1生理 坂本 安 北村邦男 田中早苗 寺田庄一 野村正彦	

午後		304号室
研究法分類番号	1-304-1300	人工神経回路を用いた大脳皮質における感覚応答特性の解析 長崎大学・歯・生理、新潟大学・歯・生理 <sup>1</sup> 、ペンシルベニア州立大・医・神経科学・解剖 <sup>2</sup> 木村博幸 宮岡洋三 <sup>1</sup> Thomas C. Pritchard <sup>2</sup> 山田好秋 <sup>1</sup> 佐藤俊英
	1-304-1315	Pancreatic duct cellにおけるHCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> 輸送のコンピュータシミュレーション 大阪医科大学 生理、英国ニューカッスル大学生理 <sup>1</sup> 相馬義郎 B.E. Argent <sup>1</sup> M.A. Gray <sup>1</sup> 今井雄介
	1-304-1330s	シミュレーション機能をもつ電子教科書システムの作成 北里大学医学部医用情報学、同生理学 <sup>1</sup> 竹内昭博 白鷹増男 佐藤登志郎 <sup>1</sup>
	1-304-1337s	誘発耳音響放射の遅い潜時成分について 獨協医科大学越谷病院 耳鼻咽喉科 深澤達也 田中康夫
	1-304-1345	頭蓋骨の頭皮上電位記録に及ぼす影響 浜松医大脳外科 生理学第一 <sup>1</sup> 静岡大電子科研 <sup>2</sup> 下山一郎 宮永史子 山本清二 植村研一 森田之大 <sup>1</sup> 中村孝文 <sup>2</sup>
	1-304-1400	経穴部と非経穴部皮膚の広帯域インピーダンス測定 明治鍼灸大学 大阪医科大学 第一生理 <sup>1</sup> 北小路博司 小田原良誠 吉田秀世 <sup>1</sup> 西川弘恭 <sup>1</sup> 今井雄介 <sup>1</sup>
	1-304-1415s	有限要素法によるインピーダンスの解析 大阪医科大学・第一生理学教室 吉田秀世 今井雄介
	1-304-1422s	微小酸素電極抵抗の経時的変化と酸素拡散電流の関係 京都市衛生公害研究所、左京保健所 藤井崇知
	1-304-1430	HgCdTe赤外線検出器による筋熱産生測定装置の試作 帝京大・医学部・第二生理 小林孝和 杉 晴夫
	1-304-1445	重水素 NMRイメージングを用いたウサギ眼球内水動態測定 横浜市立大学医学部第二生理 <sup>1</sup> 放射線医学総合研究所 障害・臨床研究部 <sup>2</sup> 小島隆行 <sup>1,2</sup> 池平博夫 <sup>2</sup> 笹野之男 <sup>2</sup> 貴色富久子 <sup>1</sup>
	1-304-1500	in vivo 小脳神経活動の光学的観察 名大医生理二、富士フィルム <sup>1</sup> 、生理研 <sup>2</sup> 赤池 忠 納屋明彦 <sup>1</sup> 村山 任 <sup>1</sup> 曾我部正博 小幡邦彦 <sup>2</sup>
	1-304-1515	In vitro PET: 生きている脳スライスにおける新しい神経機能解析法 新技術事業団バイオ認識プロジェクト <sup>1</sup> 、大阪バイオ研・神経科学 <sup>2</sup> 、ウツサラ大学 PETセンター <sup>3</sup> 松村 潔 <sup>1,2</sup> Mats Bergström <sup>1,3</sup> 尾上浩隆 <sup>1,2</sup> 武地 一 <sup>1,2</sup> Göran Westerberg <sup>1,3</sup> Bengt Långström <sup>1,3</sup> 渡辺恭良 <sup>1,2</sup>
	1-304-1530	ファイバーブレード顕微鏡による脳の内部構造の可視化 浜松医科大学光学量子医学研究センター光テクノロジー研究部門 平野雅彦 宮川厚夫
	1-304-1545	慢性用リモートコントロール脳内刺入器の試作について 国立循環器病センター研究所・心臓生理部、広島大学・医学部、広島工大・電気工学科 西浦直亀 二宮石雄 米沢良治
	1-304-1600s	蒸留水刺激による唾液のpH、 $\Delta$ pH、[Na <sup>+</sup> ]および[K <sup>+</sup> ] 岩手医科大学・医・眼科、同・歯・口腔生理 <sup>1</sup> 、志和眼科 <sup>2</sup> 佐々木克哉 佐藤 匡 <sup>1</sup> 吉村 弦 <sup>2</sup> 佐々木雄一 田澤 豊 鈴木 隆 <sup>1</sup>
1-304-1607s	変性意識下における熱電子放出過程の抑制とエントロピー減少効果 昭和大学医学部第一生理学教室 瀬戸 明 佐藤孝雄 佐原正明 吉田篤正 久光 正	

3月24日(木)

401号室

午前		401号室
感 覚  ( 分 類 番 号  11 )	1-401-0830	アメリカザリガニ触角の感覚毛の可動性 近畿大・医・第一生理 秩父志行 千葉 惇 高島正広 崔 昌益
	1-401-0845	ラット上歯槽神経に含まれる歯根膜機械受容ニューロンの性質 東北大学・歯・生理 田端孝義
	1-401-0900	遅順応性動き受容器単位の求心性インパルス発現機構 千葉県立衛生短期大学・歯科衛生学科 宗像昭夫 松井恭平 間 滋夫 保坂 誠 麻賀多美代
	1-401-0915	隣接するパレルでのGABAの放出と取り込み 秋田大学医学部第一生理 城川哲也 小川哲朗
	1-401-0930	内臓ポリモダル受容器の熱反応とブラジキニン(BK)反応に及ぼすphorbol esterの影響 名古屋大学環境医学研究所・神経性調節分野 水村和枝 甲田久士 熊澤孝朗
	1-401-0945	脱交感神経後にもみられた慢性炎症時のカテコラミン性痛覚受容器興奮 名古屋大学環境医学研究所・神経性調節分野 佐藤 純 鈴木重行 熊澤孝朗
	1-401-1000	脊髄後根神経節分離細胞に対するlow pHの作用 名古屋大学環境医学研究所神経性調節 笠井聖仙 熊澤孝朗
	1-401-1015	輻射熱刺激によるヒト皮膚熱痛覚に対するCAPSAICIN局所投与の影響 名古屋大学環境医学研究所・神経性調節分野 安井広尊 水野里香 山野井裕子 熊澤和彦 水村和枝 熊澤孝朗
	1-401-1030s	HRP細胞内染色によるラット視床腹側基底核の研究 愛知県心臓病センター・発達障害研・生理 伊藤宗之
	1-401-1037s	CGRPとサブスタンスP含有精果神経 名古屋大学環境医学研究所・神経性調節分野 田村良子 水村和枝 熊澤孝朗
	1-401-1045	単一事例実験計画法への時系列解析(C-統計量)の適用 明治鍼灸大学 生理、東洋医学 <sup>1</sup> 川喜田健司 角谷英治 宮坂卓治 大島 稔 北小路博司 <sup>1</sup>
	1-401-1100	幻肢痛モデルにおける“pain memory”の検討 大阪府立大学総合科学部 大阪大学医学部第2生理 浅田 博 山口雄三 里村憲一郎 福田 淳 <sup>1</sup>
	1-401-1115	眼窩皮室の内因性鎮痛系における役割 明治鍼灸大学 生理 角谷英治 宮坂卓治 川喜田健司
	1-401-1130	ハリ電気刺激とc-fos発現 関西鍼灸短大・生理 檜葉 均 錦織綾彦 大城正則 上田至宏
1-401-1145	慢性神経結紮モデルラットの脊髄後角侵害受容ニューロンの末梢電気刺激応答に与えるサブスタンスP拮抗薬局所投与の効果 東北大・歯・生理 林 治秀 戸田孝史	

午後		401号室
感 覚  ( 分 類 番 号  11 )	1-401-1300	ハトの非規管温度刺激による内外リンパ圧差およびクブラ側圧差 名大・環境医研・高次神経統御平衡適応 和田佳郎 鈴木啓之 渡邊 悟
	1-401-1315	聴覚野におけるシナプス可塑性 新潟大学・脳研究所・神経生理学部門 工藤雅治 酒井雅史 渋谷克栄
	1-401-1330	モルモット聴覚野の音声応答パターンの観測 日立製作所 基礎研究所 福西宏有 村井伸行 宮下 豪
	1-401-1345	モルモット聴覚野の両耳・片耳応答特性の動的評価 日立製作所 基礎研究所 村井伸行 福西宏有
	1-401-1400s	多電極によるモルモット聴覚野の時空間特性の測定 ㈱日立製作所基礎研究所 宮下 豪 村井伸行 福西宏有
	1-401-1407s	耳胞におけるアセチルコリンレセプターの機能的発現 大阪大学・医・第2生理 中岡良和 吉本由喜子 山下勝幸
	1-401-1415	モルモット皮質聴覚領活動のビデオカメラによる観察 東京医科歯科大学 医用器材研究所 橋本 享
	1-401-1430	ヒト聴覚野1次応答の磁界計測 都精神研・精神生理、N T T基礎研究所 <sup>1</sup> 、東京学芸大学・心理生理 <sup>2</sup> 橋本 勲 益子拓徳 <sup>1</sup> 今田俊明 <sup>1</sup> 水田敏郎 <sup>2</sup>
	1-401-1445	ニホンザル大脳皮質聴覚野ニューロンの音声応答 北大・歯・生理 鎌田 勉 亀田和夫
	1-401-1500	聴覚皮質におけるNMDA型応答のin vivo 光学的計測 東京医歯大・難研・聴覚情報 堀川順生 谷口郁雄 細川 浩 窪田道典 那須昌啓
	1-401-1515	音源の方向性に対する皮質聴覚領の神経活動の光学的計測 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 聴覚情報 森山俊男 細川 浩 堀川順生 谷口郁雄
	1-401-1530	モルモット皮質聴覚領の両耳性応答の光学的計測 東京医歯大・難治疾患研究所・聴覚情報 細川 浩 堀川順生 那須昌啓 谷口郁雄

3月24日(木)

402号室

午前 402号室	
1-402-0830	$\beta$ 刺激による心筋単一L型Ca電流のkineticsの変化の多用性 東京医科歯科大学・難研・循環器 平野裕司 鈴木京子 平岡昌和
1-402-0845	心臓由来の株化細胞 H9c2(2-1)におけるL型Caチャンネル $\alpha_1$ サブユニットの発現 順天堂大・医・第二生理、三菱化成生命研・脳神経化学 <sup>1</sup> 中村 健 高橋正身 <sup>1</sup> 大地陸男
1-402-0900	細胞内MgによるCaチャンネルの制御 広島大学医学部生理学第一 山岡 薫 宗盛 真 古江俊昭 瀬山一正
1-402-0915	ウサギ副交感神経節細胞に発生する外向き膜電流振動のMg <sup>2+</sup> による調節 久留米大・医・第二生理 西村俊彦 赤須 崇
1-402-0930s	心筋筋小胞体Ca放出チャネル 福岡大学 医学部 生理学第一、人間生物系総合研究室 <sup>1</sup> 上原 明 安河内緑 <sup>1</sup> 今永一成
1-402-0937s	ニワトリ骨格筋Na、Caチャンネル発達における脳抽出液の影響 北里大学医学部生理学 佐藤亮平 中林由美子 加濃正明
1-402-0945	メタボトロピックグルタミン酸レセプターによるカルシウム電流の抑制 東医歯大・歯・生理 <sup>1</sup> 、Vollum Inst., Oregon Hlth. Sci. Univ. <sup>2</sup> 佐原資謙 <sup>1,2</sup> Gary L. Westbrook <sup>2</sup>
1-402-1000	腎メサンギウム細胞においてPDGFにより活性化されるCa透過性channel Emory 大学医学部生理学教室、米国Georgia州 Atlanta 市 松永 浩 Douglas C. Eaton
1-402-1015	ニューロンのCa <sup>2+</sup> 誘起性Ca <sup>2+</sup> 遊離の新しい細胞内制御機構 佐賀医大・生理、実験実習機器センター <sup>1</sup> 、久留米大学・2生理 <sup>2</sup> 久場健司 時政孝行 <sup>2</sup> 能見光雄 <sup>1</sup>
1-402-1030	虚血により誘発される細胞外Ca <sup>2+</sup> 流入における成分分析 愛媛大学医学部第一生理 柳瀬尚人 三谷 章 片岡喜由
1-402-1045s	ラット心臓由来の株化細胞H9c2でのK電流の発現 順天堂大・医・第二生理 王 偉 中村 健 大地陸男
1-402-1052s	遅延整流型クローンK <sup>+</sup> チャンネル (Kv1.5) に対する4-APの作用とその機序 東京医科歯科大学・難研・循環器 山根禎一 古川哲史 沢登 徹 平岡昌和
1-402-1100	心筋Kチャンネルクローン (Kv1.5)の表面電荷に関する検討 東京医歯大難研自律生理 同循環器 <sup>1</sup> 古川哲史 山根禎一 <sup>1</sup> 片山芳文 平岡昌和 <sup>1</sup>
1-402-1115	G蛋白質で活性化されるK <sup>+</sup> チャンネルcDNAのクローニングと機能発現 東京都神経研・神経生理 <sup>1</sup> 、UCSF, HHMI <sup>2</sup> 久保義弘 <sup>1,2</sup> E. Reuveny <sup>2</sup> P.A. Slesinger <sup>2</sup> Y.N. Jan <sup>2</sup> and L.Y. Jan <sup>2</sup>
1-402-1130	ラット脳特異的K <sup>+</sup> チャンネル(Kv3.1 $\alpha$ )のcharacterization 塩野義製薬、新薬検 <sup>1</sup> 、Pharmacology, Yale Univ. Sch. Med <sup>2</sup> 金政利幸 <sup>1,2</sup> L.K. Kaczmarek <sup>2</sup>
1-402-1145	MCD 結合K <sup>+</sup> チャンネルの性質と脳内局在 生理研・神経情報、機能協同 <sup>1</sup> 藤本一朗 中平健祐 老木成稔 <sup>1</sup> 岡田泰伸 <sup>1</sup> 池田一裕

イオンチャネル・レセプター (分類番号9)

午後 402号室	
1-402-1300s	ラット青斑核細胞でのノルアドレナリンで活性化される単一Kチャンネルの解析 北海道大学・薬学部・薬理学講座 三宅教尚 青木裕明
1-402-1307s	ハエ毒Sapelin BによるGH3細胞のK <sup>+</sup> チャンネルへの抑制作用 北里大・医・生理、東大・薬 <sup>1</sup> 、早大・人間科学 <sup>2</sup> 鈴木信之 倉田洋一朗 <sup>1</sup> 名取俊二 <sup>1</sup> 吉岡 亨 <sup>2</sup>
1-402-1315	Ca <sup>2+</sup> -activated Pk <sup>+</sup> 増大に対するadenosine誘導体の効果 岩手医科大学歯学部口腔生理学講座 染井宏祐 奈良一彦 川原田啓 鎌田健一 鈴木 隆
1-402-1330	遅延整流性K <sup>+</sup> 電流に対するwortmanninの作用 久留米大・医・第二生理 時政孝行 赤須 崇
1-402-1345	ウシ蛙脊髄後根神経節細胞におけるtachykininの作用 久留米大・医・第二生理 石松 秀 赤須 崇
1-402-1400	K <sup>+</sup> チャンネルを開くDA-receptorsの"short term desensitization" 岩手医大 医学部 第一生理 木村真吾 藤田玲子 松本光比古 佐々木和彦 高島浩一郎 佐藤 誠
1-402-1415	DAで誘起されるK <sup>+</sup> 電流応答のPKCによる抑制 岩手医大・医・第一生理 佐々木和彦 川崎 敏 松本光比古 高島浩一郎 木村真吾 岩淵玲子 佐藤 誠
1-402-1430	筋 $\beta$ 細胞ATP感受性Kチャンネルに対するcibenzolineの作用 京都大学第3内科、臨床代謝栄養 <sup>1</sup> 高橋綾子 津浦佳之 <sup>1</sup> 錦貫正人 湯月洋介 堀江 稔 石田 均 <sup>1</sup> 清野 裕 <sup>1</sup> 篠山重威
1-402-1445	胃粘膜細胞のCa <sup>2+</sup> 依存性K <sup>+</sup> チャンネルの細胞内ATPによる調節機構 広島大学医学部生理学第一、第一内科 <sup>1</sup> 三重野寛 <sup>1</sup> 玉木憲治 <sup>1</sup> 梶山梧朗 <sup>1</sup> 瀬山一生
1-402-1500	培養関節軟骨細胞における膜イオンチャンネル 札幌医大整形外科、同第一生理 <sup>1</sup> 杉本禎志 倉 秀治 長尾正人 吉野正巳 <sup>1</sup> 巽 英世 <sup>1</sup>
1-402-1515	Isaacs症候群におけるイオンチャンネル異常の検討 鹿児島大学第三内科 <sup>1</sup> 、同第二生理 <sup>2</sup> 園田至人 <sup>1,2</sup> 有村公良 <sup>1</sup> 黒野明日嗣 <sup>1,2</sup> 末原雅人 <sup>1</sup> 納光 弘 <sup>1</sup>
1-402-1530	容積調節性Cl <sup>-</sup> チャンネルの細胞内Mg <sup>2+</sup> によるブロッキング 生理学研究所・機能協同 <sup>1</sup> 、京都大学・医・生理 <sup>2</sup> 久保町子 <sup>1,2</sup> 老木成稔 <sup>1</sup> 森島 繁 <sup>1</sup> 岡田泰伸 <sup>1</sup>
1-402-1545	心筋におけるPostvagal potentiationの機序について—PKA 感受性クロライド電流を指標として— 京都大学第三内科、大阪大学病理病態学 <sup>1</sup> 堀江 稔 大江洋史 <sup>1</sup>

イオンチャネル・レセプター (分類番号9)

3月24日(木)

403号室

午前		403号室
細胞 分 子 生 理  ( 分 類 番 号 1 )	1-403-0830	心内皮細胞における過分極反応とCa依存性Kチャネル 九大(医)第二生理、京大(医)第二生理 <sup>1</sup> 真鍋和則 伊東裕幸 松田博子 野間昭典 <sup>1</sup>
	1-403-0845	小腸吸収細胞電位作動性Kチャネル活性への細胞外Ca効果 生理研・機能協同 <sup>1</sup> 、京都警察病院 <sup>2</sup> 、京都大学・内科 <sup>3</sup> 立田 浩 <sup>1,2</sup> 辻 和良 <sup>1</sup> 鍛冶田英俊 <sup>3</sup> 上田俊二 <sup>3</sup> 老木成稔 <sup>1</sup> 岡田泰伸 <sup>1</sup>
	1-403-0900	単離食用蛙近位尿管細胞Kチャネルの細胞内制御機構 大阪医大第二生理 萩原暢子 窪田隆裕 森 禎章 小寺邦彦 藤本 守
	1-403-0915	膵β細胞の電気的活動及び細胞内ATP濃度に及ぼすouabainの効果 滋賀医大・第二生理 北里 宏 何 莉萍 丁 維光 服部政憲
	1-403-0930	膵β細胞のATP感受性K <sup>+</sup> チャネルに及ぼす低ナトリウムの影響 滋賀医科大学・第二生理 丁 維光 何 莉萍 服部政憲 北里 宏
	1-403-0945	膵β細胞のATP感受性K <sup>+</sup> チャネルの活性化による活性化の機序 鹿児島大学医学部第一内科 加計正文 中崎満浩 田中弘允
	1-403-1000s	上皮細胞容積調節過程における細胞内Mg <sup>2+</sup> 変化の測定 生理研・機能協同 三輪晃子 岡田泰伸
	1-403-1007s	グリア細胞におけるCl <sup>-</sup> 交換及び共輸送に伴うタウリンの放出 東京医大・第一生理、第二生理 <sup>1</sup> 坂井朗子 <sup>1</sup> 登坂恒夫
	1-403-1015	骨髄幹細胞由来マスト細胞のKおよびClチャネル 大阪市立大学・医学部・第一生理 久野みゆき 柴田敏弥 川島順子 京極郁夫
	1-403-1030	ウサギ胃酸分泌細胞のCl <sup>-</sup> チャネルのPGE <sub>2</sub> による活性化機構 富山医大・薬・薬物生理学 酒井秀紀 竹口紀晃
	1-403-1045	培養腎細胞のCl <sup>-</sup> コンダクタンスに対する細胞内pHおよびCa <sup>2+</sup> の影響 大阪医大 第二生理 森 禎章 萩原暢子 窪田隆裕 小寺邦彦 藤本 守
	1-403-1100	腎上皮細胞(A6) whole cell currentに及ぼす抗利尿ホルモン(ADH)の影響 トロント大学 小児病院研究所 医科学研究所 中張隆司 丸中良典
	1-403-1115	膜電位依存性Na <sup>+</sup> チャネルの視床下部ペプチド(GRF)による修飾 群馬大学・内分泌研究所・生理学部門 加藤昌克
	1-403-1130s	ラット単一神経線維の電気活動と抗GM1抗体-膜電位固定法による研究 滋賀医科大学・第二生理 瀧川智子 北里 宏
	1-403-1137s	胎児肺上皮細胞イオン輸送に及ぼすNa/K/2Cl共輸送阻害剤の促進作用 トロント大学 小児病院研究所 医科学研究所 土井康生 丸中良典
1-403-1145s	腎上皮細胞(A6)Cl <sup>-</sup> チャネルに対する抗利尿ホルモン(ADH)の影響 トロント大学 小児病院研究所 医科学研究所 遠田秀起 Z. Wang 丸中良典	
1-403-1152s	腎上皮細胞(A6)イオン輸送に及ぼす抗利尿ホルモンとaldosteroneの影響 トロント大学 小児病院研究所 医科学研究所 榎垣寛治 丸中良典	

午後		403号室
細胞 分 子 生 理  ( 分 類 番 号 1 )	1-403-1300s	Benzamil(amilorideの誘導体)とInsulinの胎児肺細胞non-selective cation channel(NSCC)にたいする特殊な作用 トロント大学 小児病院研究所 医科学研究所 遠田秀起 丸中良典
	1-403-1307s	カテコラミンにより活性化された胎児肺細胞non-selective cation channel(NSCC)の性質および活性化機序 トロント大学 小児病院研究所 医科学研究所 遠田秀起 J. Wang 丸中良典
	1-403-1315	腎上皮細胞(A6)non-selective cation channel(NSCC)に及ぼす抗利尿ホルモン(ADH)の影響 トロント大学 小児病院研究所 医科学研究所 (現 大阪医大第二生理)* 丸中良典 遠田秀起 萩原暢子*
	1-403-1330	膵腺房細胞膜non-selective cation channel開口のAキナーゼによる促進作用 東海大・開発工・医用生体 鈴木和夫
	1-403-1345s	小腸上皮細胞の細胞内pHの調節機構と栄養素吸収 静岡県立大学 食品栄養科学部 生理 林 久由 鈴木裕一
	1-403-1352s	大腸上皮細胞内pHの調節機構 静岡県立大学 食品栄養科学部 生理 丸山美智子 林 久由 鈴木裕一
	1-403-1400	細胞外液のpH変動による細胞機能調節 長崎大・医・第二生理、第二薬理 <sup>1</sup> 吉田 繁 吉村美鶴子 <sup>1</sup> 谷山絃太郎 <sup>1</sup>
	1-403-1415	開口放出ダイナミクスの多重光顕法による解析 浜松医大・光子医学研究センター、総研大・生理研 <sup>1</sup> 寺川 進 櫻井孝司 <sup>1</sup>
	1-403-1430	[Ca <sup>2+</sup> ] <sub>i</sub> によるA-431細胞のNa <sup>+</sup> /H <sup>+</sup> アンチポーター機能の調節 明海大・歯学部 口腔生理、徳島大・歯 口腔生理 <sup>1</sup> 熱海智子 杉田憲司 栗原琴二 細井和雄 <sup>1</sup> 上羽隆夫
	1-403-1445	Indo-1共焦点レーザー顕微鏡による膵腺房細胞内Ca <sup>2+</sup> 動態の解析 生理研 <sup>1</sup> 、ニコインステック <sup>2</sup> 、ニコ <sup>3</sup> 、北大、獣医生理 <sup>4</sup> 葉原芳昭 <sup>1</sup> Julia Busik <sup>1</sup> 坂口一紀 <sup>2</sup> 中村 竜 <sup>3</sup> 菅野富夫 <sup>1,4</sup>
	1-403-1500	VEC-DICによるランゲルハンス島細胞の開口放出機構の解析 総研大・生理研、浜松医大・光子医学 <sup>1</sup> 櫻井孝司 寺川 進
	1-403-1515	分散培養した神経細胞回路のRH155を用いた光学的計測 日立製作所 基礎研究所 川口英夫 時岡 良 村井伸行 毛塚浩章 福西安有
	1-403-1530	軸索輸送に対する光照射の影響 理化学研究所フォトダイナミクス研究センター 光生物ゲーム、横浜市大医第一生理 <sup>1</sup> 岩手医大第一生理 <sup>2</sup> 加藤正人 倉知 正 川上 倫 <sup>1</sup> 後藤秀機 <sup>2</sup> 竹中敏文 <sup>1</sup> 田代英夫
	1-403-1545	精子は何時卵と融合するか-単一精子の膜電位の測定 国立診療所中部病院・名大医、浜松ホトニクス <sup>1</sup> 富山大・理 <sup>2</sup> 榎本和久 平野憲一 <sup>1</sup> 早川 毅 <sup>1</sup> 黒田英世 <sup>2</sup>

## 3月25日(大会2日目)

シンポジウム

一般口演

ショートコミュニケーション

3月25日(金)

ホール

午前	ホール
<b>S 5 体液恒常化の自動制御機構</b>	
8:30~12:00	
オーガナイザー 丸茂 文昭(東京医科歯科大・第二内科) 白木 啓三(産業医大・第二生理)	
S 5-1)	体液の自動制御機構:肝-腎-腸の曼陀羅模様 香川医大・第二生理 森田啓之 西田育弘 村上 宏 細見 弘
S 5-2)	体液制御機構の計算機シミュレーション 北里大・医・医用情報、生理学 <sup>1</sup> 竹内昭博 池田憲昭 佐藤登志郎 <sup>1</sup>
S 5-3)	圧反射による血圧および心機能の制御 国立循環器病センター 砂川賢二
S 5-4)	ヒトの飲水量の制御機構 産業医大・第二生理 白木啓三 佐川寿栄子
S 5-5)	液性体液循環調節因子Na利尿ペプチド、 アンジオテンシン系の遺伝子発現 香川医大・薬理学 木村正司 安部陽一
S 5-6)	腎から見た体液の自動制御 東京医科歯科大・第二内科 富田公夫 野々口博史 寺田典生 丸茂文昭

午後	ホール
<b>S 6 教育シンポジウム</b>	
生理学教育改革の実際-選択制と基礎配属-	
13:00~17:00	
オーガナイザー 栗原 敏(生理学会教育委員会委員長、慈恵 医大・第二生理) 高田 明和(同副委員長、浜松医大・第二生理)	
S 6-1)	はじめに 慈恵医大・第二生理 栗原 敏
S 6-2)	名古屋大学における基礎医学セミナーにつ いて 名古屋大・医・第一生理 富田忠雄
S 6-3)	大阪大学医学部での試み、特に基礎配属 大阪大・医・第一生理 志賀 健
S 6-4)	東北大学に於ける基礎習練 東北大学・医・第二生理 丹治 順
S 6-5)	時代の流れを勘案した医学教育を推進する ための教育改革 香川医大・第二生理 細見 弘
S 6-6)	生理学実習における選択制の試み 慶応大学・医・生理学 金子章道
S 6-7)	シンポジウムまとめ 浜松医大・第二生理 高田明和

3月25日(金)

404号室

午前	404号室
<b>S 7 神経内分泌-免疫系関連</b>	
8:30~12:00	
オーガナイザー 木下 喜博 (大阪市大・第二生理)	
S 7-1)	脳・免疫系連関におけるサイトカインの役割 九州大学・医・第一生理 堀 哲郎 片淵俊彦 武 幸子 岡 孝和 太田一樹 高木厚司 清水宣明 一条智康
S 7-2)	神経細胞膜に対する免疫サイトカインの作用 島根医大・第二生理 澤田正史 一ノ瀬充行
S 7-3)	神経・免疫系における免疫抑制剤とカルシニューリンの生理作用 香川医大・第一生理 松井秀樹 畠瀬 修
S 7-4)	免疫反応機構に対する神経・内分泌系の関与 産業医大・第一生理、宮崎医大・第一生理 <sup>1</sup> 、 広島大・医・免疫寄生虫 <sup>2</sup> 山下 博 田中宏明 河南 洋 <sup>1</sup> 山下優毅 <sup>2</sup>
S 7-5)	神経・内分泌・免疫連関を踏まえた老化と胸腺 東京都老人研・免疫病理、自律神経 <sup>1</sup> 広瀬 勝 佐藤昭夫 <sup>1</sup>
S 7-6)	胸腺リンパ球分化・成熟機構における自律神経系と内分泌系の関与 大阪市大・医・第二生理 木下喜博 羽藤文彦 富永恵子
S 7-7)	胸腺自律神経支配の電気生理学的研究 新潟大・医・第一生理 新島 旭

午後	404号室
<b>S 8 イオンチャンネルと担体型トランスポーターの構造的、機能的協関</b>	
13:00~17:00	
オーガナイザー 岡田 泰伸 (生理研・機能協関部門) 野間 昭典 (京都大・医・生理学第2)	
S 8-1)	How Different are Transporters from Channels? Univ. of Oxford, Dept. of Human Anatomy C.A.R. Boyd
S 8-2)	抗癌剤排出ポンプP糖蛋白質の分子機構 京大・農・農芸化学 植田和光
S 8-3)	容量調節性Cl <sup>-</sup> チャンネルとMDR 生理研・機能協関 老木成稔
S 8-4)	大腸H <sup>+</sup> 分泌をめぐるポンプ、キャリアー、チャンネル間の競合と協調 静岡県立大・食品栄養生理 鈴木裕一
S 8-5)	胃酸分泌プロトンポンプとClチャンネル 富山医科薬科大・薬・薬物生理 竹口紀晃
S 8-6)	心筋CFTR型クロライド電流の特性 京都大・医・第三内科 堀江 稔
S 8-7)	グラミシジン穿孔パッチ法による抑制性アミノ酸受容体応答の研究 九州大・医・第二生理 赤池紀生

午前		201号室
心臓循環	2-201-0830	過酸化水素による血管平滑筋の弛緩反応と細胞内Ca <sup>2+</sup> 動態 順天堂大学循環器内科・同第二生理 <sup>1</sup> 家崎貴文 岡田隆夫 <sup>1</sup> 山口 洋 大地陸男 <sup>1</sup>
	2-201-0845	大動脈平滑筋細胞における伸張刺激によるPTHrP遺伝子の発現増強作用 東京大学医学部脈管病態生理、第四内科 <sup>1</sup> 、第一内科 <sup>2</sup> 、第二生理 <sup>3</sup> 野田昌邦 加藤哲夫 <sup>1</sup> 黒川 清 <sup>2</sup> 熊田 衛 <sup>3</sup> 多久和陽
	2-201-0900	培養ラットマクロファージ由来の血管平滑筋弛緩因子の特性 信州大学医学部第一生理学教室 王 海杰 水野理介 大橋俊夫
	2-201-0915	線維芽細胞に由来する腫瘍組織の血管内皮細胞愛媛県立医療技術短大、愛媛大学医学部・動物実験施設 <sup>1</sup> 昆 和典 佐川輝高 藤原 隆 <sup>1</sup>
	2-201-0930s	イヌ摘出前脊髄動脈に対する生理活性物質の影響 信州大学医学部第一生理学教室 王 銘霞 大橋俊夫
	2-201-0937s	摘出細動脈のmyogenic tone に対する内皮細胞の影響 信州大学医学部第一生理学教室 水野理介 堀内哲吉、大橋俊夫
	2-201-0945	カルシウム過負荷不全心の心機能 岡山大学医学部第二生理学教室 荒木淳二 明石拓爾 高木 都 菅 弘之
	2-201-1000	左心室拡張能の評価法をめぐって—弾性要素と粘性要素の独立性 京都府立医科大学第二外科、Univ. of Oxford, Nuffield Dept. of Anaesthetics 相馬 彰 Pierre Foëx
	2-201-1015s	等容性収縮左心室圧曲線の新しい評価法 岡山大学医学部第二生理 松原広己 荒木淳一 高木 都 菅 弘之
	2-201-1022s	心室筋細胞内Ca動態に対する筋長変化の影響 東京慈恵会医科大学第二生理学教室 栗原 敏 小武海公明 川井 真
	2-201-1030	養光消光法で測定した代謝阻害時の心筋細胞膜O <sub>2</sub> 拡散係数 山形大・医・第一生理 内田勝雄 土居勝彦
	2-201-1045	心室筋の細胞内Caと張力に対するアデノシンの効果 東京慈恵会医科大学第二生理学教室 小武海公明 栗原 敏
	2-201-1100	温血動物心室筋細胞内Ca <sup>2+</sup> 除去機構の温度及び電位依存性 東京慈恵会医科大学第二生理 田中悦子 栗原 敏
	2-201-1115	単離心筋細胞における自発性収縮と生理的単収縮の比較 聖マリアンナ医大・第二生理 為安 司
	2-201-1130	低酸素・再酸素化障害に対する未熟心の特異性 順天堂大学医学部 胸部外科、第二生理 <sup>1</sup> 佐藤 博 岡田隆夫 <sup>1</sup> 細田泰之 大地陸男 <sup>1</sup>
2-201-1145	臓器移植の急性拒絶反応におけるNOの解析 大阪大学医学部第一外科、同第一生理 <sup>1</sup> 田中知徳 上池 涉 野崎俊一 黄 泰平 伊藤壽記 松田 暉 志賀 健 <sup>1</sup> 小坂博昭 <sup>1</sup>	

午後		201号室
心臓循環	2-201-1300	エンドセリン-1 遺伝子欠損マウスの循環・呼吸機能 東京大学医学部第2生理学、第3内科 <sup>1</sup> 桑木共之 栗原由紀子 <sup>1</sup> 栗原裕基 <sup>1</sup> 曹 偉華 畠川美悠紀 <sup>1</sup> 矢崎義雄 <sup>1</sup> 熊田 衛
	2-201-1315	血圧調節における髄液Na濃度と血圧反射の関係 京都府立医科大学、第一生理学教室 能勢 博 陳 勉
	2-201-1330	髄液Na濃度による血圧調節：総末梢血管抵抗の変化 京都府立医科大学、第一生理学教室 陳 勉 能勢 博
	2-201-1345	頸下浸水中の水温変化と中心静脈圧 (CVP) との関連 産業医大・第二生理 永谷 建 和田 太 鳥居理子 遠藤 豊 佐川寿栄子 白木啓三
	2-201-1440s	健常男子の最大酸素摂取能力及び自律神経機能と加齢 産業医科大学 第二内科、健康開発科学 <sup>1</sup> 、応用生理 <sup>2</sup> 中村 正 高原和雄 池田正春 <sup>1</sup> 平川晴久 <sup>2</sup> 中島康秀 黒岩昭夫 林田嘉朗 <sup>2</sup>
	2-201-1407s	脳阻血時の交感神経の興奮に対する大動脈神経圧受容器の影響 福島県立医科大学 生理学第一講座 菅野隆浩 永山忠徳 清水 強
	2-201-1415	脳阻血性昇圧徐脈反応におけるα <sub>2</sub> -adrenoceptorの働き 福島県立医科大学生理学第一講座 永山忠徳 松本茂二 清水 強
	2-201-1430	Circulating nitric oxideの脳虚血再灌流での検出 大阪大学・医・第1生理 久村英嗣 田中知徳 志賀 健 小坂博昭
	2-201-1445s	意識下ウサギにおける脱血性低血圧の脳皮質血流測定 香川医科大学第二生理、第一外科 <sup>1</sup> 山下洋一 長町恵憲 森田啓之 細見 弘 田中 聰 <sup>1</sup>
	2-201-1452s	頸動脈血流速度から推定した運動中の脳血流量の変化 徳島大・医学部・第一生理、徳島文理大・一般教育 <sup>1</sup> 姜 正林 田中弘之 山口久雄 高橋 章 田辺伸悟 細川教子 池原敏孝 宮本博司 <sup>1</sup>
	2-201-1500	ネコ逆説睡眠期の血圧調節：術後回復およびPGO波との関連 徳島大・医・歯学部 <sup>1</sup> 、東北大・工学部 <sup>2</sup> 、Univ. Claude Bernard <sup>3</sup> 徳井生義 金藤憲雄 <sup>1</sup> 酒井一弥 <sup>2</sup> 山本邦章 <sup>3</sup> 森田雄介 <sup>1</sup> M. Jouvet <sup>3</sup>
	2-201-1515	イヌの睡眠時の圧受容器反射と腎交感神経活動 奈良女子大学 生活健康学、産業医科大学 応用生理 <sup>1</sup> 、第二生理 <sup>2</sup> 三木健寿 林田嘉朗 <sup>1</sup> 白木啓三 <sup>2</sup>
	2-201-1530	離ラットにおける血圧、心拍数の内因性リズム 名古屋大学医学部第一内科 竹澤博人 林 博史
	2-201-1545	心拍一歩行運動リズムの同期と血圧変動ゆらぎ 山形大・工・電子情報 新聞久一 高橋龍尚 宮本嘉巳
	2-201-1600	リミット・サイクルとしての血圧振動 信州大学名誉教授 宮川 清
2-201-1615	一心周期の間の時定数の変化 杏林大学保健学部臨床生理学教室 岡井 治 三谷博子	
2-201-1630s	コロナ音発生機序の流体力学的解析 杏林大学保健学部生理学教室、東京大学医学部放射線科 <sup>1</sup> 嶋津秀昭 森反俊幸 <sup>1</sup> 小林博子 秋元恵実	
2-201-1637s	神経ペプチドの消化管血流に対する作用 名古屋大学第2内科、生理学研究所 <sup>1</sup> 成瀬 達 尾崎 毅 <sup>1</sup>	
2-201-1645s	ビタミンCの血圧に及ぼす影響 熊本大・医・第一生理、教育・臨床医科学 <sup>1</sup> 脇田良彬 米村健一 <sup>1</sup>	
2-201-1652s	高齢者の四肢末梢循環血流量の測定 東大・医・健康科学看護学科・家庭看護 石垣和子 杉下知子	

3月25日(金)

202号室

午前		202号室
ニ ユ ー ロ ン ・ シ ナ プ ス  ( 分 類 番 号 10 )	2-202-0830	視覚皮質シナプス可塑性におけるcAMPの関与 京大・医・認知行動脳科学 吉村 弘 加藤伸郎
	2-202-0845	海馬 CA1長期増強では伝達物質放出確率は増加しない 東京大学医学部脳研生理 <sup>1</sup> 、カリフォルニア大学SF校薬理 <sup>2</sup> 真鍋俊也 <sup>1,2</sup> Roger A. Nicoll <sup>2</sup>
	2-202-0900	大脳皮質錐体細胞における興奮性シナプス電流のシナプス前抑制 京都大学医学部生理学第一講座 姜 英男
	2-202-0915	幼若ラット視覚野におけるシナプス長期増強と細胞内Ca <sup>2+</sup> 変化 大阪大学医学部バイオメディカルセンター神経生理 安田浩樹 高橋正紀 津本忠治
	2-202-0930	エンケファリンによる伝達物質遊離抑制機序の解析 京都大学医学部第一生理 遠藤克昭 八尾 寛
	2-202-0945	神経終末膜蛋白シタキシンの機能解析 東京医大・第一生理、新潟大学・脳研・神経化学 <sup>1</sup> 持田澄子 小林春雄 阿部輝雄 <sup>1</sup>
	2-202-1000	新生児ラット小脳プルキンエ細胞のグルタミン酸応答 自治医大第一生理 狩野方伸 北澤宏理
	2-202-1015	虚血海馬CA1 錐体細胞のグルタミン酸受容体電流に及ぼすJSTXアナログ投与の効果 自治医大第一生理 坪川 宏 川合述史
	2-202-1030	シナプス伝達における電圧感度と電圧利得 帝京大・医・第一生理 小原昭作 小倉立也
	2-202-1045	中脳スライス・黒質ニューロンにおけるシナプス伝達とアミノ酸感受性の生後発達のパッチ・クランプ法による解析 三変化成生研・脳神経生理、石巻専修大学・理工 <sup>1</sup> 鷲尾 宏 <sup>1</sup> 小西史朗
	2-202-1100	ニューロン電位活動の光学的測定による蛙交感神経節シナプス伝達機能の解析 東京医歯大・医・2生理 酒井哲郎 佐藤勝重 佐藤容子 廣田秋彦 神野耕太郎
	2-202-1115	中枢コリン作動性神経細胞の成長円錐における伝達物質の準備について 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 自律生理 第六大学 <sup>1</sup> 辰巳仁史 辻 繁 <sup>1</sup> 添田博充 片山芳文
	2-202-1130	頻回刺激直後のシナプス伝達の増強とキンドリング後発射の関係 大阪市立大学・医学部・第一生理 松裏修四、平山 謙
	2-202-1145s	扁桃核刺激によるシナプス伝達の増強とキンドリング進展との関係 大阪市立大学 小児科 同生理学第一講座 <sup>1</sup> 田中勝治 平山 謙 <sup>1</sup> 松裏修四 <sup>1</sup>
	2-202-1152s	微小終板電位に対するdextranの影響 東日本学園大・歯・口腔生理 太田 薫 鈴木光代 星 和明 猪股孝四郎

午後		202号室
ニ ユ ー ロ ン ・ シ ナ プ ス  ( 分 類 番 号 10 )	2-202-1300	多電極培養皿上の大脳皮質切片培養標本を用いた皮質神経回路形成の解析 松下電器産業中央研究所、京都府立医科大学第2生理 <sup>1</sup> 杉原宏和 小林 康 亀井明仁 富山幸一 <sup>1</sup> 山本亘彦 <sup>1</sup> 外山敬介 <sup>1</sup>
	2-202-1315	培養小脳ニューロンにおけるAMPA応答抑制機序について 防衛医大・第二生理、薬理 <sup>1</sup> 岡本順子 岡本浩一 <sup>1</sup> 丹代 恵 辰濃治郎
	2-202-1330	扁桃体中心核ニューロンのニューロテンシンに対する反応 岡山大・医・第一生理、産業医大・第一生理 <sup>1</sup> 陸 雲飛 服部幸雄 山下 博 堀 泰雄
	2-202-1345	光学的多チャネル/光学切片計測法による初期胚脳幹における迷走神経応答三次元領域の同定 東京医歯大・医・2生理 佐藤勝重 佐藤容子 酒井哲郎 廣田秋彦 神野耕太郎
	2-202-1400	光学的多チャネル計測による初期胚脳幹迷走神経/舌咽神経応答領域の比較 東京医歯大・医・2生理 佐藤容子 佐藤勝重 廣田秋彦 酒井哲郎 神野耕太郎
	2-202-1415	ネコ運動細胞のA-spikeに後根刺激によって引き起こした可塑的变化 日本医大・第二生理 藤田安一郎
	2-202-1430	聴覚伝導路二次ニューロンの電気生理学的特性 京都大学医学部第一生理学教室 古谷野好 船曳和雄
	2-202-1445s	黒質破壊ラット線条体組織抽出液の各種ニューロンに対する影響 名古屋市立大学・医・第二生理 <sup>1</sup> 、朝日本生物化学センター <sup>2</sup> 中島京也 <sup>1,2</sup> 飛田秀樹 <sup>1</sup> 端谷 毅 <sup>1</sup> 熊崎路子 <sup>1</sup> 櫻井輝美 <sup>1</sup> 満園東治 <sup>2</sup> 西野仁雄 <sup>1</sup>
	2-202-1452s	トリ発声中枢HVCニューロンの発火様式とその形態 東京医歯大・難研・聴覚情報、獨協医大・第二生理 <sup>1</sup> 窪田道典 谷口都雄 齋藤 望 <sup>1</sup>
	2-202-1500	脊髄スライス標本を用いた一次求心性脱分極の解析 久留米大・医・第一生理 清水透子 吉村 恵 西彰五郎
	2-202-1515	交感神経節前神経細胞のEPSCに対するノルアドレナリンの抑制作用 東京医科大学第一生理 宮崎武文 小林春雄 登坂恒夫
	2-202-1530	脊髄運動ニューロンにおけるtrans-ACPDの脱分極作用及びEPSPの増強作用 大阪市立大学第一生理学 五谷寛之 久野みゆき 中村夫夫 松裏修四
	2-202-1545	二価イオン除去溶液中における脊髄運動ニューロンの電気活動 日本医科大学、第二生理 原田嘉夫
	2-202-1600	吹き出し電流は容量性の電流で始まる 防衛医科大学校 生理学第二講座 芦田 廣 辰濃治郎
	2-202-1615	海馬顆粒細胞樹状突起における活動電位の発生 日本医科大学・第二生理、防衛医科大学・第二生理 <sup>1</sup> 大島久幸 深井靖雄 芦田 廣 <sup>1</sup> 丸 栄一
2-202-1630	ラットの閉口筋と開口筋運動ニューロンではAChE合成に差がある 九州歯科大学・口腔科学 河岸重則	
2-202-1645s	開口筋へ分枝する介在ニューロンの細胞体の位置について 日本大学歯学部生理学教室、総合歯学研究病態生理研究室 <sup>1</sup> 近藤真啓 北島かおり <sup>1</sup> 真鍋公子 鴨川絃征	
2-202-1652s	2種の昆虫腹筋の神経支配と興奮性接合部電位 川崎医大・第一生理 川崎史子 喜多 弘	

3月25日(金)

206号室

午前		206号室
2-206-0830	4-Aminopyridine(AP)の平滑筋収縮作用 三菱化成生命科学研究所 石田行知	
2-206-0845	テキストランと結合したfura-2による骨格筋細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度の測定 慈恵医大・生理 小西真人 渡辺 賢	
2-206-0900	培養内皮細胞由来因子による血管平滑筋細胞内Caイオン濃度の変化 名古屋市立大学医学部第1生理 福田裕康 三輪恭子 山本喜通 鈴木 光	
2-206-0915	心筋での変力作用薬の細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度とVmaxに対する影響 鶴見大学・歯学部・生理学教室 三枝木泰丈 南沢 享 柳沢慧二	
2-206-0930	Fura-2による筋起波長測定に及ぼす2個イオンの影響 福岡大・医・第二生理 波多江純真 藤城直二 河田 博	
2-206-0945	ラット子宮筋内のMgとdb cAMP, 8-Br cGMPの収縮抑制効果 山口大・医・第一生理 轟奈津子 長 琢朗	
2-206-1000	自然発症型糖尿病マウス子宮筋におけるオキントシン誘発収縮 中村学園大学・栄養生理 福田桂子 福井久恵 田島弘子 青峰正裕	
2-206-1015	モルモット胃平滑筋収縮における細胞内貯蔵Ca <sup>2+</sup> の役割 福岡大学 医学部 生理学第一 坂本康二 今永一成	
2-206-1030	ニワトリ胚心筋細胞の収縮に及ぼすリアノジンの作用 川崎医大・第一生理 松村幹郎 豊田弘子	
2-206-1045	α毒素でスキンドしたモルモット心室筋線維の収縮から検討したフェニレフリンの正の変力作用 福岡大学 医学部 生理学第二 大場三榮	
2-206-1100	胃幽門平滑筋細胞のCa電流に対するcyclic AMP関連薬剤の作用 名古屋大学医学部脳外科、第一生理 <sup>1</sup> 告野正典 中山晋介 <sup>1</sup> 徳納博幸 <sup>1</sup> 富田忠雄 <sup>1</sup>	
2-206-1115	胃と門脈平滑筋に対するprotein kinase C関連物質の作用 名古屋大学医学部第一生理、脳外科 <sup>1</sup> Chowdhury, I.U. 彪 亦慰 富田忠雄 告野正典 <sup>1</sup>	
2-206-1130	蛋白脱磷酸化酵素阻害剤によるα-毒素処理平滑筋収縮張力抑制 東京慈恵会医科大学 第一生理学教室 産婦人科学教室 <sup>1</sup> 渡辺 賢 中野 真 <sup>1</sup>	
2-209-1145	プロテインフォスファターゼ阻害剤オカゲ酸のモルモット盲腸緊張力発生抑制作用 名古屋大学 医学部 第一生理 高井 章	

筋 (分類番号8)

午後		206号室
2-206-1300	モルモット膀胱平滑筋細胞に対するムスカリニック刺激作用 札幌医大第一生理 吉野正巳 藪 英世	
2-206-1315	モルモット膀胱平滑筋に及ぼすKチャネル開口薬(Y-26763)の作用 名古屋市立大学医学部第1生理 橋谷 光 鈴木 光	
2-206-1330	骨格筋T、SR膜Caチャネルの脱神経による変化について 川崎医療福祉大学、日本新薬創薬研究部 <sup>1</sup> 、日大・医・第2生理 <sup>2</sup> 西島博明 三浦 朗 <sup>1</sup> 國分真一朗 <sup>2</sup>	
2-206-1345	アセチルコリン(ACh)で活性化されるブタ気管平滑筋細胞の膜電流 日本大学医学部第二生理学教室 山下俊一 國分真一朗	
2-206-1400	膀胱平滑筋における不活性化されないCa電流 名古屋大 生理学教室 中山晋介 富田忠雄	
2-206-1415	骨格筋小胞体Caチャネルの開確率に及ぼすH <sub>2</sub> O <sub>2</sub> の効果 名古屋市立大学・医・第一生理 大羽利治 越田 信	
2-206-1430	SH試薬による筋小胞体Ca <sup>2+</sup> 遊離チャネルの一過性開口 名古屋市立大学・医・第一生理 越田 信 大羽利治	
2-206-1445	心筋小胞体に対するruthenium redとTBQの効果 東京慈恵会医科大学第二生理学教室 川井 真 小西真人 栗原 敏	
2-206-1500	運動回復時のPassive RecoveryおよびActive RecoveryがPiヒーク分裂および筋pHに及ぼす影響 大阪大学健康体育部、生理研 <sup>1</sup> 吉田敬義 巨 弘 <sup>1</sup>	
2-206-1515	ラット筋表面の電気活動から動員順序を観る 東海大学医学部生体構造機能系生理科学部門 白石武昌 玉木哲朗	
2-206-1530	牛気管平滑筋におけるフォスホジエステラーゼ活性の性質 昭和大学・医学部・第二生理 坂井 泰 朱 邦 本間生夫	
2-206-1545	カルシウムイオン以外の因子によって収縮している骨格筋 慈恵医大・第1生理、東北大学・医学部・薬理学 <sup>1</sup> 山口真紀 竹森 重 八木直人 <sup>1</sup>	
2-206-1600	グリセリン筋に対する各種二価陽イオンの作用について 共立薬大・薬・生理解剖学、順天堂大・スボ健康養生化学 中山雪麿 山口正弘	
2-206-1615	ガラミンによるネコ錘内筋への神経筋伝達の遮断 東京歯科大学生理学講座、Department of Electrical & Computer Systems Engineering <sup>1</sup> & Physiology <sup>2</sup> , Monash University 山本 哲 D.L.Morgan <sup>1</sup> J.E.Gregory <sup>2</sup> U.Proske <sup>2</sup>	
2-206-1630	家兎門脈平滑筋の細胞内Caと張力に対する細胞内pHの影響 名古屋大学第一内科、第一生理 <sup>1</sup> 飯野重夫 林 博史 富田忠雄 <sup>1</sup>	
2-206-1645s	ネオスタグミン下での反復刺激に対する腓腹筋誘発電位 愛知県コロニー・研究所・中枢生理、筋生理 <sup>1</sup> 浦本 勲 平岩美佐子 渡辺貴美 <sup>1</sup> 戸塚 武 <sup>1</sup>	

筋 (分類番号8)

3月25日(金)

207号室

午前		207号室
膜輸送	2-207-0830	上皮膜輸送のシステム生理学的理解 大阪医科大学 第一生理学教室 今井雄介 吉田秀世 宮本 学 中張隆司 相馬義郎
	2-207-0845	生体溶液中の緩衝成分の量と酸塩基平衡定数の決定 大阪医科大学 第一生理学教室 藤芳直彦 堀川浩司 中村明裕 宮本 学 今井雄介
	2-207-0900	回路網表現を用いた重炭酸系緩衝能の検討 大阪医科大学 第一生理学教室 堀川浩司 藤芳直彦 宮本 学 中村明裕 今井雄介
	2-207-0915	Organic Acid Transport of Human Red Blood Cells Studied by <sup>19</sup> F Pulsed Fielded Gradient NMR Dept. Molec. Physiol., Natl. Inst. for Physiological Sciences Yoshiteru Seo Ute Ammer Toru Ishikawa Masataka Murakami
	2-207-0930s	ラット灌流顎下腺における天秤法を用いた唾液分泌量の連続測定 大阪医科大学 第一生理学教室 中村明裕 藤芳直彦 堀川浩司 宮本 学 今井雄介
	2-207-0937s	イオンクロマトグラフィーによる唾液のイオン分析 大阪医科大学 第一生理学教室 宮本 学 中村明裕 藤芳直彦 堀川浩司 今井雄介
	2-207-0945	唾液分泌における全Na輸送に対する各輸送体の寄与 生理研、分子生理 村上政隆 石川 透 瀬尾芳輝
	2-207-1000	ラット顎下腺分離腺房及び灌流系での蛍光色素calcein 分泌 広島大・歯・生理、大阪医大・第一生理 <sup>1</sup> 杉田 誠 柴 芳樹 中張隆司 <sup>1</sup> 中村明裕 <sup>1</sup> 今井雄介 <sup>1</sup> 菅野義信
	2-207-1015	Membrane Capacitance of Duct Cells of Mandibular Glands Dept. of Physiol., Univ. of Sydney, Australia <sup>1</sup> Dept. of Physiol., Hiroshima Univ. Sch. of Dent. <sup>2</sup> Hirono, C. <sup>1,2</sup> Young J.A. <sup>1</sup> & Cook, D.I. <sup>1</sup>
	2-207-1030	細胞内Na <sup>+</sup> , K <sup>+</sup> とfurosemide感受性K <sup>+</sup> 輸送の関係(第2報) 徳島大・医・第一生理、徳島文理大・一般教育 <sup>1</sup> 池原敏孝 高橋 章 細川敬子 宮本博司 <sup>1</sup> 山口久雄
	2-207-1045	角膜内皮細胞層の水輸送について 滋賀医大・第二生理、眼科 <sup>1</sup> 久保田真吾 北里 宏 可児一孝 <sup>1</sup>
	2-207-1100	PDHE1 $\alpha$ 前駆体蛋白のミトコンドリアへの輸送を阻害する突然変異の解析 The Murdoch Institute, Australia (現在は、獨協医大・第一生理) 高久保文恵
	2-207-1115	pHの単離胃壁細胞Cl <sup>-</sup> チャンネル電流への効果 京大・医・第一内科、生理研・機能協同 <sup>1</sup> 鍛冶田英俊 白方祐子 小寺 徹 上田俊二 岡田泰伸 <sup>1</sup>
	2-207-1130	蛙上皮表皮側膜Naチャンネル特性の制御機構 北里大学医学部 生理学 片倉 隆
2-207-1145	ツメガエル卵母細胞内因性Na <sup>+</sup> /グルコース共輸送担体の基質特異性 鳥取大学医学部第一生理、鳥取大学医療技術短期大学部 <sup>1</sup> 永田克己 市川 修 <sup>1</sup>	

午後		207号室
膜輸送(分類番号2)	2-207-1300	ナトリウム・ミオイノシトール共輸送体の電気生理学的研究 生理学研究所・機能協同部門、UCLA Department of Physiology 挟間章博 Ernest M. Wright
	2-207-1315	蝸牛の血管系辺縁細胞基底側膜に見出されたイオンチャンネル 高知医科大学第二生理学教室 竹内俊二 入交昭彦
	2-207-1330	多剤耐性K562, L5178y細胞のアドリアマイシン輸送機構 関東通信病院・病理、日本医大・第一生理 <sup>1</sup> 大西忠博 上坂伸宏 <sup>1</sup>
	2-207-1345	コレチコイドによるNa能動輸送系の分化 埼玉医科大学・第二生理 高田真理 屋井ヒデ子 高山和恵
	2-207-1400	新生児ラット腎髄質内層集合管細胞のイオンチャンネル 千葉大学医学部第二生理 河原克雅 小野寺誠 粟生田輝 福田康一郎
	2-207-1415	ラット脳幹脊髄摘出標本の自発性呼吸様リズムの周期解析 札幌医大・医・第一生理 中園嘉巳 青木 藩
	2-207-1430	ラット脳幹の単離標本における延髄腹側表層灌流と呼吸のリズム活動 帝京大・医・第一生理 桑名俊一 名津井梯次郎
	2-207-1445	舌咽神経の吸気性活動と呼吸リズムの発生過程 千葉大・医・第二生理、第三解剖 <sup>1</sup> 福田康一郎 田中宏一 <sup>1</sup> 千葉胤道 <sup>1</sup>
	2-207-1500	上喉頭神経刺激に対する呼吸終期の逆位的位相応答 京都大学胸部疾患研究所・臨床生理 越久仁歌
	2-207-1515	N <sub>2</sub> ないしCO <sub>2</sub> 吸入刺激によるc-fos及びc-jun発現について 群馬大・医・第一生理 高山清茂 鈴木 隆 三浦光彦 岡田淳一
	2-207-1530	中脳網様体の呼吸運動調節における機能的役割 千葉大学・医学部・耳鼻咽喉科学講座、生理学第一講座 <sup>1</sup> 柴 啓介 吉田 耕 坂本尚志 <sup>1</sup> 中島祥夫 <sup>1</sup>
	2-207-1545s	ヒト随意呼吸運動に先行する準備電位の双極子追跡 昭和大学・医・第二生理 金丸 新 渋谷まさと 本間生夫
	2-207-1552s	橋呼吸調節中枢および後顔面神経核から延髄大縫線核への軸索投射様式 札幌医大・医・第二生理 宋 剛 中園嘉巳 青木 藩
	2-207-1600	延髄大縫線核刺激による呼吸運動抑制に関与する上部頸髄呼吸性ニューロンの組織学的同定 札幌医大・医・第二生理 青木 藩 今井富裕 中園嘉巳 里 康光
2-207-1615	延髄縫線核呼吸性ニューロン群の動物種による比較 鳥取大学・医・第二生理 細貝正江 松尾 聡	
2-207-1630	除脳イヌの嘔吐運動のpatternを形成する延髄ニューロンの同定(1) 川崎医大・第二生理 古我知成 福田博之	
2-207-1645	イヌのretching中の洞神経刺激によって誘発される嘔吐時の延髄嘔吐運動pattern generator (CPG)細胞の活動 川崎医大・第二生理 福田博之 古我知成	

(分類番号4)

3月25日(金)

301号室

午前		301号室
高次 中枢 機能 番号	2-301-0830	SCH23390の視覚到達運動へ効果 京都大学霊長類研究所行動神経研究部門 久保田競
	2-301-0845	運動学習における黒質線体ドーパミン系の役割 大阪大 健康体育 身体文化学 松本直幸 花川 徹 牧慎一郎 木村 實
	2-301-0900	被殻の運動制御におけるドーパミン受容体サブタイプの役割 生理学研究所 稲瀬正彦 李葆明 丹治 順
	2-301-0915	ドーパミン受容体D1またはD2の遮断がラット咬筋単シナプス反射に及ぼす影響 九州歯科大学・口腔科学 高月義子 吉野賢一 天野仁一朗
	2-301-0930	サル頭頂連合野の操作運動制御機構のムシモール微量注入による解析 日本大学医学部・整形外科・第1生理 <sup>1</sup> 、Pam 大学医学部 <sup>2</sup> 仁木奈々子 村田 哲 <sup>1</sup> 泰羅雅登 <sup>1</sup> 加世田正和 <sup>1</sup> V. Gallese <sup>2</sup> 酒田英夫 <sup>1</sup>
	2-301-0945	視覚身体座標変換を反映した大脳運動前野腹側部の運動関連活動 東北大・医・第二生理 蔵田 潔
	2-301-1000	複数の運動を順次遂行する際の補足運動野と一次運動野細胞の活動 東北大学医学部第二生理 嶋 啓節 丹治 順
	2-301-1015s	補足運動野と一次運動野に投射する大脳皮質細胞の多重標識法による解析 東北大医・第二生理 進藤克博 嶋 啓節 丹治 順
	2-301-1022s	脳性麻痺児と健常児のCNV 岐阜県立希望が丘学園、岐阜大・医・反射研生理 <sup>1</sup> 、岐阜大・医・整形外科 <sup>2</sup> 笹野三郎 川島 卓 <sup>1</sup> 松波謙一 <sup>1</sup> 松永隆信 <sup>2</sup>
	2-301-1030	サル視床下核ニューロン活動の局所ブロックと異常運動の発現 東京都神経研・神経生理 浜田生馬 長谷川有美
	2-301-1045	注意課題における前頭連合野ニューロンの視覚応答 京都大学霊長類研究所・行動神経研究部門 小高 泰 三上章久 久保田競
	2-301-1100	PET による脳機能地図の作成ーヒト運動野ー 東北大学 加齢医学研究所 機能画像医学研究分野 川島隆太 福田 寛
	2-301-1115	MEG による運動性言語中枢活動記録の試み 生理研 統合生理学 関西医大 第2生理学 <sup>1</sup> 佐々木和夫 久宝真一 南部 篤 松崎竜一 遠本 徹 玄番史恵 <sup>1</sup>
2-301-1130	ラット大脳皮質における体性感覚、内臓感覚の重複投射野 熊本大学医学部第二生理 伊藤真一	
2-301-1145	双極子追跡法による一次体性感覚野の同定の正常と異常例での比較 京都府立医科大学、明治鍼灸大学 <sup>1</sup> 大月亮三 廖 登稔 高梨芳彰 近藤元治 西川弘恭 <sup>1</sup> 本間三郎 <sup>1</sup>	

午後		301号室
高次 中枢 機能 番号	2-301-1300	双極子追跡法による鍼刺激負荷SEPのdipoleの位置変化の解析 明治鍼灸大学東洋医学教室、大学院機能学 <sup>1</sup> 廖 登稔 西川弘恭 仲西宏元 本間三郎 <sup>1</sup>
	2-301-1315	慢性サル中心後回の両側手指再現に対する対側皮質の破壊効果 東邦大学 医学部 第一生理 入来篤史 田中美智雄 岩村吉晃
	2-301-1330	大脳皮質直流通電によるdark neuron の出現 岡山大・医・第一生理 Nadira Islam 森脇見義 服部幸雄 陸雲飛 林 泰資 堀 泰雄
	2-301-1345	エコーブレナMRIによるヒト体性感覚野のダイナミックイメージング 東京大学医学部第一生理、東京警察病院脳外科 <sup>1</sup> 日立製作所中央研究所 <sup>2</sup> 酒井邦嘉 渡辺英寿 <sup>1</sup> 小野寺由香里 <sup>2</sup> 板垣博幸 <sup>2</sup> 山本悦治 <sup>2</sup> 小泉英明 <sup>2</sup> 宮下保司
	2-301-1400	サル大脳新皮質におけるモデューラな機能結合光学測定による解析 新技術事業団・さきかけ21：京都大学・霊長類研究所 澤口俊之
	2-301-1415	MICRODIALYSIS法を用いたトリインプリンティング行動の研究 創価大学生命科学研究所 金松知幸 塚田裕三
	2-301-1430s	目標刺激の提示パターンに影響される事象関連電位P300-Single trial analysis 西南女学院短大、奈良県立医大・第一生理 <sup>1</sup> 、産業医大 応用生理 <sup>2</sup> 八木康夫 後藤小百合 <sup>1</sup> 前田正信 <sup>2</sup> 林田嘉朗 <sup>2</sup>
	2-301-1437s	暗算・思考過程における前頭葉脳磁場の研究 生理学研究所 統合生理学研究施設 佐々木和夫 遠本 徹 南部 篤 松崎竜一 久宝真一
	2-301-1445	水品外気功発生装置による果果体、脳波の反応 昭和大学共同研究施設、中部大学工学部工業物理解学科 <sup>1</sup> 武重千冬 青木孝志 <sup>1</sup>
	2-301-1500	ラットにおける P3b様事象関連電位 福島県立医科大学第2生理 浄土英一 香山雪彦
	2-301-1515	視覚刺激・脳内微小刺激の組合せによる輻輳運動増強効果の分析 新潟大学医学部第一生理、東京大学医学部眼科 <sup>1</sup> 戸山春男 壺内鉄郎 <sup>1</sup> 安藤誠男 板東武彦
	2-301-1530	DNMS課題遂行中のサルの図形弁別能力と下部側頭野ニューロン群の活動の対応 (財)東京都神経科学総合研究所・医学心理学研究部門 渡辺譲二・北岡明佳
	2-301-1545	サル下側頭葉皮質TE野細胞の形選択性に対する刺激サイズ、呈示位置の影響 理研・思考電流 <sup>1</sup> 、新技術開発事業団さきかけ21 <sup>2</sup> 理研・情報科学 <sup>3</sup> 伊藤 南 <sup>1</sup> 藤田一郎 <sup>2</sup> 田村 弘 <sup>1</sup> 田中啓治 <sup>1,3</sup>
2-301-1600	サル海馬体視覚応答ニューロンの機能分化 富山医科薬科大学 第二生理 永福智志 西条寿夫 小野武年	
2-301-1615	アルファー・ブロッキングの回復過程 防衛医大 生理学第二 阿部 浩 辰濃治郎	
2-301-1630	ラット舌及び咽喉頭の求心性情報の島皮質ニューロンへの収束 宮崎医大・第一生理 花森隆允 國武孝人 廣田和英 河南 洋	
2-301-1645	味覚嫌悪条件づけ獲得前後の扁桃体ユニット活動 大阪大・人間科学・行動生理 八十島安伸 志村 剛 山本 隆	

3月25日(金)

302号室

午前		302号室
運動機能分類番号(12)	2-302-0830s	下部胸髄背側脊髄小脳路(DSCT)細胞への低閾値求心性入力特性 杏林大・医・第一生理、早稲田大・人間科学 <sup>1</sup> 日本大・医・第一生理 <sup>2</sup> 平井直樹 市川利信 市川健彦 <sup>1</sup> 田中裕二 <sup>2</sup>
	2-302-0837s	三叉神経運動ニューロンに対するセロトニンの影響 大阪大学・歯学部・口腔生理、第1口腔外科 <sup>1</sup> 井上富雄 小林真之 松尾龍二 中村 修 安井康順 <sup>1</sup> 田中 晋 <sup>1</sup> 森本俊文
	2-302-0845	ネコ疑核へのセロトニン、サブスタンスP作動性線維の投射様式 生理学研究所生体システム部門 旭川医大・第二生理 <sup>1</sup> 同大・耳鼻科 <sup>2</sup> 片田彰博 <sup>1</sup> 小林吉史 <sup>1</sup> 野中 聡 <sup>2</sup> 岩切裕昌 森 茂美
	2-302-0900	ネコ内喉頭筋支配運動ニューロン興奮性の呼吸周期における変動 佐賀医科大学耳鼻咽喉科学教室・同第一生理学教室 <sup>1</sup> 松浦敏章 梅崎俊郎 進 武幹 頼原嗣尚 <sup>1</sup>
	2-302-0915	ネコ内喉頭筋のタイプ別筋線維構成 生理学研究所生体システム部門、旭川医大・第二生理 <sup>1</sup> 同大・耳鼻科 <sup>2</sup> 横山貴康 岩切裕昌 小林吉史 <sup>1</sup> 野中 聡 <sup>2</sup> 森 茂美
	2-302-0930	サルの発声に関する中枢神経機序 関西医大・第二生理 <sup>1</sup> 、京大・医・認知行動脳科学 <sup>2</sup> 、生理研・統合生理学 <sup>3</sup> 玄番央恵 <sup>1,2</sup> 三木直樹 <sup>1</sup> 佐々木和夫 <sup>3</sup>
	2-302-0945	サル自発発声時における疑核運動ニューロン活動の特徴 兵庫医科大学・第二生理、Northwestern University <sup>1</sup> 矢島幸雄 Chuck Larson <sup>1</sup>
	2-302-1030	ラット嗅上皮に存在するイオンチャンネルについて 九歯大・生理、モネル化学感覚センター <sup>1</sup> 本田栄子 J.H. Teeter <sup>1</sup> D. Restrepo <sup>1</sup> 中原 敏
	2-302-1045	cAMP非依存性経路を介した匂い応答の発生機構 北海道大学薬学部 柏柳 誠 金木健太郎 永沢文子 栗原堅三
	2-302-1100	ラット嗅球出力細胞におけるおの符号化 奈良医大第一生理 元木澤文昭
2-302-1115	嗅球内情報処理に対する青斑核刺激の効果 高知医科大学 第一生理 奥谷文乃 梶 秀人 樋口 隆	
2-302-1130	ラット眼窩皮質ニューロンの匂い応答性 富山医科薬科大学・医学部・第二生理、歯科口腔外科 <sup>1</sup> 、高砂香料工業 <sup>2</sup> 米森 誠 <sup>1</sup> 上野照子 西条寿夫 古田 勲 <sup>1</sup> 小野武年 川崎通昭 <sup>2</sup> 高島靖弘 <sup>2</sup>	
2-302-1145	ヒト嗅細胞の匂いと細胞内情報伝達物質に対する応答 長崎大・歯・口腔生理 <sup>1</sup> 、モネル化学感覚センター <sup>2</sup> 、トマスジェファソン大 <sup>3</sup> 岡田幸雄 <sup>1,2</sup> D. Restrepo <sup>2</sup> J. H. Teeter <sup>2</sup> L. D. Lowry <sup>3</sup> B. Cowart <sup>2,3</sup> J. G. Brand <sup>3</sup>	

午後		302号室
感覚分類番号(11)	2-302-1300s	味刺激に対する老化促進モデルマウス鼓索神経の味応答 朝日大学・歯学部・小児歯科、口腔生理 <sup>1</sup> 三輪晃成 川村早苗 <sup>1</sup> 外崎肇一 <sup>1</sup> 深見 安 <sup>1</sup>
	2-302-1307s	ラット舌咽神経の塩応答に対する陰イオンの影響 岡山大・歯・口腔生理、顎機能検査室 <sup>1</sup> 北田泰之 美藤純弘 <sup>1</sup>
	2-302-1315	ラット Geniculate Ganglionにおける一次味覚ニューロンの光学計測 三菱電機(株)中央研究所 柳浦真美子 中島道夫 山田 訓 塩野 悟
	2-302-1330	マウス剥離舌上皮内味細胞の電気的性質および塩応答 九州工業大学情報工学部 吉江秀昌 吉井清哲
	2-302-1345	ラット鼓索神経および舌咽神経切除によるアミノ酸や食塩嗜好性の変化 新技術事業団・鳥居プロジェクト、富山医大・医・第二生理 <sup>1</sup> 田淵英一 近藤高史 上野照子 <sup>1</sup> T. Vovnykov 小野武年 <sup>1</sup> 鳥居邦夫
	2-302-1400	急性ナトリウム欠乏に伴うラット孤束核ニューロンの味覚応答性の変化 富山医大・医・2生理、ペンシルバニア州立大・行動科学 <sup>1</sup> 田村了以 小野武年 Ralph Norgren <sup>1</sup>
	2-302-1415	味覚神経活動に及ぼすアンギオテンシンIIとANPの影響 新潟大・歯・口腔生理 真貝富夫 高橋義弘 岡岡洋三 山田好秋
	2-302-1430	アンモニアおよびトリメチルアミンによる味神経応答の抑制 九州工業大学情報工学部 四井千賀子 吉井清哲
	2-302-1445	ウシガエル味細胞膜におけるカチオンチャンネル 長崎大・歯・口腔生理 藤山理恵 富本武典 佐藤俊英
	2-302-1500	カエル味細胞味受容膜に存在するNa <sup>+</sup> 依存性K <sup>+</sup> チャンネル 長崎大学・歯学部・口腔生理 富本武典 藤山理恵 岡田幸雄 佐藤俊英
2-302-1515	味溶液摂取行動に及ぼす味神経切断の影響 朝日大学・歯・口腔生理 外崎肇一	
2-302-1530	人工ニューラルネットワークによるラット皮質味覚ニューロンの解析 帝京大・医・第一生理、大阪大・人間科学・行動生理 <sup>1</sup> 、東京大・工・計数 <sup>2</sup> 長井孝紀 山本 隆 <sup>1</sup> 合原一幸 <sup>2</sup>	
2-302-1545	ROLE OF THE NUCLEUS TRACTUS SOLITARIUS (NTS) IN DIETARY REGULATION UNDER ESSENTIAL NUTRIENT DEFICIENCY Torii Project, ERATO, JRDC and Dept. of Physiol., Toyama Med. & Pharmaceu. Univ. T. Vovnykov T. Kondoh E. Tabuchi T. Ono K. Torii ハムスター口腔粘膜のメルケル細胞-神経終末複合体の電気生理学的検索 東京歯科大学 生理学講座 田崎 雅和	
2-302-1600	ラット口腔後方の味覚刺激に対する橋結合腕周囲核ニューロンの応答 新潟大・歯・口腔生理 岡岡洋三 真貝富夫 高橋義弘 山田好秋	
2-302-1615	カエル舌上皮Na <sup>+</sup> 輸送の味神経応答発現への関与 福岡歯大・口腔生理 岡本富士雄 副田博之 鍛冶屋浩 岡部幸司	
2-302-1630	味溶液摂取時のラット鼓索神経活動の特徴 大阪大学歯学部口腔生理 松尾龍二 中村 修 小林真之 井上富雄 森本俊文	

3月25日(金)

304号室

午前 304号室	
2-304-0830	筋放電スペクトルによる筋疲労係数の算出 早稲田大学 人間科学部 永田 展
2-304-0845	Ballistic な膝伸展時にみられる2峰性力曲線について 順天堂大学、東京工芸大学 <sup>1</sup> 水村信二 米田健武 木村瑞生 <sup>1</sup> 菅原秀二
2-304-0900	走速度と心拍数を用いた有酸素能力の推定 聖マリアンナ医科大学第二生理学教室 小林康孝 吉岡利忠
2-304-0915	水泳最大運動負荷後の腎機能 慈恵医大臨床検査医学、同宇宙医学 <sup>1</sup> 鈴木政登 河辺典子 和気秀文 <sup>1</sup>
2-304-0930	運動トレーニングラットの低酸素性肺血管収縮とCa <sup>2+</sup> チャンネルの関連 信州豊南女子短期大学保健体育、信州大学医学部環境生理 榎村修生 酒井秋男 <sup>1</sup>
2-304-0945	水泳トレーニングによるラット海馬体神経細胞の変性 名古屋工業大学 保健体育教室 藤墳規明 吉村篤司 河上敬介 下村吉治 村上太郎 藤墳ナエ
2-304-1000	寒冷刺激に伴う指尖容積微分脈波と脳波周波数応答 筑波大学、北海道教育大学 <sup>1</sup> 、宮城教育大学 <sup>2</sup> 下田政博 鈴木淳一 <sup>1</sup> 前田 順一 <sup>2</sup> 西平賀昭 竹宮 隆
2-304-1015	インターロイキン1によるACTH反応へのafferent C-fiberの関与 山口大学・医学部・第2生理、法医 <sup>1</sup> 渡辺達生 中森知毅 牧角俊郎 <sup>1</sup> 坂田義行 村上 恵
2-304-1030	メタンフェタミンによる高体温発生のメカニズム 山口大・医・法医、第二生理 <sup>1</sup> 、教養部・体育 <sup>2</sup> 牧角俊郎 渡辺達生 <sup>1</sup> 中森知毅 <sup>1</sup> 丹 信介 <sup>2</sup> 村上 恵 <sup>1</sup>
2-304-1045	発熱へのアラキドン酸カスケード・チトクロムP-450系の関与 京都工繊大・応用生物 中島敏博 清原壽一
2-304-1100	細菌性内毒素による発熱耐性時の脳内インターロイキン1の産生 山口大学・医学部・第2生理 中森知毅 渡辺達生 坂田義行 村上 恵
2-304-1115	鳥類のLPS発熱 東京都老人研・中枢神経 野本茂樹

午後 304号室	
2-304-1300	セットポイント再考：何が問題か？ 大阪大学 医学部 第二生理 彼末一之 細野剛良 藤原素子 張 宜紅 山田 薫
2-301-1315	長期運動鍛練の暑熱との交叉適応の検討I 長崎大学熱帯医学研究所環境生理 山内正毅 松本孝朗 小坂光男 乙益絹代 大渡 伸 嶋津宗典 羅 宗偉 曹 宇
2-301-1330	長期運動鍛練の暑熱との交叉適応の検討II 長崎大学熱帯医学研究所環境生理 松本孝朗 山内正毅 小坂光男 乙益絹代 大渡 伸 嶋津宗典 羅 宗偉 曹 宇
2-304-1345	分鏡前後の体温変動 東邦大学医学部生理学第一講座、東邦大学医療短期大学 <sup>1</sup> 奥平進之 中村理恵 <sup>1</sup> 岡本一枝 <sup>1</sup> 松尾邦江 <sup>1</sup>
2-304-1400	一日一定時間帯に限り繰り返し暑熱暴露されたラットの体温調節反応 金沢大学医学部生理学第一講座 杉本直俊 紫藤 治 桜田惣太郎 永坂鉄夫
2-301-1415s	一日一定時間帯に限った運動鍛練後のラットの深部体温変化 金沢大学医学部生理学第一講座 紫藤 治 杉本直俊 永坂鉄夫
2-301-1422s	体温調節反応発現の閾値深部体温および臨界温の加齢による変化 金沢大学医学部生理学第一講座 桜田惣太郎 紫藤 治 永坂鉄夫
2-304-1430	環境温によるマウス免疫能の違いについて 東京都老人研・中枢神経、山梨医科大学 <sup>1</sup> 浅木 恭 入来正躬 <sup>1</sup>
2-304-1445	暑熱順化によるvasopressinの反応性の変化 愛知医科大学・生理学第2 菅屋潤堂 今井一乃 西山哲成 小川徳雄
2-301-1500	ノルアドレナリンによる褐色脂肪細胞内カルシウム濃度の増加とその機構 山梨医科大学第一生理 土家 清 永井正則
2-301-1515	高タンパク食の継続的摂取が尿中カルシウム排泄に及ぼす影響 東京都立大学理学部体育学教室 桜井智野風
2-304-1530	食塩制限下の骨塩代謝 国立健康・栄養研究所 疲労生理研究室 西牟田守
2-304-1545	血漿Ethanol レベルに及ぼす胆汁酸・脂肪酸・油脂類の影響 上越教育大・生活健康系 立屋敷かおる 今泉和彦
2-301-1600	栄養条件と褐色脂肪組織(BAT)脂肪酸(FA)組成一過食と鉄欠乏 北海道教育大栄養生理、北海道東海大体育 <sup>1</sup> 、旭川医大生理 <sup>2</sup> 大野都美恵 小河幸次 <sup>1</sup> 森谷 満 <sup>2</sup> 大日向浩 <sup>2</sup> 黒島農汎 <sup>2</sup>
2-301-1615	DNA 結合性蛍光色素Hoechst 33258を用いた脂肪組織でのDNA量測定法の確立 旭川医大 第一生理 Saha Shyamal Kumar 森谷 満 大日向浩 黒島農汎
2-304-1630	骨格筋有酸素代謝率の非観血的測定 東京医科大学衛生学公衆衛生学教室 浜岡隆文 岩根久夫 垣平博臣 下光輝一 勝村俊仁 村瀬訓生 西尾進也 黒澤裕子 藤波襄二
2-304-1645	ヒト代謝における相関作用と交互作用の多変量分散分析法による解析 明治鍼灸大学基礎鍼灸学教室、生理学教室 <sup>1</sup> 篠原 鼎 西川弘恭 <sup>1</sup>

3月25日(金)

401号室

午前 401号室	
2-401-0830	走査型電子顕微鏡によるラット皮膚触盤内メルケル細胞の観察 熊本大学 医学部 生理学第2講座 山下由朗 小川 尚
2-401-0845	放射性2-DGの赤外線感覚系への取り込み 琉球大学 医学部 第二生理学 寺嶋真一 蔭彭佳
2-401-0900	第二体性感覚野における誘発電位の長期増強に対する皮質間結合の役割 東京女子医大 第二生理学 宮田麻理子 川上順子
2-401-0915	インターロイキン 1βの視床下部内投与による侵害受容機能の変化 九州大学 医学部 第一生理 岡 孝和 粟生修司 堀 哲郎
2-401-0930s	ラット大脳皮質前帯状回ニューロンの侵害受容性応答 東京医科歯科大学歯学部生理学教室 戸田一雄
2-401-0937s	ネコ延髄内記録による上喉頭神経求心線維の感覚受容特性について 佐賀医科大学 第一生理学、同耳鼻咽喉科学 <sup>1</sup> 高木誠治 大谷信二 梅崎俊郎 <sup>1</sup> 頼原嗣尚
2-401-0945s	細胞内pHによるイオンチャネルの修飾：異常整流性カリウム電流 慶大・医・生理、カリフォルニア大・医・生理 <sup>1</sup> 高橋恭一 D.R. COPENHAGEN <sup>1</sup>
2-401-0952s	イソアワモチ眼外光受容器細胞の光によって閉じる単一K <sup>+</sup> チャネルの特性 鹿児島大・医・第二生理、名古屋大・理・物理 <sup>1</sup> 後藤 司 木島博正 <sup>1</sup>
2-401-1000	cGMPでゲートされるチャネルの感受性調節機構 慶大・医・生理 渡辺修一 沈 静
2-401-1015	Voltage-gated Channels in the Amacrine Cells of Goldfish. Dept. of Physiol., Keio Univ. School of Med. Jonathan W. Stocker and Akimichi Kaneko
2-401-1030	細胞単離操作がcGMPでゲートされるチャネルに与える影響 慶大・医・生理 沈 静 渡辺修一 金子章道
2-401-1045	桿体視細胞におけるcGMP依存性チャネルのCa <sup>2+</sup> による調節 筑波大学・生物科学系、Johns Hopkins University <sup>1</sup> 中谷 敬 Y.Koutalos <sup>1</sup> K.-W.Yau <sup>1</sup>
2-401-1100	視蓋前城視索核ニューロンへの網膜onチャンネルの入力について 兵庫医大・第2生理、東京医歯大・難治研 聴覚情報 <sup>1</sup> 永田 徹 陳 鋼 <sup>1</sup> 林 泰正
2-401-1115	網膜外網状層におけるGlutamate回収機構と水平細胞の光応答の解析 豊橋技術科学大学 情報工学系 神山齊己 白井支朗
2-401-1130	網膜視細胞のイオン電流モデルと光応答のシミュレーション解析 豊橋技術科学大学・情報工学系 小椋俊彦 神山齊己 白井支朗
2-401-1145	視細胞順応調節蛋白質S-モジュリンの作用機構 慶大・医・生理 河村 悟

午後 401号室	
2-401-1300	ブラックバス網膜の形態的特徴 東京女子医大・第一生理、東邦大学・理学部・情報科学科 <sup>1</sup> 前原通代 海野 修 <sup>1</sup> 橋本葉子
2-401-1315	ウグイ網膜の4相性水平細胞のスペクトル応答 東京女子医大総合研究所研究部 東京女子医大第1生理 <sup>1</sup> 霜田幸雄 橋本葉子 <sup>1</sup>
2-401-1330	無脊椎動物膜分極性および過分極性光受容細胞の光電流と細胞内伝達物質 東女医大・第一生理 島谷祐一 片桐康雄
2-401-1345s	Nitroprusside とH1水平細胞 九州工業大学 情報工学部 古川徹生 安井湘三
2-401-1352s	ニトロ・プルシッドはH1水平細胞の分光感度を尖らす 電総研・分子機能 山田雅弘
2-401-1400s	網膜神経節細胞における情報伝達に関わる因子の遺伝子発現-in situ hybridization 法による解析 大阪大学・医学部・第2生理、病理 <sup>1</sup> 小阪 淳 森井英一 <sup>1</sup> 谷口正人 野村慎太郎 <sup>1</sup> 福田 淳
2-401-1407s	網膜神経節細胞を認識するモノ・クローン抗体単離の効率化 大阪大学・医学部・第2生理 <sup>1</sup> 、北里大学・医学部・眼科 <sup>2</sup> 若林毅俊 <sup>1,2</sup> 小阪 淳 <sup>1</sup> 福田 淳 <sup>1</sup>
2-401-1415	グアニル酸シクラーゼによる網膜水平細胞間ギャップ結合の制御 藤田保健衛生大・医・生理 宮地栄一 西川千恵子
2-401-1430	GABA陽性ギャップ結合連結アムクリン細胞について 東京女子医大・第一生理 鷹 日高 聡 橋本葉子
2-401-1445	水平細胞GABA電流の2成分 慶應義塾大学医学部生理学教室 三好俊一郎 高橋恭一 金子章道
2-401-1500	網膜神経節細胞の受容野特性 東邦大学理学部情報科学科 海野 修 長谷川典子 矢野 修
2-401-1515	イモリ網膜色素上皮細胞の神経細胞への分化転換：神経生理学的解析 筑波大・生物科学系 酒井秀人 齊藤建彦
2-401-1530	角膜電気刺激に対するganglion cellの反応特性 名古屋大学眼科教室、名古屋大学環境医学研究所 <sup>1</sup> 嶋津和弘 渡辺 悟
2-401-1545	坐骨神経移植によるネコ視神経の再生 4. 視覚情報伝達能の正常との比較 大阪大・医・第二生理、愛知県発達障害研究所 <sup>1</sup> 三好智満 杉岡美保 澤井 元 渡部真三 <sup>1</sup> 福田 淳
2-401-1600	網膜神経節細胞の再生軸索による上丘ニューロンの支配様式 大阪大・医・第二生理、Center for Res. in Neurosci., McGill Univ. <sup>1</sup> 澤井 元 Yves Sauve <sup>1</sup> Michael Rasminsky <sup>1</sup> 福田 淳
2-401-1615	角膜求心性線維の視床後内側腹側核への投射 滋賀医科大学 眼科 第1生理 <sup>1</sup> 林 理 西田保裕 小山なつ <sup>1</sup> 横田敏勝 <sup>1</sup>
2-401-1630	二重標識法による松果体光受容細胞の分類 浜松医科大学・第一生理 保 智己 鮫島道和 森田之大
2-401-1645s	フルオロクエン酸による視覚野ノルアドレナリン情報伝達系の阻害 大阪バイオサイエンス研究所 <sup>1</sup> 、新技術事業団SFBRプロジェクト <sup>2</sup> 今村一之 <sup>1,2</sup> 六車恵子 <sup>2</sup> 渡辺恭良 <sup>1,2</sup>
2-401-1652s	光刺激の受容におけるフレミングの法則の適合性 元 東大生理 附田 恵

午前		402号室
イ オ ン チ ャ ネ ル ・ レ セ プ タ ー  ( 分 類 番 号 )	2-402-0830	メダカ胚胎期初期における深部細胞のCl電流のシングルチャンネル解析 神戸大・医・第一生理 寺島 明 重本 尚 岡田安弘
	2-402-0845	心筋PKA感受性クロライド電流に対するエンドセリン-1の作用チバカイギー国際科学研究所、京大第3内科 <sup>1</sup> 、生理学研究所機能協同 <sup>2</sup> Andrew F. James 謝 来華 <sup>1</sup> 藤谷靖志 林 誠治 <sup>2</sup> 堀江 稔 <sup>1</sup>
	2-402-0900	血管内皮細胞におけるClチャンネルのCaによる活性化 順天堂大・医・第二生理、循環器内科 <sup>1</sup> 渡辺マキノ 柚本和彦 <sup>1</sup> 大地陸男
	2-402-0915	ハエ幼生神経筋シナプスにおけるグルタミン酸受容体チャンネル 群馬大学医学部 附属行動医学研究施設 行動生理部門 城所良明 西川光一
	2-402-0930	初代培養細胞を用いたグルタミン酸受容体遺伝子上流領域の機能解析 東京都神経研・病態神経生理 <sup>1</sup> 、ソーク研究所 <sup>2</sup> 岡戸晴生 <sup>1</sup> S. Heinemann <sup>2</sup> J. Boulter <sup>2</sup> 三輪昭子 <sup>1</sup>
	2-402-0945	代謝型グルタミン酸受容体に選択的なアゴニストによるフェロモンの記憶の形成 高知医大・第一生理 梶 秀人 樋口 隆
	2-402-1000	抗けいれん薬フェニトインによるグルタミン酸受容体応答の抑制 九州工業大学情報工学部 河野栄樹 大野宏毅 吉井清哲
	2-402-1015	グラヤノトキシンによるイカ巨大神経ナトリウムチャンネルの修飾 広島大学医学部生理学第一 焼広益秀 瀬山一正
	2-402-1030	高濃度尿素によるNaチャンネルの機能阻害 生理学研究所・細胞器官研究系 久木田文夫
	2-402-1045	ラット培養心筋伸展による細胞内Na <sup>+</sup> 濃度の変化 大分医科大学生理学第二 財前博文 立川洋一 有田 真
	2-402-1100	ホヤ胚単離外胚葉性割球に対する3種の神経誘導法の比較解析 東京大学・医学部・脳研究施設・神経生物学部門 稲澤健志 岡村康司 高橋國太郎
	2-402-1115	ムスカリンで活性化されるチャンネルの活性化及び脱活性化機構 福岡大学 医学部 生理学第一 井上真澄 今永一成
	2-402-1130s	粗面小胞体における新生蛋白膜透過路：脂質平面膜での解析 生理研・機能協同 山本 隆 櫻原康博 岡田泰伸 老木成稔
	2-402-1137s	血管平滑筋、内皮に発現するG蛋白共役型受容体のcDNA Cloning と発現調節 東京大学医学部脈管病態生理、第一内科 <sup>1</sup> 、第二生理 <sup>2</sup> 岡崎 寛 黒川 清 <sup>1</sup> 熊田 衛 <sup>2</sup> 多久和陽
2-402-1145	ラット大脳背外側中隔核細胞に於けるglucose-depletion の影響 久留米大・医・第二生理 鶴崎政志 赤須 崇	

午後		402号室
イ オ ン チ ャ ネ ル ・ レ セ プ タ ー  ( 分 類 番 号 )	2-402-1300	マウス発育脳における放射線誘発アポトーシス 鈴鹿医療大・医用工学、同放射線 <sup>1</sup> 、藤田保健衛生大・医・生理 <sup>2</sup> 、名大・環研 <sup>2</sup> 田丸政男 新井正一 <sup>1</sup> 中西左登志 <sup>1</sup> 井上 稔 <sup>2</sup> 安藤正人 <sup>2</sup> 永田 豊 <sup>2</sup>
	2-402-1315	Snell 下垂体性小人症のマウスの脳内ヒポカリスンの免疫組織化学的検討 東邦大・医・第二生理 杉崎哲朗 山田 孝 高松 研 野口鉄也
	2-402-1330	ラット出生初期に見られる皮質反対側投射性のGABA細胞 Department of Neurobiology, Harvard Medical School 木村文隆 Robert W. Baughman
	2-402-1345	Neuroblastoma cellの分化に伴う神経細胞接着因子L1の発現について 中外製薬(株)富士御殿場研究所、慶応大学医学部生理学教室 <sup>1</sup> 須川 誠 山本修巳 内藤成孝 阿相皓晃 <sup>1</sup> 植村慶一 <sup>1</sup>
	2-402-1400	中枢神経系におけるニューロン (N) とグリア細胞 (G) の発生機構 高知医大生理、東大医科研 <sup>1</sup> 、生理研神経情報 <sup>2</sup> 小川正晴 宮田卓樹 仲鳴一範 <sup>1</sup> 池中一裕 <sup>2</sup> 御子栄克彦 <sup>1</sup>
	2-402-1415s	生後3-4週のラット大脳皮質のスライス培養 秋田大学医学部第一生理 山田勝也 小川哲朗
	2-402-1422s	大脳皮質層構造の形成機構 高知医大生理、東大医科研 <sup>1</sup> 、生理研神経情報 <sup>2</sup> 宮田卓樹 小川正晴 仲鳴一範 <sup>1</sup> 池中一裕 <sup>2</sup> 御子栄克彦 <sup>1</sup>
	2-402-1430	神経細胞分化におけるIsl-1 様遺伝子群の発現調節 慶應生理生、基生研細胞情報 <sup>1</sup> 、東大物理 <sup>2</sup> 岡本 仁 高橋美佳 <sup>1</sup> 堀田凱樹 <sup>2</sup>
	2-402-1445	常染色体第12番の部分過剰による神経発達障害 京都大学・総合人間学部 田中真介
	2-402-1500	ラット骨格筋の成長に伴う核酸およびタンパク質合成系の変化 上越教育大・生活健康系 今泉和彦 立屋敷かおる
	2-402-1515	酸性線維芽細胞成長因子(aFGF)フラグメントによる摂食抑制 富山大・工、日本臓器・生物活性研 <sup>1</sup> 、九州大・医 <sup>2</sup> 、静岡県立大・薬 <sup>3</sup> 佐々木和男 大村 裕 <sup>1</sup> 李 愛軍 <sup>2</sup> 矢内原昇 <sup>3</sup> 八木 寛
	2-402-1530	ラットに於けるコレシストキニン(CCK)の食物摂取に対する作用 東京都老人総合研究所 生理老化学研究系臨床生理部門 金井節子 宮坂京子
	2-402-1545	脳波アルファ波の年齢的変化—ダウン症候群者脳波を中心に— 東京学芸大・障害児生理心理、茨城大・障害児生理 <sup>1</sup> 堅田明義 小池敏英 寺田信一 水田敏郎 鈴木宏哉 <sup>1</sup> 尾崎久記 <sup>1</sup>
	2-402-1600	成熟・老化過程における筋出力変化についての解析 東京都老人総合研究所・中枢神経部門 神田健郎
	2-402-1615	SAM の生理的特性リズム 信州大学医学部環境生理 柳平坦徳 酒井秋男 竹岡みち子 浅野功治 櫻村修生 長田 博
	2-402-1630	老齢ラットの受動的回避学習と海馬細胞外液アセチルコリンにおよぼす「豊環境」の効果 徳島大学医学部第二生理学教室 佐野敦子 妹尾広正 勢井宏義 森田雄介
2-402-1645	ザリガニ胃石の発生部位と胃石内のCa集積 近畿大・医・第一生理 千葉 惇 崔 昌益 高島正広 秩方志行	

3月25日(金)

403号室

午前		403号室
細胞・分子生理(分類番号)	2-403-0830s	グルタミン酸による、初代培養ラット肝細胞の増殖因子に対する反応性の増強 獨協医大・第一生理 長谷川薫 山岡貞夫
	2-403-0837s	細胞内K <sup>+</sup> 濃度とG1期蛋白質合成について 徳島大・医・第一生理、徳島文理大・一般教育 <sup>1</sup> 細川敬子 山口久雄 美 正林 高橋 章 池原敏孝 <sup>1</sup> 宮本博司 <sup>1</sup>
	2-403-0845	ゲッ歯類冬眠動物の冬眠特異的蛋白質(HPs)三変化生成生命研、三変化生成総合研 近藤宣昭 近藤 淳 <sup>1</sup>
	2-403-0900	乳癌細胞の細胞内カルシウム応答と細胞内情報伝達系 島根医大・第二生理、生理研・生体膜 <sup>1</sup> 榎本浩一 古家喜四夫 <sup>1</sup> 山岸俊一 <sup>1</sup> 前野 巍
	2-403-0915	血管内皮細胞の開孔組織細胞への可逆的分化反応 神戸大学医学部第1生理 北口博教 船原芳範
	2-403-0930s	血管内皮細胞の遊走における機械的要因の検討 名古屋大学・医学部・第二生理 田中達也 成瀬恵治 曾我部正博
	2-403-0937s	周期的機械刺激に対する血管内皮細胞の応答 名大・医・第二生理 山田恭子 成瀬恵治 井上真寿美 曾我部正博
	2-403-0945	けいれん関連遺伝子による細胞内機能 神奈川歯科大・生理 <sup>1</sup> 慶應大・医・東医研 <sup>2</sup> 城西大・薬学部 <sup>3</sup> 湯山徳行 <sup>1</sup> 西川慶子 <sup>1</sup> 梶原景正 <sup>1,2</sup> 菅谷英一 <sup>1,2</sup> 本木昌宏 <sup>2</sup> 永沢秀子 <sup>2</sup> 大倉多美子 <sup>2</sup> 津田 整 <sup>2</sup> 菅谷愛子 <sup>3</sup>
	2-403-1000	ホヤ予定神経・脊索2割球間のギャップ結合消失と神経形質発現の連関 群馬大学・医・行動生理、東京大学・医・脳研神経生 <sup>1</sup> 齋藤 実 高橋國太郎 <sup>1</sup>
	2-403-1015	培養神経細胞の抗体産生細胞に対する効果 横浜市立大学医学部第一生理 樋川直司 竹中敏文
	2-403-1030s	内臓に分布するSP・CGRP共存神経線維 横浜市立大学・医学部・第一生理、第一解剖 <sup>1</sup> 板東容子 川上 倫 堀 英明 竹中敏文 日下部辰三 <sup>1</sup>
	2-403-1037s	Dextran-Sulfate によるリンパ球破壊作用 藤田保健衛生大・医・第一生理 森 啓至 中島 昭 佐々木勲
	2-403-1045	ポリアニオンのリンパ球凝集作用のメカニズム 藤田保健衛生大・医・第一生理 中島 昭 森 啓至 佐々木勲
	2-403-1100	Kupffer 細胞-肝実質細胞の相互作用 大阪府立大学農学部獣医学講座 木村和弘 塩田昌一 萱野 司
2-403-1115	骨肉腫株化細胞NYにおける骨吸収因子による線溶系因子への影響 近畿大学第二生理 <sup>1</sup> ・整形外科 <sup>2</sup> 野中藤吾 <sup>1,2</sup> 岡田清孝 <sup>1</sup> 松本 宏 <sup>1</sup> 深尾偉晴 <sup>1</sup> 上嶋 繁 <sup>1</sup> 菊地 啓 <sup>2</sup> 田中清介 <sup>2</sup> 松尾 理 <sup>1</sup> インターロイキンIL-1β、IL-6による末梢神経再生促進機構 横浜市大・医・生理 堀江秀典 赤堀良子 竹中敏文	
2-403-1130	持続的トレーニングによるラット運動ミトコンドリア DNA量の変化 名古屋工業大学 保健体育教室 村上太郎 下村吉治 藤壇規明	

午後		403号室
神経化学(分類番号)	2-403-1300s	拡張性抑圧とタウリン遊離の動態に対するアデノシン作動薬と拮抗薬の効果 兵庫医科大学 第二生理、薬理 <sup>1</sup> 、大阪府立母子医療センター、脳外科 <sup>1</sup> 秦 順一 賀来智宏 林 泰正 永井和男 <sup>1</sup> 森本一良 <sup>2</sup>
	2-403-1307s	コレシトキニンによるラット側坐核モノアミン代謝の変動 鳥居薬品㈱、鳴門教育大学 <sup>1</sup> 、埼玉医大・第一生理 <sup>2</sup> 飯屋勝秀 田中淳一 <sup>1</sup> 山室 裕 <sup>2</sup> 堀 耕治 <sup>2</sup> 野村正彦 <sup>2</sup>
	2-403-1315s	麻酔下ウサギにおける延髄のヒスタミン遊離と気管拡張 昭和大・医・第二生理 昭和大・医・第二生理 金丸みづ子 岩瀬みち子 本間生夫
	2-403-1322s	迷走神経刺激法による神経細胞死の抑制効果 香川医科大学、第一生理 板野俊文 政田哲也 宮本 修 藤澤陸夫 細川二郎 山本良隆 島瀬 修
	2-403-1330s	脳虚血に伴う神経細胞死における胎仔神経細胞の移植とその効果 香川医科大学、第一生理 政田哲也 板野俊文 宮本 修 藤澤陸夫 細川二郎 山本良隆 島瀬 修
	2-403-1337s	局所選択 <sup>1</sup> H-NMRスペクトロスコピーによる低酸素時の脳代謝 大分医大・生理学 <sup>1</sup> 大分医大・外科 <sup>2</sup> 柳井莊緑 西丸直子 添田 徹 <sup>1</sup> 山田和廣
	2-403-1345s	ストレス性刺激によるラット前頭葉皮質の細胞外グルタミン酸濃度変動 工技院・生命研・人間情報部・生体情報研究室 滝田正寿
	2-403-1352s	循環停止後における被験者の5-HT、DA及びそれらの代謝産物の変化 琉球大学・医・第二生理、小倉記念病院研究部 <sup>1</sup> 宮本孝甫 宮本忠臣 <sup>1</sup>
	2-403-1400	脳内NO合成酵素活性に及ぼすグアニジノ化合物の影響 岡山大学医学部分子細胞医学研究施設神経情報学部門 横井 功 羽部 仁 加太英明
	2-403-1415	グルタミン酸神経細胞死の障害性に関する神経化学的研究 金沢大・医・神経情報研伝達、金沢大・医・衛生技術 <sup>1</sup> 安井裕子 馬渡一浩 <sup>1</sup> 品川靖子 加藤 聖
	2-403-1430	アデノシンとt-AcPDIによる培養アストログリア細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度上昇 愛媛大学医学部生理学第一 中村洋一 尾形直則 片岡喜由
	2-403-1445	視索前野内投与オピオイドがノルアドレナリン分泌に及ぼす影響 横浜市立大学医学部第二生理 伊藤恵理子 水野 徹 貴邑富久子
	2-403-1500	ラットへのストレス負荷時の血中、脳内セロトニン代謝の変化 浜松医科大学 第2生理学教室 高田明和 高田由美子 浦野哲盟 井原勇人
	2-403-1515	リン酸化酵素阻害剤による培養神経細胞移動の抑制 群馬大学医学部行動分析 小林 聡 林 謙介 白尾智明
	2-403-1530	PASII/PMP-22抗体によるシュワン細胞の機能解析 慶應義塾大学 生理 脳神経外科 <sup>1</sup> 宮崎唯雄 武田泰生 戸谷重雄 <sup>1</sup> 植村慶一
	2-403-1545	細胞接着分子L1の組織特異的アイソフォームの機能解析 慶應義塾大学医学部生理学教室 武田泰生 阿相皓晃 村上善紀 宮崎唯雄 植村慶一
2-403-1600	PCRによるヒトドレプリンAの解析 慶應義塾大学 生理 脳神経外科 <sup>1</sup> 、群馬大学行動分析 <sup>2</sup> 戸田正博 <sup>1,2</sup> 白尾智明 <sup>1</sup> 池田圭朗 <sup>2</sup> 村上健一 <sup>2</sup> 戸谷重雄 <sup>2</sup> 植村慶一 <sup>1</sup>	
2-403-1615	中枢神経発達時の細胞接着因子F3/F11の変動 自治医科大学第一生理 東京都老人研・実験生物 <sup>1</sup> 島崎久仁子 石田暁宏 春日博子 <sup>1</sup> 小林 悟 <sup>1</sup> 渡辺和志 <sup>1</sup> 川谷述史	
2-403-1630	神経特異的に発現する HPC-1の構造解析 杏林大学医学部第二生理学 藤原智徳 九島洋一 源田ますみ 赤川公朗	
2-403-1645	麻酔薬と中枢神経系ニューロンのc-fos、c-jun発現について 群馬大・医・第一生理 高山清茂 鈴木 隆 三浦光彦	

## 3月26日(大会3日目)

シンポジウム

一般口演

ショートコミュニケーション

3月26日(土)

ホール

午前	ホール
<b>S 9 脳の窓：脳室周囲系の機能と形態</b>	
8:30~12:00	
オーガナイザー 山下 博(産業医大・生理学) 河田 光博(京都府立医大・第一解剖)	
S 9-1)	脳室周囲器官群-ホメオスタシス解明の七福神となりうるか- 京都府立医大・第一解剖 河田光博
S 9-2)	第3脳室前壁部の神経回路網 九州大・医・第一生理 片淵俊彦
S 9-3)	自律神経機能変調器としての最後野 香川医大・第二生理、テキサス大・生理 <sup>1</sup> 西田育弘 森田啓之 村上 宏 Vernon S. Bishop <sup>1</sup> 細見 弘
S 9-4)	脳弓下器官での化学受容機構 産業医大・第一生理 稲永清敏
S 9-5)	脳室周囲系での受容体 新技術事業団 <sup>1</sup> 、大阪バイオサイエンス研 <sup>2</sup> 松下電器産業(株)国際研 <sup>3</sup> 松村 潔 <sup>1,2</sup> 渡辺由美子 <sup>1,2</sup> 尾上浩隆 <sup>1,2</sup> 小田紀子 <sup>1,3</sup> 渡辺恭良 <sup>1,2</sup>
S 9-6)	行動発現に及ぼす脳室周囲系の作用 宮崎医大・第一生理 河南 洋

3月26日(土)

404号室

午前	404号室
<b>S 10 痛覚受容ニューロン活動とシグナル伝達機構</b>	
8:30~12:00	
オーガナイザー 熊澤 孝朗(名古屋大・環境医学研究所)	
S 10-1)	痛覚受容ニューロン活動とシグナル伝達機構 名古屋大・環境医学研究所・神経調節 熊澤孝朗
S 10-2)	内臓ポリモーダル受容体のブラジキニン反応と熱反応の修飾機構 名古屋大・環境医学研究所・神経調節 水村和枝 甲田久士 熊澤孝朗
S 10-3)	ブラジキニン受容体の分子構造とそのシグナル伝達機構 金沢大・医・神経物性 東田陽博 横山 茂 橋井美奈子 木村康宏 武藤 恵
S 10-4)	培養した知覚神経節細胞突起末端部の生理的、薬理的性質 杏林大・医・第二生理 山口和彦 赤川公朗
S 10-5)	脊髄後角ニューロンにおけるサブスタンスPのシナプス伝達修飾作用 東京大・医・脳研生理、三共株式会社・神経科学研 <sup>1</sup> 高橋智幸 田辺光男 <sup>1</sup>
S 10-6)	脊髄痛覚路における緩徐な抑制性シナプス電位 久留米大・医・第一生理、新潟大・医・麻酔 <sup>1</sup> 吉村 恵 矢尻洋一 馬場 洋 <sup>1</sup> 西彰五郎

3月26日(土)

201号室

午前		201号室
心臓循環器分類番号	3-201-0830s	内径40~60μmのラット摘出脳実質細動脈の内腔、外腔灌流標本の作製 信州大学医学部第一生理学教室 堀内哲吉 水野理介 大橋俊夫
	3-201-0837s	リンパ管の自発性収縮に及ぼすNeuropeptideYの影響とα作動薬との相互作用 信州大学医学部第一生理学教室 五十嵐亨 大橋俊夫
	3-201-0845	摘出ウシ腸間膜リンパ管の自発性収縮に及ぼすEndothelin-1の影響 信州大学医学部第一生理学教室 酒井 宏 大橋俊夫
	3-201-0900	単色放射光を用いた微小冠動脈枝造影法の開発 東海大学医学部理科学、高エネルギー物理学研究所 <sup>1</sup> 中條光晃 盛 英三 飛田浩輔 篠崎芳郎 兵頭一行 <sup>1</sup> 安藤正海 <sup>1</sup>
	3-201-0915	レーザー走査型共焦点顕微鏡(CLSM)による微小血管断面形状の計測 国立循環器病センター研究所脈管生理部、循環器形態部 <sup>1</sup> 花井荘太郎 南山 求 増田道隆 <sup>1</sup>
	3-201-0930	ウサギ耳介窓内の細動脈血流と耳介皮膚血流との関係について 国立循環器病センター研究所脈管生理部 南山 求 中野厚史 花井荘太郎
	3-201-0945	生体内生成HbNOの ESRスペクトルの動・静脈における差異 大阪大学医学部第一生理 小坂博昭 久村英嗣 田中知徳 志賀 健
	3-201-1000	微小血管とガラス毛細管での血漿層の厚みの比較 愛媛大・医・第二生理 惣谷昌夫 鈴木洋司 立石憲彦 前田信治
	3-201-1015	デキストランによる赤血球集合体形成の微小循環への影響 愛媛大・医・第二生理 立石憲彦 鈴木洋司 惣谷昌夫 前田信治
	3-201-1030s	スペクトリンの酸化的重合化と微小血管内での赤血球変形 愛媛大・医・第二生理 鈴木洋司 立石憲彦 惣谷昌夫 谷口拓也 前田信治
	3-201-1037s	ラット骨格筋組織の異方性局所血流について 宮城教育大学、宇都宮大学 <sup>1</sup> 、北海道教育大学 <sup>2</sup> 、筑波大学 <sup>3</sup> 前田順一 小宮秀明 <sup>1</sup> 鈴木淳一 <sup>2</sup> 竹宮 隆 <sup>3</sup>
	3-201-1045s	脳虚血による細動脈攣縮→再灌流後hyperemiaとDC potentialの変化 大阪大・医・第一生理 渡邊 学 王 志農 志賀 健
	3-201-1052s	微小血管網における血流・酸素分圧同時観測システム 京都府立医大・第一生理、麻酔科 <sup>1</sup> 伊藤俊之 八重樫和宏 上坂龍至 <sup>1</sup> 福島弘子 <sup>1</sup> 森本武利
	3-201-1100	微小血管領域における酸素供給と消費 京都府立医科大学 第一生理学教室 麻酔学教室 <sup>1</sup> 八重樫和宏 伊藤俊之 上坂龍至 <sup>1</sup> 木下 隆 <sup>1</sup> 福島弘子 <sup>1</sup> 森本武利
	3-201-1115	膵外分泌領域における毛細血管からの酸素放出速度の測定 大阪大・医・第一生理 精山明敏 小坂博昭 陳 声松 志賀 健
3-201-1130	エンドトキシン性ラット肺障害に対する後投与db-cAMPの抑制効果 信州大学・医学部・環境生理、Pulmonary S., Northwestern Univ. <sup>1</sup> 竹園みち子 酒井秋男 上田五雨 Shih-Wen Chang <sup>1</sup>	
3-201-1145	カテコラミンの肺血管収縮部位の局在と血管透過性についての検討 信州大学・医学部・第二生理 芝本利重 山口芳裕 林 哲也 佐伯由香 田中 聡 小山省三	

午後		201号室
心臓循環器分類番号	3-201-1300s	ラット腹腔動脈流域の交感神経緊張の起原 広大・医・第二生理 飯田紀子 入内島十郎
	3-201-1307s	吸入麻酔薬の麻酔深度の変化が腎交感神経活動、圧受容器—交感神経反射に及ぼす効果 信州大学医学部麻酔蘇生学、第二生理 <sup>1</sup> 長谷川陽子 佐伯由香 <sup>1</sup> 小山省三 <sup>1</sup>
	3-201-1315	ラット腎血流autoregulationに影響する条件 広島大・医・第二生理 入内島十郎
	3-201-1330	意識下家兎におけるエンドトキシン血症時の腎交感神経活動ならびに組織血流量 信州大学医学部第二生理 佐伯由香 小山省三 芝本利重 山口芳裕 田中 聡 林 哲也
	3-201-1345	腰・仙髄の前根・後根の電気刺激はラットの坐骨神経血流を増加させる 東京都老人研・自律神経部門、筑波技術短大・生理学 <sup>1</sup> 堀田晴美 佐藤昭夫 佐藤優子 <sup>1</sup>
	3-201-1400	ペプチドによる神経性循環調節の変調機序 国立循環器病センター研究所心臓生理部 山崎登自 秋山 剛 進藤哲明
	3-201-1415	ノルエピネフリンによる心臓アセチルコリン分泌の変調機構 国立循環器病センター研究所心臓生理部 秋山 剛 山崎登自
	3-201-1430	冠動脈閉塞後再灌流時の局所心筋間質ノルエピネフリン動態 国立循環器病センター研究所心臓生理部 進藤哲明 秋山 剛 山崎登自
	3-201-1445	交感神経刺激による肺循環への影響 産業医科大学 応用生理 高地俊郎 前田正信 林田嘉朗
	3-201-1500	肺循環内の化学受容器と圧受容器の遠心性交感神経活動に及ぼす効果 信州大学医学部第二生理 林 哲也 芝本利重 佐伯由香 山口芳祐 田中 聡 小山省三

3月26日(土)

202号室

午前		202号室
筋 ( 分 類 番 号 8 )	3-202-0830	骨格筋単一線維横行小管における WGA の結合位置とその動態 札幌筋科学研究所、国際基督教大学 生物 <sup>1</sup> 藤野和宏 長谷川千史 <sup>1</sup> 有馬利昭 山口俊夫 <sup>1</sup>
	3-202-0845	胃幽門部輪走筋に対する vanadate および genistein の作用 名古屋大学医学部第一生理 梶 亦懸 Chowdhury, J.U. 黄 樹明 富田忠雄
	3-202-0900	カエル骨格筋における興奮-収縮連関機構 札幌医大・第一生理 高氏 昌 筒浦理正
	3-202-0915	筋ジストロフィーモデルマウス骨格筋のカフェイン拘縮と筋細胞内膜系の変動 聖マリアンナ医科大学第二生理学教室 吉岡利忠 根本雅子 山下勝正
	3-202-0930	ヌクレオチド濃度ジャンプに対する骨格筋線維の力学及び螢光過渡応答 大分医大・生理学 1 藤田 卓 堀内桂輔 山田和廣
	3-202-0945	光学的測定によるカエル心筋活動電位波形の光波長依存性 福岡大・医・第二生理 藤城直二 河田 博
	3-202-1000	筋収縮で発生するフォトンの測定 北里大・医・生理学、ME 室 <sup>1</sup> 大貫 信 田中館明博 <sup>1</sup>
	3-202-1015	単収縮中のカエル骨格筋に与えた急速解放の X 線赤道反射に対する影響 帝京大学・医・生理 岩本裕之 杉 晴夫
	3-202-1030	低濃度 ATP による筋線維の収縮とクロスブリッジ構造変化 帝京大学・医学部・第二生理学教室 山田武範 鈴木季直 岩本裕之 和田浩明 杉 晴夫
	3-202-1045	カエル縫工筋細胞膜内構造の不均質性 名古屋大学、医学部、第二生理、名古屋工業大学、保健体育 <sup>1</sup> 河上敬介 曾我部正博 兼松美紀 <sup>1</sup> 吉村篤司 <sup>1</sup> 藤埴チエ <sup>1</sup> 藤埴規明 <sup>1</sup>
	3-202-1100	臓器保存液による摘出門脈輪状筋の保存効果の検討 昭和大学医学部第一生理学教室・同藤が丘病院外科 田村敏則 <sup>1</sup> 佐原正明 梅 建 楠本盛一 <sup>1</sup> 熊田 馨 <sup>1</sup> 久光 正
	3-202-1115	筋ジストロフィー症 dy マウスと正常マウス：筋線維損傷部位で目立つ核 愛知県コロニー・研究所・筋生理、中枢生理 <sup>1</sup> 戸塚 武 渡辺貴美 浦本 勲 <sup>1</sup>
	3-202-1130	ラット切断縫合筋における筋線維型の変化と回復経過 名古屋工業大学、保健体育教室、中京病院、整形外科 <sup>1</sup> 吉村篤司 杉山直幸 <sup>1</sup> 下村吉治 村上太郎 藤埴チエ 藤埴規明
	3-202-1145	ラット心室筋筋小胞体 (SR) 機能の低温による変化 福岡大学 医学部 生理学第一 今永一成 工藤英子

午後		202号室
筋 ( 分 類 番 号 8 )	3-202-1300	モルモット胃平滑筋に対する ATP の作用 名古屋市立大学医学部第 1 生理 山本喜通 大野真朋 鈴木 光
	3-202-1315	筋フィラメント上のミオシン頭部の ATP による動きの電顕下の記録 帝京大・医・生理、帝京大・医・中央 R1 <sup>1</sup> 、帝京大・医・中央機器 <sup>2</sup> 杉 晴夫 秋元 剛 大石 昇 <sup>1</sup> 山辺智代 <sup>2</sup>
	3-202-1330	細胞内 ATP 消費による筋ステイブネス上昇と ADP 効果 大分医大・生理(1) 香川浩一 堀内桂輔 山田和廣
	3-202-1345	ケージド ATP 実験でみたクロスブリッジ過渡反応への ADP の 3 効果 大分医大・生理 1 堀内桂輔 香川浩一 山田和廣
	3-202-1400s	難加水分解性 ATP アナログ、ATP-γ-S の骨格筋線維の短縮速度に対する効果 帝京大学・医・生理 白川伊吹 岩本裕之 杉 晴夫
	3-202-1407s	ウサギ骨格筋線維を弛緩させるのに必要な ATP の濃度 帝京大学・医・生理 牛谷宏子 岩本裕之 杉 晴夫
	3-202-1415	ATP 加水分解時のミオシン S2 の電顕観察 帝京大・医・第二生理、帝京大・医・中央 R1 室 <sup>1</sup> 鈴木季直 柴山理恵 大石 昇 <sup>1</sup> 杉 晴夫
	3-202-1430	代償性肥大筋の収縮機能に関する研究 東海大学医学部生理科学部門 玉木哲朗 内山秀一 寺尾 保 中野昭一
3-202-1445	EDC 架橋筋線維における ATPアーゼとクレアチンキナーゼ 聖マリアンナ医科大学第二生理学教室 山下勝正 吉岡利忠	

3月26日(土)

206号室

午前		206号室
生 殖 分 類 番 号 18 内 分 泌 分 類 番 号 17	3-206-0830s	内側視索前野のNeurotensin mRNA発現の加齢による変化 横浜市立大学医学部第二生理、Mount Sainai Medical School <sup>1</sup> 船橋利也 Kleopoulos, S. P. <sup>1</sup> Mobbs, C. V. <sup>1</sup> 貴邑富久子
	3-206-0837s	雄性ラットのLHRH pulse generatorに対する testosteroneの作用 横浜市立大学医学部第二生理 加藤 章 比留間弘美 貴邑富久子
	3-206-0845	LH分泌調節におけるβ-エンドルフィン・ニュー ロンとグルタミン酸ニューロンの相互関係 聖マリアン医大・第1生理、横浜市大・医第2生理 <sup>1</sup> 千葉篤彦 明間立雄 篠崎玲二 押田守弘 貴邑富久子 <sup>1</sup>
	3-206-0900	視床下部室傍核由来オキシトシンは脳脊髄液を 介して嗅球ニューロンに作用する 高知医大・第一生理 于 国忠 梶 秀人 樋口 隆
	3-206-0915s	子宮オキシトシンの合成調節因子 高知医大・第一生理、福井医大・第二生理 <sup>1</sup> 樋口 隆 根来英雄 <sup>1</sup>
	3-206-0922s	分界条の切断はロードシス反射誘発に必要な エストロジェン量を増加させる 日本医科大学・第一生理、弘前大学・医・第一 生理 佐久間康夫 武尾照子 <sup>1</sup>
	3-206-0930s	シマヘビの最初の脱皮と甲状腺ホルモンについて 日歯大・新潟・口腔生理 吉原正義 村上俊樹
	3-206-0937s	新生仔ラット小脳における甲状腺ホルモン感受 性遺伝子同定の試み 獨協医科大学第一生理学、生化学 <sup>1</sup> 鯉淵典之 市村 薫 <sup>1</sup> 大竹英樹 酒井美加子 松崎 茂 <sup>1</sup> 山岡貞夫
	3-206-0945	成長遅延症マウス下垂体におけるオルニチン脱 炭酸酵素活性の著しい増加 三重大・医・第一生理、医短 <sup>1</sup> 、愛知県コロニー研・生理 <sup>2</sup> 吉田 薫 樋通博重 <sup>1</sup> 戸塚 武 <sup>2</sup>
	3-206-1000	授乳期オキシトシンニューロン活動の同期化機 構の所在 福井医大・第2生理 王 羽峰 根来英雄 本田和正
	3-206-1015s	オキシトシンの視索上核ニューロンK <sup>+</sup> 電流に及ぼす影響 京都工繊大・応用生物 佐藤雄治 村井忠良 中島敏博 清原壽一
	3-206-1022s	酸性繊維芽細胞増殖因子、aFGF、の副腎皮質に及ぼす影響 長崎大、日本臓器・生物活性研 <sup>1</sup> 、富山大 <sup>2</sup> 、新潟大 <sup>3</sup> 松本逸郎 大村 裕 <sup>1</sup> 佐々木和男 <sup>2</sup> 新島 旭 <sup>3</sup> 相川忠臣
	3-206-1030	副腎皮質ホルモン分泌とGTP結合蛋白質 長崎大学・医・第一生理 嶋田敏生 楊 紅 広瀬妙子 小柳真奈子 松本逸郎 相川忠臣
	3-206-1045	発育期の脳に対する甲状腺ホルモンとコルチコ ステロンの協調作用 金沢医科大学・第二生理、薬理 <sup>1</sup> 高橋徳之 鈴木史郎 <sup>1</sup> 須藤真平 宮前俊一 桂田富也 今西 愿
	3-206-1100	視床下部視索上核ニューロンの形態学的可塑性とストレス 京都工芸繊維大学・応用生物学科 宮田清司 伊藤隆雄 中島敏博 清原壽一
	3-206-1115	拘束ストレスによる血漿テストステロン及び皮 脂腺の脂質生成の低下 資生堂・皮膚科学研究所 土屋 徹 堀井和泉
	3-206-1130	ラット視床下部カルシウム代謝調節系とストレス応答 九州大学・医・1生理 粟生修司 馬 静怡 白峰克彦 堀 哲郎
	3-206-1145s	ラット視床下部外側野ニューロンの血液カルシ ウム調節機構 九州大学医学部第一生理 白峰克彦 粟生修司 堀 哲郎
3-206-1152s	ベンゾジアゼピンによる下垂体の恐怖刺激及び 新奇刺激反応の阻害作用 自治医科大学第二生理学教室 八木欽治	

午後		206号室
内 分 泌 分 類 番 号 17	3-206-1300	視床下部神経分泌ニューロンへのシナプス入力 調節の検討 産業医科大学・第一生理 長友敏寿 崔 魯寧 稲永清敏 山下 博
	3-206-1315	脳幹部から視索上核へのカテコラミン投射： CCKによる活性化 自治医科大学第二生理学教室、AFRC Babraham Institute 尾仲達史 レング・カレス
	3-206-1330	視索上核に投射する正中視索前核細胞の血圧 (容量) および浸透圧感受性 福井医大・脳神経外科、同・第2生理 <sup>1</sup> 荒舘 宏 本田和正 <sup>1</sup> 久保田紀彦 王 羽峰 <sup>1</sup> 根来英雄 <sup>1</sup>
	3-206-1345	弓状核領域カテコラミン神経のバソプレッシ ン分泌における役割 新潟大・医・第二生理、鷹揚郷腎研究所 <sup>1</sup> 、浜松 医大・第一解剖 <sup>2</sup> 山口賢二 山谷金光 <sup>1</sup> 渡部和男 <sup>2</sup>
	3-206-1400	遺伝性多飲マウスの内分泌・免疫異常 産業医大第一生理、宮崎医大第一生理 <sup>1</sup> 、広島大 医免疫寄生虫 <sup>2</sup> 田中宏明 河南 洋 <sup>1</sup> 山下優毅 <sup>1</sup> 稲永清敏 山下 博
	3-206-1415	遺伝性多飲マウスの飲水行動に対する非ベアブ ド性アンギオテンシン拮抗薬の作用 産業医科大学・第一生理 稲永清敏 田中宏明 崔 魯寧 長友敏寿 西理枝子 山下 博
	3-206-1430	Estrogenによる第三脳室前腹側部(AV3V)ニュー ロンのAngiotensin II感受性の修飾 新潟大学・医・第二生理学 赤石隆夫 本間信治
	3-206-1445s	カエルの腎臓と膀胱における AVT と PTH の 作用部位 日本歯科大学・新潟歯学部・口腔生理 内山 実 村上俊樹
	3-206-1452s	急性腎不全時の集合管ET-1発現 北里大学医学部内科、東京医科歯科大学医学部 第二内科 <sup>1</sup> 真崎義彦 後藤美枝子 <sup>1</sup> 高見博弥 <sup>1</sup> 塚本雄介 丸茂文昭 <sup>1</sup>

3月26日(土)

207号室

午前		207号室
呼 吸 分 類 番 号 4	3-207-0830	ラット延髄呼吸性ニューロンのCaチャネルの解析 昭和大・医・第二生理、Physiol. Inst., Univ. of Göttingen <sup>1</sup> 鬼丸 洋 K. Ballanyi <sup>1</sup> D. W. Richter <sup>1</sup>
	3-207-0845	延髄呼吸性ニューロン膜電位に対するアセチルコリンの作用 富山医科薬科大学・医学部・薬理 植 彰 百瀬弥寿徳 武田龍司
	3-207-0900	中枢性アドレリン作用に対するヒスタミンの修飾 昭和大・医・第二生理 荒田晶子 鬼丸 洋 本間生夫
	3-207-0915	カエル摘出脳幹標本の呼吸性活動に及ぼす非NMDA受容体アンタゴニストの作用 慈恵医大・第2薬理、カルガリー大・医・生理 <sup>1</sup> 木村直史 John E. Remmers <sup>1</sup>
	3-207-0930	[Ca <sup>2+</sup> ] <sub>i</sub> , pHiの動態からみた頸動脈小体主細胞のCO <sub>2</sub> 及びH <sup>+</sup> の受容 秋田大・医・第二生理 佐藤 實
	3-207-0945	迷走神経ならびに頸動脈洞神経とNaCN投与後にみられる肺の速順性伸展受容器興奮との関連性について 福島県立医科大学 生理学第一講座 松本茂二 清水 強
	3-207-1000s	横隔神経細胞の Recruitment OrderはSize Principleに従うか? 千葉大・医・第二生理、第三解剖 <sup>1</sup> 林 文明 福田康一郎 鳥飼英久 <sup>1</sup> 田中宏一 <sup>1</sup> 千葉胤道 <sup>1</sup>
	3-207-1007s	筋細神経入力による呼吸反応に対する内因性オピオイド及びtizanidineの相互作用 金城学院大学 <sup>1</sup> 、名古屋大学環境医学研究所・神経性調節分野 只木英子 <sup>1</sup> 小崎康子 井関朋子 熊澤孝朗
	3-207-1015	細胞外液カリウム濃度の中枢性呼吸調節への影響 Ruhr大学Bochum生理 岡田泰昌 河合 章 Klaus Mükenhoff Peter Scheid
	3-207-1030	運動に伴う血漿カリウム濃度と心電図波形変化について 金沢工大・経営工学科 千葉大・医・呼吸器内科 <sup>1</sup> 、筑波大・社会保健学 <sup>2</sup> 榊原吉一 増山 茂 <sup>1</sup> 端迫 清 <sup>1</sup> 小島 明 <sup>1</sup> 小林敏生 <sup>2</sup>
	3-207-1045	延髄の低酸素刺激に対する呼吸・気道・循環反応 東海大学医学部第二内科、東邦大学医学部第一生理 <sup>1</sup> Suzuki lunis 近藤哲理 廣川 豊 金澤 修 太田保世 有田秀穂 <sup>1</sup>
	3-207-1100	低酸素時の換気、酸素運搬、酸素消費の変化に及ぼす低体温の影響 労働省・産業医学研、千葉大・医・第二生理 <sup>1</sup> 丸山良子 福田康一郎 <sup>1</sup>
	3-207-1115	仰臥位と座位におけるランブ運動負荷時の呼吸循環系諸指標の応答特性 山形大学工学部電子情報工学科 高橋龍尚 新聞久一 宮本嘉巳
	3-207-1130	運動/呼吸リズム同調時の胸郭のConfiguration 金沢大学教育学部保健教室 高野成子
3-207-1145	運動時の有効的呼吸を促す特殊マスクの検討について 信州大学教養部保健体育、信州大学医学部環境生理学教室 <sup>1</sup> 寺沢宏次 酒井秋男 <sup>1</sup> 柳平坦徳 <sup>1</sup>	

午後		207号室
呼 吸 分 類 番 号 4	3-207-1300	健康成人における呼吸一酸化窒素排気量(VNO)の測定 国立循環器病センター研究所循環動態機能部 下内章人
	3-207-1315	胸壁振動刺激と呼吸困難感との関連 昭和大・医・第二生理 渋谷まさと 金丸 新 中山秀章 本間生夫
	3-207-1330	腹壁筋運動ニューロンにおける反回性抑制性シナプス電位 東京医科大学第二生理、麻酔科 <sup>1</sup> 佐々木誠一、内野博之 <sup>1</sup> 内野善生
	3-207-1345	モルモット鼻粘膜三叉神経の冷受容器とその反射について 東京大学農学部 関澤信一 局 博一
	3-207-1400	ラット拳峯筋の微小循環系におけるpHの変化 北里大学医学部内科・同生理学 <sup>1</sup> 、慶応大学理工学部 <sup>2</sup> 小林弘祐 瀧澤直定 <sup>1</sup> 佐野浩史 <sup>2</sup> 西田早苗 <sup>1</sup> 富田友幸
	3-207-1415	V̇O <sub>2</sub> と発生張力に対する高酸素親和性血液と血流量の影響 奈良医大 第二生理学教室 上月久治 榎 泰義 河瀬雅夫 岸 隆司
	3-207-1430	発声時における喉頭求心性発射活動の解析 千葉大学・医学部・耳鼻咽喉科、第一生理 <sup>1</sup> 三浦 巧 坂本尚志 <sup>1</sup> 柴 啓介 中島祥夫 <sup>1</sup>
	3-207-1445	発声関連の喉頭筋と呼吸筋への扁桃体刺激効果 東京都立大学理学部体育 東邦大学医学部生理 <sup>1</sup> 北 一郎 坂本正裕 <sup>1</sup> 有田秀穂 <sup>1</sup>

3月26日(土)

301号室

午前		301号室
イ オ ン チ ヤ ネ ル ・ レ セ プ タ ー ( 分 類 番 号 9 )	3-301-0830	ニューキノロン系抗菌剤によるGABA受容体応答抑制の構造活性相関 東京大・医・病院薬剤部、鶴見大・歯・生理 <sup>1</sup> 川上純一 浅沼 厚 <sup>1</sup> 山本康次郎 澤田康文 伊賀立二 柳沢慧二 <sup>1</sup>
	3-301-0845	鶏胚胚芽単離細胞における電位依存性イオンチャンネルの発現 大阪大・医・第二生理 吉本由喜子 山下勝幸
	3-301-0900	骨格筋型興奮・収縮関連機構獲得の進化ステップ 徳島大学・酵素研、生理研 <sup>1</sup> 、MBA Plymouth UK <sup>2</sup> 井上 勲 筒井泉雄 <sup>1</sup> BONE.Q <sup>2</sup> BROWN.E.R. <sup>2</sup>
	3-301-0915	培養気管平滑筋細胞のATP受容体について 日本大学医学部第二生理 澤井洋子 王 瑞霞 國分眞一朗
	3-301-0930	マウスにおけるβアドレナージック受容体(βAR)サブタイプの組織分布 藤田保健衛生大総合医科学研究所難病治療共同研究部門 太田 明
	3-301-0945	カルシトニンの破骨細胞イオンチャンネルに対する作用 福岡歯科大学・口腔生理学 岡部幸司 鍛冶屋浩 岡本富士雄 副田博之
	3-301-1000	両親媒性化合物による人工イオンチャンネルの形成(II) 名古屋大・医・第二生理、静岡大・工・物質科学 <sup>1</sup> 曾我部正博 講武芳英 田中康隆 <sup>1</sup> 小夫家芳明 <sup>1</sup>
	3-301-1015	ショウジョウバエ初期胚の培養骨格筋におけるSAチャンネル 名古屋大・医・第二生理 宮津 基 大木隆史 成瀬恵治 曾我部正博
3-301-1030	心臓ペースメーカー細胞I <sub>T</sub> チャンネルに対するSr <sup>2+</sup> 及びCa <sup>2+</sup> のブロック効果 九州大学医学部第2生理学教室 京都大学医学部 第2生理学教室 <sup>1</sup> 丸岡文雄 尾野恭一 野間昭典 <sup>1</sup>	

午後		301号室
心 臓 ・ 循 環 系 ( 分 類 番 号 3 )	3-301-1200	心筋Na <sup>+</sup> /Ca <sup>2+</sup> 交換の起電性の生理的意義 佐賀医科大学第一生理学 塩谷孝夫 額原嗣尚
	3-301-1215	ビルビン酸加心筋保護液による心室筋Caチャンネル電流の機能保持 大分医科大学 生理学第二 小野克重 有田 真
	3-301-1230	心筋Caチャンネルに対するヌクレオチドの作用 鹿児島大・医・第二生理 <sup>1</sup> 、脳外科 <sup>2</sup> 、麻酔 <sup>3</sup> 川原 隆 <sup>1,2</sup> 大園清信 <sup>1,3</sup> 西 孝子 <sup>1</sup> 亀山亜砂子 <sup>1</sup> 亀山正樹 <sup>1</sup>
	3-301-1245	ATP感受性Kチャンネルを介した交感神経伝達物質に対する冠血管の反応 東海大学医学部生体構造機能系生理科学部門 山川明彦 盛 英三 田中越郎 中條光章 篠崎芳郎 ミンハズウッドインモハメド 中野昭一
	3-301-1300	マウス心臓の内向き整流カリウムチャンネル遺伝子の機能的発現 東京医科歯科大学 難研 循環器 石原圭子 平岡昌和
	3-301-1315	カリウムチャンネル遺伝子 Kv1.2のラット心室筋における生後発現変化 秋田大学医学部 薬理学教室 中村一博 飯島俊彦
	3-301-1330	活性酸素のモルモット心室筋Kチャンネルに対する影響について 佐賀医科大学・第一生理学講座 鶴原由一 松浦 博 額原嗣尚
	3-301-1345	新生児ラット初代培養心筋細胞におけるイオンチャンネルの分化 名古屋大学環境医学研究所 郭 為農 神谷香一郎 成 建華 外山淳治
	3-301-1400	活性化に依存したモルモット心室筋ナトリウムチャンネル不活性化 京都大学医学部第二生理学教室 光家 保 王 铸人 野間昭典
	3-301-1415	Outside-out patch をもちいた心筋クロライドチャンネルの研究 佐賀医大・第1生理 平原健司 額原嗣尚
3-301-1430	心房筋細胞背景カリウム電流に対するH <sub>2</sub> O <sub>2</sub> 受容体刺激による抑制作用 北海道大学医学部第二薬理 當瀬規嗣 菅野盛夫	

3月26日(土)

302号室

午前		302号室
環境	3-302-0830	飽和潜水時のトランスアミラーゼ活性の上昇について 海洋科学技術センター 毛利元彦 竹内久美 榎本暢雄 設楽文明 他谷 康
	3-302-0845	過重力環境下における脳波活動と脳循環動態との相関 岐阜大・医・反射研 小西朝隆 佐竹裕孝 松波謙一
	3-302-0900	飽和潜水(3気圧、N <sub>2</sub> -O <sub>2</sub> )時の徐脈発生機序 産業医科大学第二生理、海洋科学技術センター <sup>1</sup> 和田 太 佐川寿栄子 永谷 建 鳥居理子 白木啓三 毛利元彦 <sup>1</sup>
	3-302-0915	深度 300m飽和潜水作業における睡眠時の心拍変動: CV <sub>(R-R)</sub> 海洋科学技術センター 榎本暢雄 竹内久美 設楽文明 他谷 康 毛利元彦
	3-302-0930	静水圧変化に基づく静脈血行動の成因解析 山梨医大、実験実習機器センター <sup>1</sup> 、第2生理 寺田信幸 <sup>1</sup> 堀内城司 小山美樹子 長尾光城 竹内 亨
	3-302-0945	過重力負荷時におけるヒト脳循環動態の変化 鳥取大 医 第二生理、米国Northrop社 <sup>1</sup> 、米国NASA Ames 研究所 <sup>2</sup> 河合康明 S. C. Puma <sup>1</sup> A. R. Hargens <sup>2</sup> G. Murthy <sup>2</sup>
	3-302-1000	宇宙実験のためのテレサイエンス・テストベッド実験-I、装置及び運用 名大・環境医研 神戸大・医・生理 <sup>1</sup> 、宇宙開発事業団 <sup>2</sup> 渡邊 悟 森 滋夫 田中正文 鈴木啓之 安藤啓司 <sup>1</sup> 長岡俊治 <sup>2</sup>
	3-302-1015	宇宙実験のためのテレサイエンス・テストベッド実験-II、卵細胞の膜電位特性の実験 神戸大・医・生理、名大・環境医研 <sup>1</sup> 、宇宙開発事業団 <sup>2</sup> 安藤啓司 渡邊 悟 森 滋夫 田中正文 <sup>1</sup> 鈴木啓之 <sup>1</sup> 長岡俊治 <sup>2</sup>
	3-302-1030	7週間尾部懸垂ラットの血中物質について 慈恵医大・宇宙医学・第一解剖 <sup>1</sup> 中家優幸 小杉一夫 <sup>1</sup> 竹内修二 <sup>1</sup>
	3-302-1045	模擬無重量環境と高重力環境によるラットの尿中電解質の変化 慈恵医大・宇宙医学 須藤正道 和気秀文 小池 右 酒井 紀
分類番号	3-302-1100	Head-down tilt状態で育ったウサギの大動脈神経活動 福島県立医科大学 生理学第一講座 山崎将生 清水 強
	3-302-1115	低圧低酸素負荷時のラットの眼底出血について 航空医学実験隊(環境生理)・日本体育大学 <sup>1</sup> ・信州豊南女子短大 <sup>2</sup> 長田 博 金丸善樹 丸山 聡 井川正治 <sup>1</sup> 櫻村修生 <sup>2</sup>
	3-302-1130	海水ウサギの飲水に及ぼす腸内NaClの影響 広島大学・総合科学部・生理学研究室 安藤正昭
	3-302-1145	学習におよぼす飼育環境磁場の影響に関する予備的研究 埼玉医科大学・第一生理 野村正彦・堀 耕治 寺田庄一 山室 裕 権 五運

午後		302号室
環境	3-302-1200	光駆動反応によるα波の変化と細胞性免疫能との関連性の検討 島根医大・第一生理、東京大・医・心療内科 <sup>1</sup> 亀井 勉 熊野宏昭 <sup>1</sup>
	3-302-1215	若・加齢ラットの血小板凝集能に及ぼす運動の影響 島根医大・第一生理、山陰労災病院・脳神経外科 <sup>1</sup> 橋本道男 原 俊子 田中泰明 <sup>1</sup> 樹村純生
	3-302-1230	ラット寒冷暴露と低酸素性肺血管収縮(HPV) 信州大学・医学部・環境生理 酒井秋男 阮 宗海 柳平坦徳 浅野功治 櫻村修生
	3-302-1245	光周期がラットの寒冷馴化に与える影響 金沢大学大学院自然科学研究科・金沢大学医学部生理学第一講座 <sup>1</sup> 稲石 悟 高野成子 桜田悠太郎 <sup>1</sup> 柴藤 治 <sup>1</sup> 藤掛和美 <sup>1</sup> 永坂鉄夫 <sup>1</sup>

3月26日(土)

304号室

午前		304号室
栄 養 ・ 代 謝 ・ 体 温  ( 分 類 番 号 20 )	3-304-0830	トレッドミル走行中の生理的反応に及ぼす風の 影響(第3報) 兵庫医大第一生理、大阪体育大学 <sup>1</sup> 辻田純三 小山勝弘 武村政徳 堀 清記 梅林 薫 <sup>1</sup>
	3-304-0845	暑熱環境における間欠運動負荷時の体温調節反 応と呼吸循環応答 産業医科大学第2生理 森川壽人 和田 太 永谷 建 中光紳一 三木健寿 佐川寿栄子 白木啓三
	3-304-0900	暑熱環境における運動時の心拍数は生体負担の 指標となりうるか 産業医科大学 第二生理 佐川寿栄子 森川壽人 和田 太 永谷 建 鳥居理子 遠藤 豊 白木啓三
	3-304-0915	定常状態における発汗の動的特性の個人差につ いて 愛知医科大学・生理学第2 小川徳雄 菅屋調査 今井一乃 西山哲成
	3-304-0930	個々の汗腺における汗拍出の観察 愛知医科大学・生理学第2 西山哲成 今井一乃 菅屋調査 小川徳雄
	3-304-0945	異なる温熱負荷時の皮膚血流量と局所発汗量 神戸女子大・家政、神戸大・発達科学 <sup>1</sup> 平田耕造 近藤徳彦 <sup>1</sup>
	3-304-1000	運動時の皮膚血管反応に及ぼす運動強度の影響 金沢大学医学部生理学第一講座 田辺 実 藤掛和美 永坂鉄夫
	3-304-1015	布片被覆の汗蒸散に及ぼす影響 長崎大学熱帯医学研究所環境生理 乙益絹代 山内正毅 小坂光男 大渡 伸 松本孝朗
	3-304-1030	褐色脂肪細胞発熱量に対するアロチノロールの 効果 東海大学、医学部、生理科学、分子生命科学 <sup>1</sup> 田中越郎 山川明彦 白石武昌 山村雅一 <sup>1</sup> 張 楠 中野昭一
	3-304-1045	栄養条件とラット肩甲骨間褐色脂肪組織(BAT) 熱産生一過食と鉄欠乏一 旭川医大第一生理、北海道教育大栄養生理 <sup>1</sup> 、北海道東海大体育 <sup>2</sup> 森谷 満 大日向浩 八幡剛浩 大野都美恵 <sup>1</sup> 小河幸次 <sup>2</sup> 黒島農汎
	3-304-1100	絶食による褐色脂肪機能の変化一特にin vitro 熱産生能と脂肪分解一 旭川医大 第一生理 長鳴雄一 菊池 計 長鳴知明 黒島農汎
	3-304-1115	ラット褐色脂肪組織血流量に対するnitric oxide (NO)の作用 旭川医大 第一生理 長鳴知明 大日向浩 黒島農汎
3-304-1130	Heat selectionにより実際にbody size が小さ くなる 名古屋市立大学、医学部第2生理 古山富士弥 西野仁雄	
3-304-1145	寒冷+拘束負荷ラットでの褐色脂肪組織(BAT) の熱産生能及び G <sub>M3</sub> の変化 旭川医大 第一生理 大日向浩 Saha Shyamal Kumar 黒島農汎	

午後		304号室
栄 養 ・ 代 謝 ・ 体 温	3-304-1200	PC-12 細胞の冷温度感受性 京都工繊大・応用生物 今村耕二 中島敏博 宮田清司 清原壽一
	3-304-1215	視索上核ニューロンの温度・浸透圧感受性 京都工繊大・応用生物 大藤和美 中島敏博 清原壽一
	3-304-1230	視索前野温・冷ニューロンの活動と熱放散・熱 産生反応の関係 大阪大学 医学部 第二生理 張 宜紅 藤原素子 細野剛良 山田 薫 彼末一之
	3-304-1245	慢性脊髄ラットの尾部血流の調節について 長崎大学・熱帯医学研究所・環境生理、医学部・ 第一生理 <sup>1</sup> 土屋勝彦 松本逸朗 <sup>1</sup> 小坂光男 相川忠臣 <sup>1</sup>

3月26日(土)

401号室

午前		401号室
血 液 分 類 番 号 5	3-401-0830	active t-PA と active PAI-1 の測定法 愛知医科大学・第一生理 塩野裕之 徐 堅 松井卓哉 森下浩靖 村瀬 豊 真田 進 酒井淳一 岡田 忠 楳江 勇
	3-401-0845	ウロキナーゼ受容体の定量法の確立 浜松医科大学 第2生理学 井原勇人 浦野哲盟 高田由美子 高田明和
	3-401-0900	家兎循環血中Fibrinopeptide A (FPA) の測定 法の確立と FPA の動態 琉球大学医学部生理学第一講座 中村真理子 金城紀代彦 小杉忠誠
	3-401-0915	家兎血液中の外因性トロンビン濃度測定法の検討 琉球大学医学部生理学第一講座 山下 晋 中村真理子 小杉忠誠
	3-401-0930s	家兎Fibrinopeptide B (FPB) 測定法の検討 琉球大学医学部生理学第一講座 金城紀代彦 中村真理子 小杉忠誠
	3-401-0937s	ヘパリン硫酸類似物質によるプラスミノゲン 活性化の促進について 浜松医科大学 第2生理学教室 高田由美子 浦野哲盟 井原勇人 高田明和
	3-401-0945	硫酸化シノフィランおよび硫酸化オリゴ糖の抗 プラスミン作用 神戸学院大学栄養学部 生理学研究室 台糖株 式会社研究所 <sup>1</sup> 同薬学部 薬品化学研究室 <sup>2</sup> 永松陽子 平田照夫 <sup>1</sup> 岡田芳男 <sup>2</sup> 山本順一郎
	3-401-1000s	プラスミノゲンクリング構造のzwitter ion への親和性 愛知医科大学・第一生理 酒井淳一 徐 堅 森下浩靖 松井卓哉 塩野裕之 村瀬 豊 岡田 忠 楳江 勇
	3-401-1007s	ウシ血管内皮細胞の線溶活性に関する検討 琉球大学医学部生理学第一講座 砂川昌範 花城和彦 中村真理子 小杉忠誠
	3-401-1015	各種ストレス負荷時の線溶活性の変化 浜松医科大学第2生理 浦野哲盟 井原勇人 高田由美子 高田明和
	3-401-1030	X線照射癌細胞のウロキナーゼ (uPA) / コラ ゲナーゼ活性増強と組織破壊 島根医大・生理学 <sup>1</sup> 、島根医大・放射線医学 高橋 敏 <sup>1</sup> 内田伸恵 笠井俊文
	3-401-1045	腫瘍細胞における凝固系因子による線溶系因子 発現制御 宮崎医科大学第二生理 吉田悦男 丸山真杉 杉木雅彦 島谷和弘 大村さゆり 穴井慶太 中山雅美 美原 恒
	3-401-1100	蛇毒出血毒の性質 宮崎医科大学第二生理 丸山真杉 吉田悦男 谷川 誠 島谷和弘 大村さゆり 美原 恒
	3-401-1115	Habutobin に対する抑制物質の研究 琉球大学医学部生理学第一講座 岡勇次郎 中村真理子 小杉忠誠
	3-401-1130	ヒトHbの自動酸化反応性：反応の熱力学的解析 広島女子大学・生活科学・生理 菅原芳明
3-401-1145s	グルタルアルデヒドで固定した赤血球の磁場配向 阪大・医・保健学科、阪大・極限物質研 <sup>1</sup> 東 照正 佐川節子 河口直正 竹内徹也 <sup>1</sup>	
3-401-1152s	鎌状赤血球の形態は必ずしも変形能を反映しない 日本医大・第三内科・第一生理 <sup>1</sup> 、LCB <sup>2</sup> ・LCDB <sup>3</sup> / DIDDK/NIH 比留間博之 C.T.Noguchi <sup>2</sup> 上坂伸去 <sup>1</sup> E.J.Blanchette-Mackie <sup>3</sup> A.N.Schechter <sup>2</sup> G.P.Rodgers <sup>2</sup>	

午後		401号室
血 液 分 類 番 号 5	3-401-1300s	赤血球変形能に対するDocosahexaenoic acidの 作用機序 I：赤血球膜の赤外吸収スペクトルによる解析 東京医大 第2生理、杏林大 医学部 高齢医学 <sup>1</sup> 、生物 <sup>2</sup> 會沢勝夫 黒岩ゆかり 勝海東一郎 林 潤一 <sup>1</sup> 佐藤秀昭 <sup>1</sup> 斎藤衛士 <sup>2</sup>
	3-401-1307s	ヒトε-グロビン遺伝子領域におけるクロマチ ン折りたたみコード 日本医科大学・第一生理学教室 木山裕子
	3-401-1315	各種造血刺激のエリスロポエチン産生量とその 有効性 奈良医大・第二生理 清水 悟 榎 泰義
	3-401-1330s	鉄欠乏性貧血マウスの血漿エリスロポエチン (EPO) 活性 奈良医大・第二生理 坂田 進 榎 泰義 森本委利
	3-401-1337s	イヌ赤血球膜に対するモノクローナル抗体の作 製とその応用 琉球大学医学部生理学第一講座 升田好樹 花城和彦 中村真理子 小杉忠誠
	3-401-1345	GPI アンカー型タンパク質の血球膜上での発現 とその異常 奥羽大、歯、生理、福島県医大、第一内科 <sup>1</sup> 七島 勉 <sup>1</sup> 寺沢 崇
	3-401-1400	ラッパウニ叉棘の糖結合タンパク質の精製 徳島大・総科・生命 中川秀幸 林 弘三
	3-401-1415	低分子量ラット IgEは標的細胞に結合する 琉球大学医学部生理学第一講座 花城和彦 小杉忠誠 玉城 昇 斎藤 滋 中村真理子
	3-401-1430	EBV のヒトBリンパ球感染時におけるCaイ オンの関与 東京医科歯科大学 難治疾患研究所 自律生理 ウイルス <sup>1</sup> 尾野淳子 辰巳仁史 片山芳文 山本興太郎 <sup>1</sup>
	3-401-1445	活性化した白血球の人工微小流路における流動 挙動 農水省食品総合研究所計測工学 菊池佑二

3月26日(土)

402号室

午前 402号室	
3-402-0830s	副腎クロマフィン顆粒膜・内相の誘電解析:ゴーストとの比較 高知医大・第二生理 安藤元紀 入交昭彦
3-402-0837s	共焦点レーザー顕微鏡によるハムスター卵Ca <sup>2+</sup> 波伝播様式の解析 東京女子医大・第二生理 白石浩一 白川英樹 本多祥子 宮崎俊一
3-402-0845	下垂体中葉細胞における自発性Ca振動のω-コノトキシンによる抑制 北海道大、獣医生理、Yale大、薬理 <sup>1</sup> 遊谷 泉 William W. Douglas <sup>1</sup>
3-402-0900	局所カルシウム上昇による分泌顆粒膜融合 自治医大 生理 丸山芳夫
3-402-0915	ACh受容体刺激による鶏胚毛様体神経節細胞内Ca <sup>2+</sup> 上昇機構 鹿児島大・医・一生理 反町 勝
3-402-0930s	A6細胞における細胞外ATPによる細胞内カルシウム濃度上昇機序の検討 神戸大学 第一生理 千葉大学 第二生理 <sup>1</sup> 森 正弘 岡田安弘 河原克雅 <sup>1</sup>
3-402-0937s	低濃度Cd <sup>2+</sup> 、Co <sup>2+</sup> による副腎髄質細胞内Ca <sup>2+</sup> 遊離 鹿児島大・医・一生理 山神和比己 西村茂人 反町 勝
3-402-0945	Mechanism of spontaneous Ca <sup>2+</sup> spikes in rat chromaffin cells NIPS <sup>1</sup> , Dept. Physiol., Faculty of Vet. Med., Hokkaido University <sup>2</sup> , Dept. Physiol., School of Med., Niigata University <sup>3</sup> Busik, J. <sup>1</sup> , Habara, Y. <sup>2</sup> , Warashina, A. <sup>3</sup> , and Kanno, T. <sup>1,2</sup>
3-402-1000	副腎髄質細胞の細胞内Ca <sup>2+</sup> ストアの性状と分泌応答への関与 新潟大医学部第一生理 藁科 彬
3-402-1015	単離鼻腺細胞のAChによるCa流入機構の解析 東北大・医・耳鼻咽喉科、グレン製薬・研究所 <sup>1</sup> 池田勝久 石垣元章 呉大 正 須納瀬弘 石谷幸喜 <sup>1</sup> 高坂知節
3-402-1030	単離鼻腺細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度に及ぼすxanthine系化合物の影響 グレン製薬・研究所 <sup>1</sup> 、東北大学・医学部・耳鼻咽喉科 <sup>2</sup> 石谷幸喜 <sup>1,2</sup> 池田勝久 <sup>2</sup> 須納瀬弘 <sup>2</sup> 呉 大正 <sup>2</sup> 高坂知節 <sup>2</sup>
3-402-1045	乳腺上皮細胞におけるカルシウム流入経路の制御機構 生理研 生体膜、島根医大 生理 <sup>1</sup> 古家喜四夫 榎本浩一 <sup>1</sup> 山岸俊一
3-402-1100	耳下腺腺房細胞のカフェイン誘発性Ca <sup>2+</sup> 放出 東北大学・医学部・第一生理 小澤輝高 西山明德
3-402-1115	PACAPの強力なインスリン放出作用を担うβ細胞受容体と情報伝達機構 鹿児島大学・医学部・第一生理、第一内科 <sup>1</sup> 矢田俊彦 八重倉和朗 <sup>1</sup> 田中弘允 <sup>1</sup>
3-402-1130s	アセチルコリンによるβ細胞小胞体からのCa <sup>2+</sup> 遊離とそれを支えるグルコース依存性Ca <sup>2+</sup> ポンプ 鹿児島大学・医学部・第一生理 浜川典章 矢田俊彦
3-402-1137s	サイリックAMPによるβ細胞内Ca <sup>2+</sup> 調節の二つの機序:細胞膜ATP依存性Kチャネル抑制と小胞体Ca <sup>2+</sup> ポンプ活性化 鹿児島大学・医学部・第一生理、第一内科 <sup>1</sup> 八重倉和朗 <sup>1</sup> 田中弘允 <sup>1</sup> 矢田俊彦
3-402-1145s	マウスβ細胞の細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度と細胞外Na <sup>+</sup> 、Ca <sup>2+</sup> 濃度との関係 滋賀医科大学・第2生理 服部政憲 何 莉萍 丁 維光 北里 宏
3-402-1152s	ラット顎下腺腺房細胞におけるCa <sup>2+</sup> 濃度変化とCa <sup>2+</sup> 依存性膜電流 東北大学・医学部・第一生理、医療短大 <sup>1</sup> 福士靖江 泉井 亮 張 偉 林 曠 <sup>1</sup> 西山明德

午後 402号室	
3-402-1200	モルモット膵腺房のCCK-8刺激による反応に対するVIPの作用 北海道大学獣医学部獣医生理学講座 田中敏子 遊谷 泉 菅野富夫
3-402-1215	ラット藤原氏島におけるアネキシンI, IIの発現及び糖尿病での変化 香川医科大学 第一生理学 <sup>1</sup> 第一内科 <sup>2</sup> 大西 誠 <sup>1,2</sup> 徳田雅明 <sup>1</sup> 正木 勉 <sup>1</sup> 藤村貴志 <sup>1</sup> 田井祐爾 <sup>1</sup> 板野俊文 <sup>1</sup> 松井秀樹 <sup>1</sup> 石田俊彦 <sup>2</sup> 高原二郎 <sup>2</sup> 島瀬 修 <sup>1</sup>
3-402-1230	Substance P及びVIPによるクロライドイオン分泌の増強効果について 生理学研究所 日本大学松戸歯学部 桑原厚和 杉谷博士
3-402-1245	耳下腺アミラーゼ分泌におけるcAMPとCa <sup>2+</sup> 系アゴニストの相乗効果のメカニズム 北海道大学歯学部口腔生理 吉村啓一
3-402-1300	ラット耳下腺における細胞内pHと細胞内Ca濃度 名古屋大学医学部口腔外科、第一生理 <sup>1</sup> 西口浩明 重富俊雄 富田忠雄 <sup>1</sup>

3月26日(土)

403号室

午前		403号室
細胞・分子生理学(分類番号1)	3-403-0830s	ウサギ眼瞼脈絡上板のヌクレオチド受容体を介した[Ca <sup>2+</sup> ] <sub>i</sub> 上昇 東部地域病院・眼科、東京医科歯科大学・医学部・眼科 <sup>1</sup> 、東京医科歯科大学・難治疾患研究所 自律生理 <sup>2</sup> 、廣瀬 晶 所 敬 <sup>1</sup> 、平井恵二 <sup>2</sup> 、片山芳文 <sup>2</sup>
	3-403-0837s	胸腺リンパ球増殖系におけるinsulin-like growth factor-1 (IGF-1)の関与 大阪市立大学・医学部・第2生理 福嶋龍二 羽藤文彦 富永恵子 富永宗近 寺野由剛 木下喜博
	3-403-0845	胸腺上皮性細胞(TEC)増殖系における成長ホルモン(GH)の関与 大阪市大・医・2生理 辻 義光 木下喜博 林 斌 吉田和喜
	3-403-0900	BMP (bone morphogenetic protein)-6 遺伝子のラット脳内における発現 香川医科大学医学部第一生理学講座、歯科口腔外科学講座 <sup>1</sup> 、富沢一仁 松井秀樹 宮本一広 桑田善弘 リゾマール・モイア キレーム・バボス 徳田雅明 板野俊文 長島駿一郎 <sup>1</sup> 島瀬 修
	3-403-0915	胸腺上皮性細胞によるグルココルチコイド誘導性胸腺リンパ球アポトーシスの抑制 大阪市立大学・医学部・第2生理 羽藤文彦 高 躍華 北村憲司 木村修平 木下喜博
	3-403-0930	Fas 抗原刺激によるアポトーシスは細胞内Ca <sup>2+</sup> 濃度の上昇に依存する 東京女子医大・第二生理 押味蓉子 三谷昌平 宮崎俊一
	3-403-0945s	低浸透圧刺激に対する血管内皮細胞のカルシウム応答名大・医・第二生理 成瀬恵治 南 正明 曾我部正博
	3-403-0952s	Caged IP <sub>3</sub> を用いた顎下腺腺房細胞のIP <sub>3</sub> によるCa <sup>2+</sup> 放出 東北大学・医学部・第一生理、医療短大 <sup>1</sup> 、泉井 亮 張 偉 福士靖江 林 曠 <sup>1</sup> 西山明德
	3-403-1000	マウス腹腔マクロファージのα <sub>2</sub> 受容体サブタイプ 島根医大・第二生理、実験実習機器センター <sup>1</sup> 、原 伸正 <sup>1</sup> 、一ノ瀬充行 澤田正史 前野 巍
	3-403-1015	nAChレセプター磷酸化による細胞外Ca <sup>2+</sup> 透過性調節機構 神戸大・医・第一生理、カリフォルニア大・アーバイン校・精神生物学 <sup>1</sup> 、西崎知之 澄川勝美 <sup>1</sup> 岡田安弘
	3-403-1030	マウス筋肉nAChレセプターのγ、ε サブユニット間の構造的、機能的差異 神戸大・医・第一生理、カリフォルニア大・アーバイン校・精神生物学 <sup>1</sup> 、岡田安弘 澄川勝美 <sup>1</sup> 西崎知之
	3-403-1045s	スベアーレセプターモデル トロント大学 小児病院研究所・医学部研究所 丸中裕美子 丸中良典
	3-403-1052s	A-431 細胞によるホスファチジルイノシトール(PI)合成のEGFおよびP <sub>2</sub> プリン受容体を介した調節 徳島大・歯・口腔生理、明海大・歯・口腔生理 <sup>1</sup> 、細井和雄 上羽隆夫 <sup>1</sup> 熱海智子 <sup>1</sup> 杉田憲司 <sup>1</sup> 栗原琴二 <sup>1</sup>
	3-403-1100	A-431細胞のEGFレセプターリン酸化レベルの調節に関与するホスホプロテインホスファターゼの検討 明海大・歯・口腔生理、徳島大・歯・口腔生理 <sup>1</sup> 、栗原琴二 細井和雄 <sup>1</sup> 熱海智子 杉田憲司 上羽隆夫
	3-403-1115	血管内皮細胞におけるCキナーゼによるcyclin-dependent kinasesとcyclinsの2方向性制御 東京大学医学部第二生理、脈管病態生理 周 徹 多久和典子 熊田 衛 多久和陽
3-403-1130	血管新生阻害剤AGM-1470 (fumagillin 誘導体)の血管内皮細胞増殖の抑制機序 東京大学医学部脈管病態生理、第一内科 <sup>1</sup> 、第二生理 <sup>2</sup> 、阿部純一 周 徹 多久和典子 黒川 清 <sup>1</sup> 熊田 衛 <sup>2</sup> 多久和陽	
3-403-1145	細胞増殖制御のカルシウム/カルモジュリン依存性機構：サイクリン・cdk mRNA発現 東京大学医学部 第2生理、脈管病態生理 <sup>1</sup> 、多久和典子 周 徹 熊田 衛 多久和陽 <sup>1</sup>	

午後		403号室
細胞・分子生理学(分類番号1)	3-403-1200	ラット耳下腺腺房細胞に存在する開口放出関連タンパク質 日本大学松戸歯学部生理学教室 吉垣純子 杉谷博士 古山俊介
	3-403-1215	耳下腺細胞のcAMP依存性リン酸化基質の脱リン酸化反応について 日本大学松戸歯学部生理学教室 横山紀子 横山三紀 杉谷博士 古山俊介
	3-403-1230s	ラット耳下腺腺房細胞における内存性アデニリル化反応 日本大学松戸歯学部生理学教室 杉谷博士 横山三紀 古山俊介
	3-403-1237s	百日咳毒素による ADPリボシル化を阻害するウシ大脳由来の物質 日本大学松戸歯学部生理学教室 横山三紀 古山俊介
	3-403-1245	ニシン成熟未受精卵から分泌される精子活性化蛋白質の遺伝子クローニング 獨協医大・第一生理、生化学 <sup>1</sup> 、東京大・理・臨海 <sup>2</sup> 、慶応大・医・分子生物 <sup>3</sup> 、大竹英樹 尾田正二 <sup>2</sup> 五十嵐吉彦 <sup>1</sup> 森沢正昭 <sup>2</sup> 堺 弘介 <sup>3</sup> 清水信義 <sup>3</sup>
3-403-1300	ラット精巣におけるFKBPの発現 香川医科大学泌尿器科、第一生理学 <sup>1</sup> 、桑田善弘 松井秀樹 <sup>1</sup> Guilherme Barros <sup>1</sup> 富沢一仁 <sup>1</sup> 宮本一広 <sup>1</sup> Lizomar Moia <sup>1</sup> 徳田雅明 <sup>1</sup> 板野俊文 <sup>1</sup> 竹中生昌 島瀬 修 <sup>1</sup>	

## 〔編集後記〕

第71回日本生理学会大会における内容のまとめを本号にてお届けします。

若輩校でありながら香川での開催の榮譽をいただき、その責務を全うすべく危機感を持って対応した反面、新しいアイデアを組み込む融通性を失わないよう心がけたのが我々でも無事開催し得た最大の理由であったと思います。開催を経験してみて初めてこれまで70回にわたり開催のお世話を下さった諸先輩方のご苦勞が理解し得たと私はもとより運営委員の全員が感じています。改めてお礼を申し上げたいと存じます。

先輩校からのノウハウをいただきほとんどの部分はそれに従って準備すればよかったです。年代各レベルで前回開催の山梨医科大学や前々回開催の秋田大学医学部の関係者の皆様方とたびたび連絡を取らせていただき指導をいただきました。ポス

ターセッションをやめショートコミュニケーションを採用した点、シンポジウムの公募、テクニカルセミナーの開催、スライドを使わずテレビカメラシステムを採用した点など新しい試みは、先生方でご批判いただき今後の開催運営の参考にさせていただければと存じます。

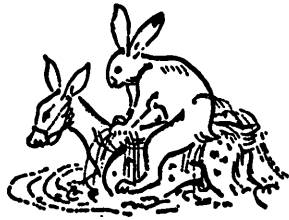
準備期間中、運営委員会のメンバーの意志疎通を図るべく数回の親睦会を行なったことは容易にご想像いただけるでしょう。また終了後の打ち上げでは、激しいパフォーマンスが先輩・後輩の垣根を完全に越えて披露されていました。これが我々のエネルギーの証であるのかもしれませんが。

最後に準備の時から大会期間中そしてその後もいろいろとご協力いただいた生理学会事務局の滝 芳子さんと高井洋美さん、並びに香川医科大学の全関係者に厚くお礼を申し上げます。

(島瀬 修)

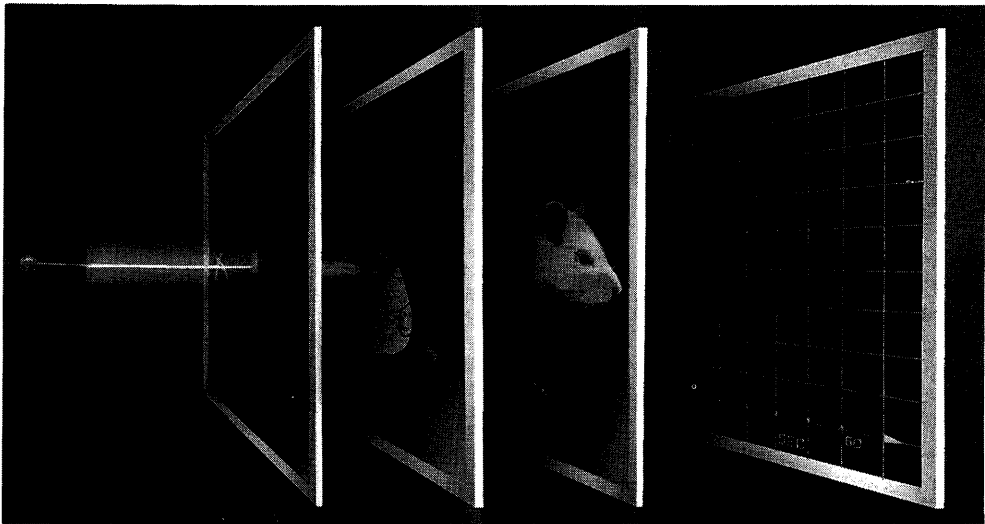
## — 編 集 委 員 —

金子 章道(幹事)	野口 鉄也	野村 正彦
神田 健郎	野崎 修一	中島 祥夫
青木 藩(北海道)	土居 勝彦(東北)	工藤 典雄(関東)
松波 謙一(中部)	福田 淳(近畿)	片岡 喜由(中・四国)
山下 博(九州)		



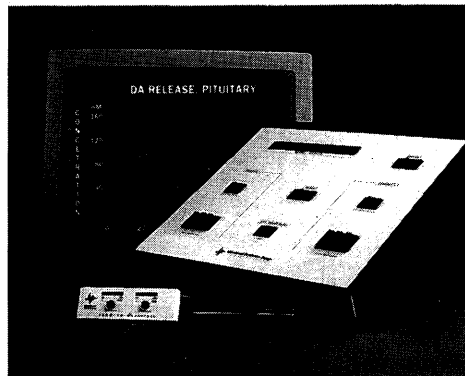
## ニューロトランスミッタ濃度測定装置

# 新登場 IVEC-10



IVEC-10は、神経科学において非常に重要なドーパミン、セロトニン等の各種モノアミン類ニューロトランスミッタの濃度変化を、酸化/還元電流の測定によりin vivo、in vitroを問わずハイ・スピード、リアルタイムでモニタする画期的なシステムです。

- 毎秒1-25回の測定により、急速な現象変化にも追従
- コンピュータによるリアルタイム・データディスプレイおよびデータストレージ
- 低濃度まで測定可能な高感度ハードウェア
- 各種の刺激波形による確実なアミン類の確定
- 個々のカーボン電極のバラツキを完全に克服する、独創的な電極キャリブレーション法
- データの取得から解析、編集、プリントアウトまで、一貫したコンピュータ・コントロール
- 培養細胞、in vivo、in vitroと広い応用範囲



メディカル・システムズ社 日本総代理店

### ショーシンEM株式会社

〒444-02 愛知県岡崎市赤浜町蔵西1番地14(ショーシンビル)

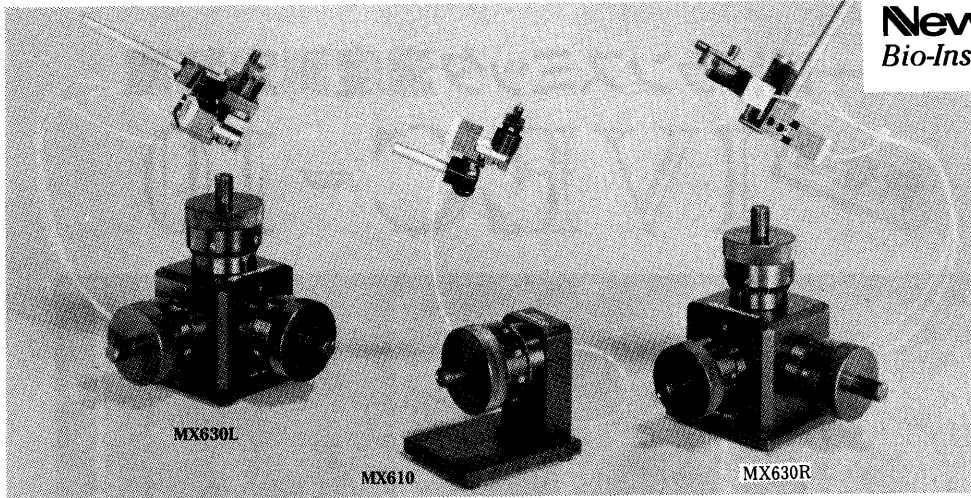
TEL. (0564) 54-1231番(代表)

FAX. (0564) 54-3207番

# 水圧式マイクロマニピュレータ



Newport  
Bio-Instruments

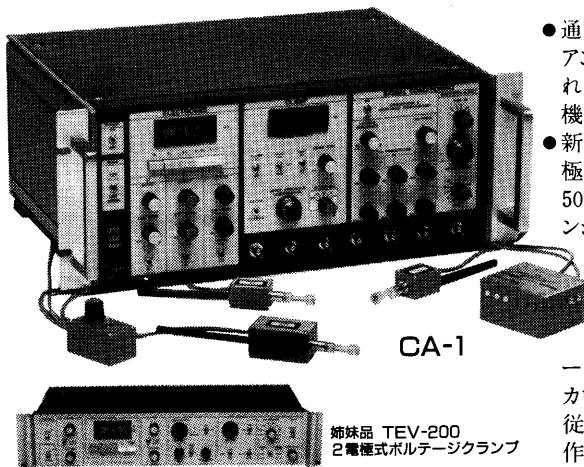


- コンパクトで遠隔操作型
- 低ドリフトで驚くべき安定性
- 高い分解能
- スムーズで応答性に優れた駆動
- 顕微鏡や粗動マニピュレータへのセッティングが簡単

ニューポート社の高性能、低ドリフト型MX-610及びMX-630シリーズの水圧式マイクロマニピュレータは、他社で見られる多くの技術的な問題点を解消しました。手動調節による駆動は円滑で応答性に優れ、Intracellularやパッチクランプの長時間記録をはじめ、マイクロインジェクションや超精密細胞刺入に理想的なマニピュレータです。同社独自の設計により定温下でのドリフトを $1\mu\text{m}/\text{時}$ 以下に抑え、精密なポジショニングが十分な駆動距離から得られます。水圧式のメリットは、油圧システムに比べ熱膨張率が2~3倍低い水の特性を利用したものです。

## High Performance Oocyte Clamp 高性能Oocyteクランプ装置 CA-1 クランプエータワン **Dagan社製**

- \* CA-1 は最も低ノイズで高速度のOocyteクランプシステムです。
- \* 従来の2電極モードと最新のCut-Open Vaseline Gap法によるクランプができます。



- 通常の2電極クランプモード (TEVモード) を、コンプライアンス電圧145V、3タイムコンスタントで容量補正します。これにより従来に無いバスクランプが高精度で得られ、従来機種種の2倍以上高速でクランプします。(当社比)
- 新しい技法である“Cut Oocyte Vaseline-Gap法”は、極めて低ノイズでかつ従来のOocyteクランプ法に比べて50倍以上速くクランプが可能です。(20~100 $\mu\text{s}$ で膜ポテンシャルを変化させる)。

このモードでは、Oocyteの内部還流による細胞内環境の管理が可能で、これにより、数時間に亘り安定した記録が実行できます。

この方法の利点は、速いイオンカレントやゲートチャージカレントの経過時間分解能が著しく向上します。カレントノイズは3KHzで僅か1nARMS以下です。従来の2電極法に比べ大幅に改善されます。CA-1は操作が簡単で、幅広く応用でき優れた性能が得られます。

CA-1のオリジナル設計はBaylor医科大学のDr.Enrico StefaniとUCLA医学部のDr.Franciscao Benzanillaとの業績によるものです。

日本総代理店

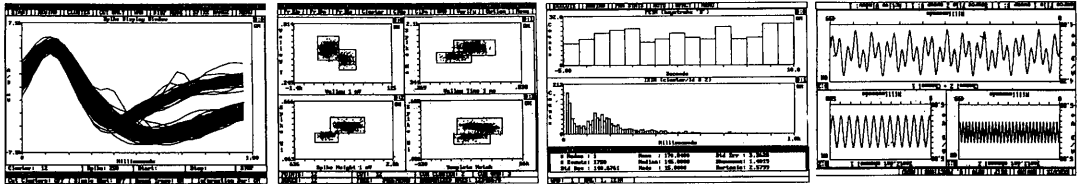


バイオリサーチセンター株式会社

本社 名古屋市中区東桜2-10-21(錦見ビル2F) ☎ 052(932)6421 FAX 052(932)6755  
東京 東京都江戸川区東葛西6-4-10(第6頼長ビル203号) ☎ 03(3878)6471

# WorkBench & Discovery

ワークベンチ&ディスクバリーシステムは、EEG、ECG、EMG等のアナログ信号、ユニット信号を取り込み、リアルタイムで多種多様な解析が可能な優れたシステムです。豊富なコマンドファンクションを持ち、マウス操作で画面表示、データ記録、演算・解析処理、ユニット分離、印刷等が簡単に自動化できます。

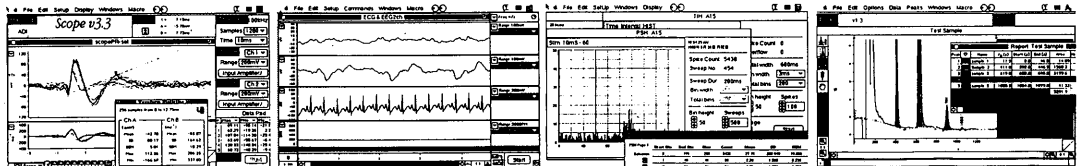


- ユニット分離 1つのユニットより12項目の値を抽出し、最大12のグループに区別します。
- ヒストグラム PETH, IEIH, XCRR, Rate Meter, JPST, Replay, Periodic PETH。
- 波形演算処理 アベレージング、スムージング、FFT、微積分、刺激誘発反応、可変面積、他多数。
- 波形数値抽出 Peak to Peak, dv/dtをはじめ、70種類にも及ぶデータ抽出が可能です。
- ディスプレイ オシロスコープ、ヒストグラム、XYプロット、デジタル表示、他多数。

動作環境	IBM PC-ATまたは100%互換機 (486DX-33MHz推奨)	
最大サンプリングレート	150KHz (1chに限定)	標準装備
	500KHz (1chに限定)	オプション
最大同時入力チャンネル数	16ch (A/Dボード1枚使用時)	標準装備
	32ch (A/Dボード2枚使用時)	オプション

## マックラブシステム

MacLab/8 (8 ch)  
MacLab/4 (4 ch)  
MacLab/2e (2 ch)



マックラブシステムは、アンプ、CPUを搭載したインテリジェントタイプのA-D、D-A インターフェイスです。

《機能例》	マクロによる自動記録	ハードディスクレコーディング
<b>Scope</b>	ストレージオシロスコープ FFT、X-Yプロット 面積計算	加算平均 ピーク自動読み取り プレ・ポストトリガー
<b>Chart</b>	チャートレコーダー ピークホールド タイムスケジュール記録	レートメーター 周波数カウンター ペリオドメーター
<b>Peak</b>	クロマトグラフ	エアラ、リテンションタイム測定
<b>Histogram</b>	ペリスティムラスヒストグラム	タイムインターバルヒストグラム
		スティムレーター dv/dt波形 シグナルジェネレーター カウンター 最高、最低トレンドグラフ オートイベント オートベースライン BINカウント

《仕様》	アナログ入力	xch Max. ±10V サンプルング 100KHz (Max 1ch)
	アナログ出力	1ch Max. ±10V (シングルパルス、バイポーラ、ランプ、ステップ、自在波形)
	デジタル入力	8ch ( /4, /8), 2ch ( /2e) TTL5V (Ver. 3.3)
	デジタル出力	8ch ( /4, /8), 2ch ( /2e) TTL5V (Ver. 3.3)

A. D. I. 社  
日本総代理店



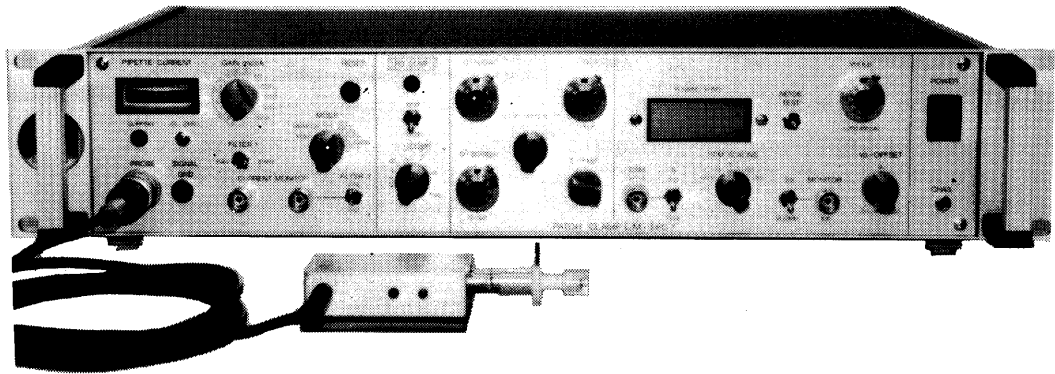
バイオリサーチセンター株式会社

本社 名古屋市東区東桜2-10-21(錦見ビル2F) ☎ 052(932)6421 FAX 052(932)6755  
東京 東京都江戸川区東葛西6-4-10(第6頼長ビル203号) ☎ 03(3878)6471

実績 No.1!! F. J. Sigworth, E. Neher のオリジナル

西独リスト社

# パッチクランプシステム EPC-7



## ■ 主な性能

- ノイズレベル (rms) : 0.05pA 1KHz, 0.30pA 3KHz
- 電流レンジ : 200pA (50GΩ), 20nA (500MΩ)
- 周波数応答 : 100KHz (500MΩ)
- 電位増幅度 : X10
- 測定モード : VC, CC, CC+COMM
- Rs補償 : 1-100MΩ
- 容量補償 : 0-10pF (First)  
: 0.2-10pF, 2-100pF (Slow)
- ホールド電位 : ±200mV
- オフセット電位 : ±50mV
- コマンドレベル : 0, .1, .05, .001, -.1, -.05

日本総代理店/西日本地区発売元



ショーシンEM株式会社

〒444-02 愛知県岡崎市赤浜町蔵西1番地14ショーシンビル  
TEL(0564)54-1231代 FAX(0564)54-3207

東日本地区発売元

(Physio-Tech)

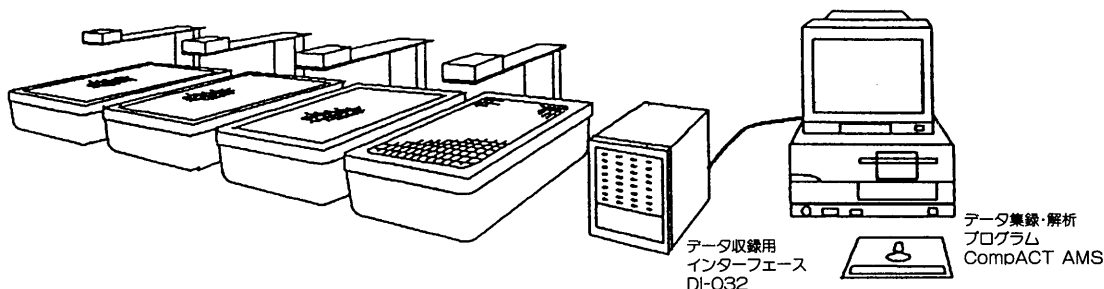
株式会社 フィジオテック

〒101 東京都千代田区内神田3丁目10番3号コイダビル4F  
TEL(03)3258-1641代

# ローコスト型 自発運動量測定システム

# スーパーメックス SUPERMEX

PAT. P.

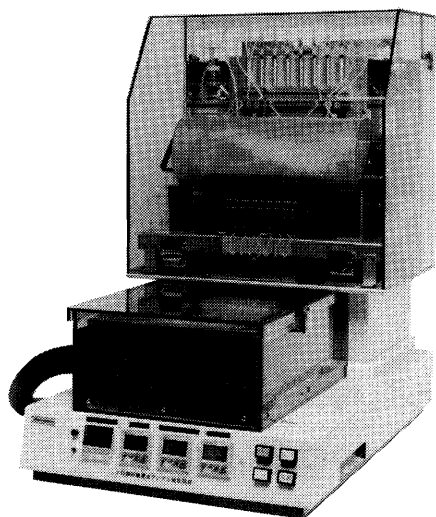


- 飼育ケージを使用することができます。
- 小動物(マウス、ラット、マーモセット等)から大動物(イヌ、サル、ブタ等)までの自発運動量を測定することができます。
- 感度調整等の煩わしい操作は不要です。
- 従来の自発運動量測定装置に比べ少ない予算で多チャンネルのシステム構成が可能です。  
(例：4chのシステム価格 ¥1,500,000.- 8chで¥2,100,000.-)
- 標準で32ch、オプションで最大80chまでのターターを集録し、附属の運動量解析プログラム(CompACT AMS)及び同期解析プログラム(オプション)にてデータの集録・解析を行います。
- 増設は簡単にでき、1ch増設の費用は約15万円です。
- 測定場所から離れた所でデータ集録を行なうことができます。(パソコンとインターフェースの最大距離は約1km)
- 自発運動量に加え、飲水量及び餌の摂取量の測定システムも御見送り致します。

**Muromachi**

総発売元 **室町機械株式会社**

本社：〒103 東京都中央区日本橋室町4-2-1 大辻ビル  
TEL 03(3241)2444 FAX 03(3241)2940  
大阪営業所：〒532 大阪市淀川区木川東4-5-3長谷興産新大阪ビル  
TEL 06(302)1277 FAX 06(302)5026



## 全自動 細胞灌流サンプリング装置 MK-4000

脳スライス切片の各部位を灌流しながら、生体内で行なわれている化学的刺激及び、電気的刺激により灌流液中に放出される物質(サイクリックAMP、神経伝達物質、代謝産物等)を捕集することを目的とした装置です。

従来より行なわれていたレセプター結合実験(RRA)と併用することで、より効果的な神経伝達物質、セカンドメッセンジャー間の相互作用の研究が行なえます。

### ■主な特長

- 脳切片を専用チャンパーにセットするだけで予め設定した灌流操作をし、専用ラックに灌流液を捕集します。
- 切片を入れるチャンパー数及びチャンパーは、ご指定に応じて作成いたします。
- 各チャンパーは、独立した系になっており、コンタミネーションは一切ありません。
- 本体フロントの設定スイッチにより、全ての設定ができます。

**Muromachi**

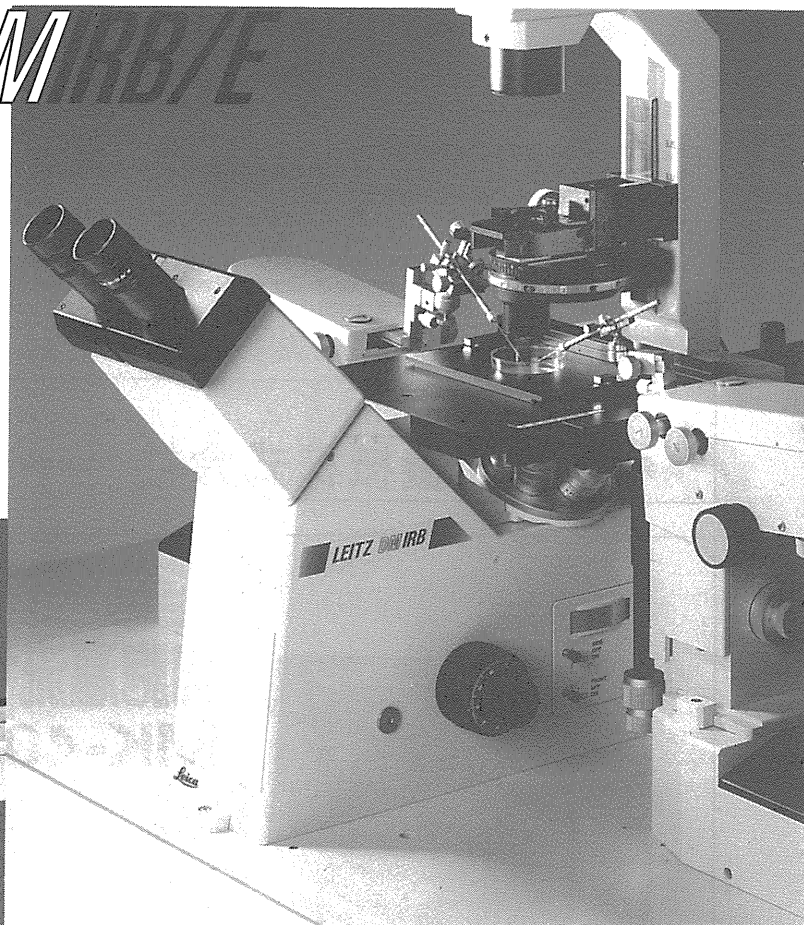
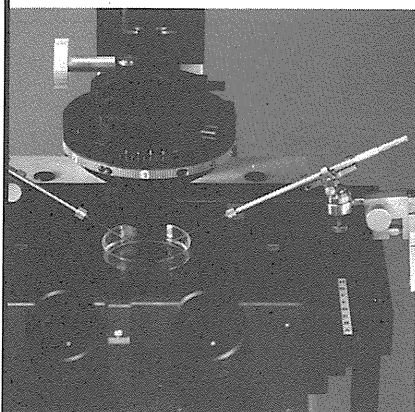
総発売元 **室町機械株式会社**

本社：〒103 東京都中央区日本橋室町4-2-1 大辻ビル  
TEL 03(3241)2444 FAX 03(3241)2940  
大阪営業所：〒532 大阪市淀川区木川東4-5-3長谷興産新大阪ビル  
TEL 06(302)1277 FAX 06(302)5026

さらに進化した4次元倒立顕微鏡

# ライツ DMIRB/E

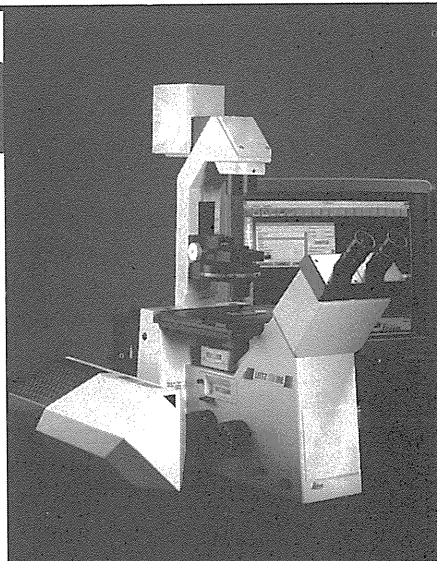
ライツDMIRB/Eはバイオテクノロジー及び医学研究のための万能倒立顕微鏡です。無限遠光学系を装備したライツDMRの新シリーズで、さらにお求めやすくなりました。



開発コンセプトはタイム & スペース(時間と空間)

作業性の飛躍的向上とゆとりの空間を実現しました。

# LEITZ DMIRB/E



ライカTCS4D倒立型共焦点レーザー顕微鏡

## 高い安定性と先進のエルゴノミック設計・アクセス性

- 重心の低いコンパクトなスタンド、機能性を追求したアクセス機構
- 全てのコントロール類を手元に配置、疲労の少ない観察
- 各社のマニピュレータと簡単にアクセス

## 抜群の光学性能・デルタオプティクス

- 対物レンズの交換不要、位相差レンズですべての観察法が瞬時に可能
- 光効率を最大限有効にする短くシンプルな光路
- 高画質を実現する色収差補正された全光学系
- 自動コントラスト機能付カバーガラス補正L対物レンズ
- 落射蛍光のイメージシフト(像ズレ)ゼロ、多重露光が瞬時に可能

## ゆとりの空間と高アクセス性

- 広いステージは3方向からのアクセスを実現
- 従来の2倍の倍率と空間の微分干渉観察、長作動70mmコンデンサーで対物40×まで可能
- 多機能ポート—最大4つの画像ドキュメンテーションが可能

## 自動化・遠隔操作機能が標準装備(DHIRB/E)

- 新Eフォーカスシステム(インテリジェント機能オートフォーカス)
- 急速上下機能付電動対物レボルバー
- RS232Cインターフェース内蔵

## ワークステーション

- オープンな設計は高度な実験・研究の核となります

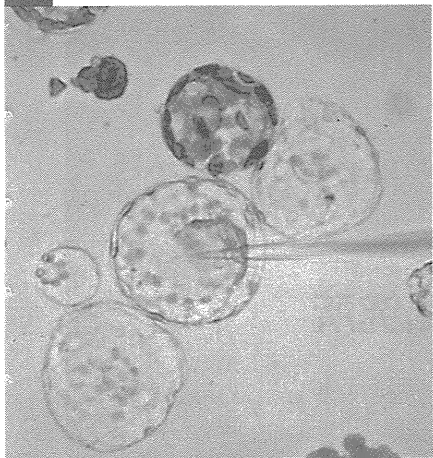
## さらにお求めやすくなった価格

- 1) DMIRB(サイドポート、ベルトランレンズ付) ¥1,705,000~
- 2) DMIRB/SLR(フロント/サイドポート、1.6倍倍率チェンジャー付) ¥2,252,000~
- 3) DMIRB/E(Eフォーカス、電動対物レボルバー、RS232Cインターフェース付) ¥2,994,000~

※価格には消費税は含まれておりません。

**Leica** ライカ株式会社  
顕微鏡科学機器

本社 〒101 東京都千代田区猿楽町2丁目8番8号 猿楽町ビル13F  
Tel.03-3292-9813(代表) Fax.03-3292-9777  
大阪支店 〒530 大阪市北区梅田1丁目11-4 駅前第4ビル15F  
Tel.06-345-9771 Fax.06-345-9772  
名古屋営業所 〒460 名古屋市中区錦2丁目15-20 三永伏見ビル2F  
Tel.052-222-3939 Fax.052-222-3784  
つくば出張所 〒302 茨城県取手市戸頭3-34-5-406  
Tel.0297-78-7875 Fax.0297-78-7352



# Whole-Cell Clamp System

MODEL

TM-1000

- 人間工学的なデザイン、簡便で確実な動作。
- 安全性の高い直列抵抗の補償。(Rs:0~20M $\Omega$ )
- ダイナミックレンジの大きなオフセット及びホールド電圧設定。



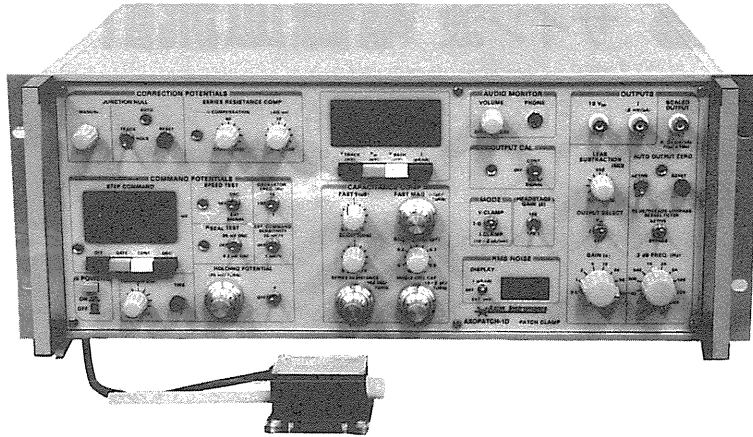
※2点支持タイプ(メカニカル ドリフト フリー)の電極ホルダー標準装備。



株式会社 アクトME研究所

〒173 東京都板橋区大谷口北町89-8-202 TEL:03-3554-5946

# AXOPATCH-1D PATCH CLAMP



低ノイズ      ハイスピード      安定性と信頼性

AXOPATCH-1Dはsingle-channelパッチクランプとwhole-cellクランプするために開発された増幅器です。極めて低いノイズ・レベルと素早い応答力を特徴としています。重要な部分はハイブリッド化により完全シールドされています。

AXOPATCH-1Dはボルテージクランプと同様にカレントクランプ・モードでも作動します。フィードバック抵抗は同じセルからsingle-channel電流とwhole-cell電流を記録するため、リモートコントロールができます。

CV4ヘッドステージは下記の3種類があります。

## AXOPATCH-1Dの特徴

- 使いやすい容量補償
- ラグ・コントロールつき直列抵抗補償
- コマンド電位発生器
- 接合電位除去
- RMSノイズモニター
- ZAP (パッチ膜破壊)
- 可変出力ゲイン
- DCオフセット除去
- 可変低域通過ベッセルフィルター
- シールテスト
- オーディオモニター
- 漏れ電流除去

## AXOPATCH-1Dのヘッドステージ

**CV4 1/100** whole-cellクランプ (20 nAまで) とsingle-channel電流を記録するためのものです。50 GΩと500 MΩのフィードバック抵抗があります。

**CV4 0.1/100** 大きなセル (200 nA; >>100 pF) の whole-cellクランプとsingle-channel電流を記録するためのものです。50 GΩと50 MΩのフィードバック抵抗があります。

**CV4B 0.1/100** 人工膜からsingle-channel電流を記録する為の特別なヘッドステージです。大きなコマンド電圧の間、サチレーションを防ぐために外部から50 GΩと50 MΩのフィードバック抵抗でコントロールできます。(大きなセルのヘッドステージと同型です)

西日本地区発売元



INTER MEDICAL CO., LTD.

株式会社 インターメディカル

本社 千461 名古屋市東区葵一丁目25番1号  
TEL (052) 937-7060/937-5423  
TLX 444-3603 WDMEC J  
東京支社 千157 東京都世田谷区柏谷三丁目32番16号  
製造営業部 アビタシオン千歳島山102号  
TEL (03) 5384-6387 FAX (03) 5384-6487

東日本地区発売元

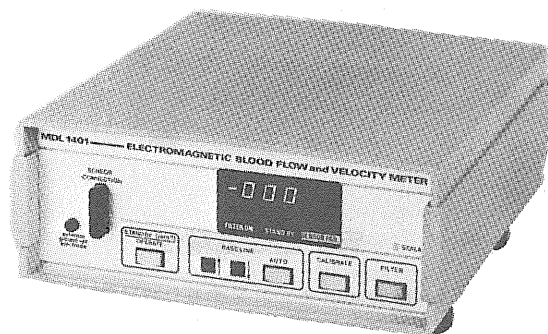
(Physio-Tech)

株式会社 フィジオテック

千101 東京都千代田区内神田3丁目10番3号  
コイダビル4F  
TEL (03) 3258-1641(代)

# SKALAR サイン波 電磁血流計 MDL 1401

超小型軽量プローブにより、ラットの心拍出量から門脈、肝、腎動脈まで急性及び慢性実験用として安定した測定が可能となりました。



## サイン波電磁血流計 MDL 1401

スカラー社製 サイン波電磁血流計 (MDL 1401) はサイン波励磁により、低雑音 (0.12  $\mu$ Vrms) 低ドリフト (2%以内) 及び超小型軽量プローブ (0.5mm $\phi$ ) が可能となり、急性実験はもとより、慢性実験にも安定した測定ができる画期的な血流計です。

日本総代理店

**LMS**  
Laboratory & Medical Supplies

株式会社 エル・エム・エス

デモのご依頼等、お気軽にご相談下さい。

〒113 東京都文京区湯島2-22-10 後藤ビル  
☎03-3833-0910(代) FAX(03)3833-5910(代)

ラットから犬までの血圧を自動測定できます！

米国 NARCO 社製

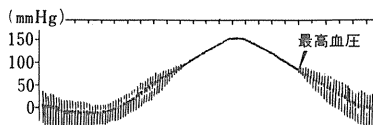
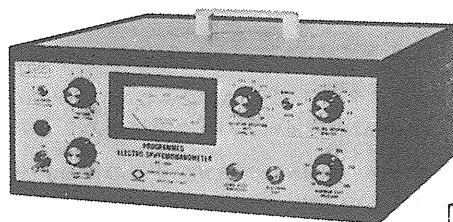
## 非観血式血圧測定装置

# PE-300

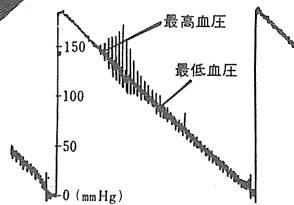
本装置は高感度トランスジューサーを用いてラット及びマウスの尾動脈よりパルスを検出し、非観血的に最高血圧を自動測定するものです。PE-300は発売以来、研究者の皆さまに好評を得ており、さらにアクセサリーを交換すれば各種動物の最高および最低血圧を自動測定できます。

### ■特徴

- ①マウス・ラットの最高血圧を簡単に測定できます。
- ②カフの交換により、犬・猿・人間等の最高血圧及び最低血圧の測定が可能です。
- ③本体は一般のチャート・レコーダ等にも容易に接続できます。
- ④極めて再現性の高い血圧測定装置です。



<RATの血圧データ>



<DOGの血圧データ>

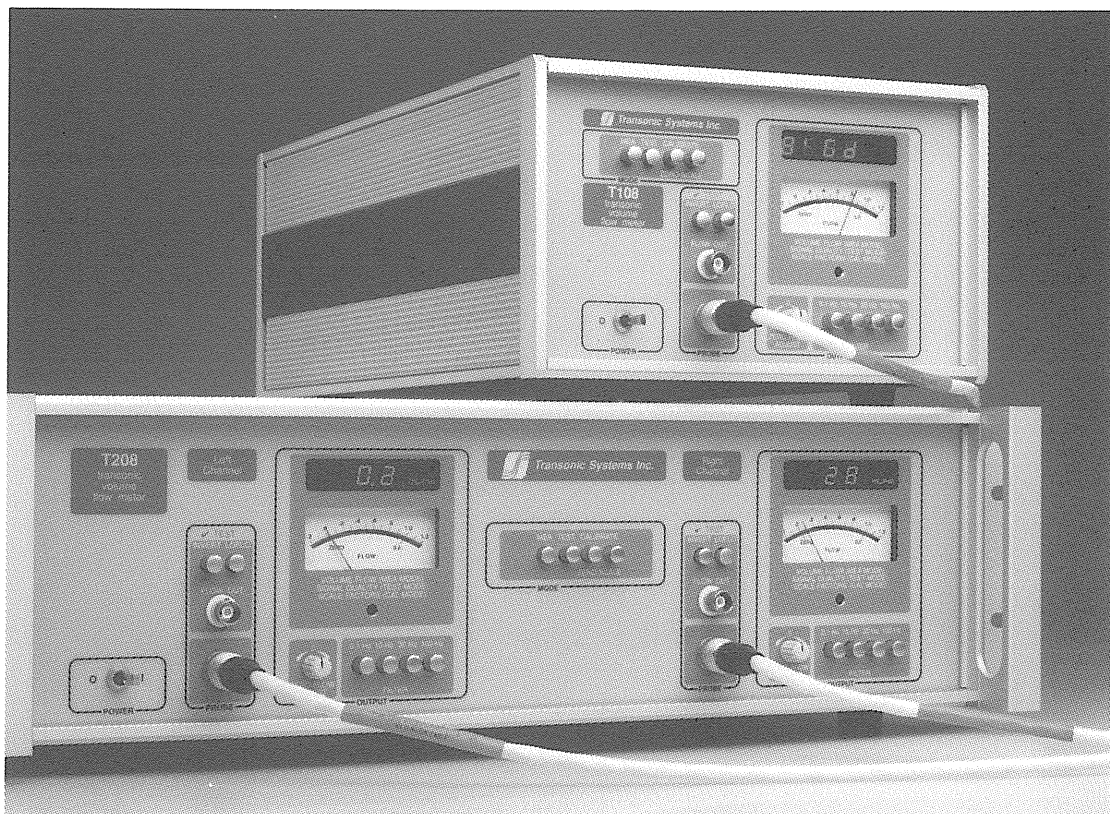
株式会社 エル・エム・エス

〒113 東京都文京区湯島2丁目22番10号 後藤ビル  
TEL (03)3833-0910(代) FAX (03)3833-5910(代)

# 超音波トランジットタイム血流量計

Volume Flow in ml/min

T106/206 HT107/207 T108/208 HT109



実験動物の小型化に対応してトランソニック社ではコーネル大学と協力して微小血管(0.25mm φ)の定量測定用(ml/min)超小型プローブを開発致しました。

## 特長

- 血管に対して無拘束で血流量(ml/min)を連続測定できる。
- 最小血管径0.25mm φから最大48mm φまで測定できる。
- ラット等小動物の微小血流のモニタリングができる。
- 急性、慢性(長期埋込み)測定ができる。
- 血管の形状に左右されないので静脈も測定できる。
- 血管に無拘束なので正確な拍動波形が測定できる。
- 体外循環などチューブの上からも測定できる。
- 2チャンネルでは同時に2ヶ所の血流量測定ができる。
- 超音波トランジット方式なので血液以外の流体でも測定できる。

(株)トランソニック システムズ ジャパン

〒350 埼玉県川越市山田1621-1 Tel. 0492-26-0557 Fax. 0492-23-0028

**Transonic Systems Inc.** Ithaca, NY, USA

# パッチクランプ / ホールセルクランプの 測定に威力を発揮!



細胞膜の研究に

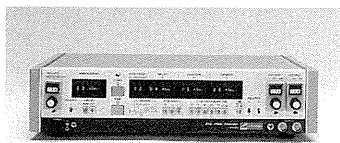
## パッチ / ホールセルクランプ用増幅器 CEZ-2400

パッチクランプ法とホールセルクランプ法（小型細胞全体の膜電位固定法）による測定が、プローブの交換無しで可能。セルアタッチレコーディングからホールセルレコーディングまで、効率よく実験が行えます。

- 同一プローブ内で50GΩ / 500MΩ の電流検出抵抗が切り換え可能。
- トランジェント補正完了時に、膜容量・シリーズ抵抗が測定可能。
- 4次ベッセルフィルタを内蔵、更にノイズの低減を実現。

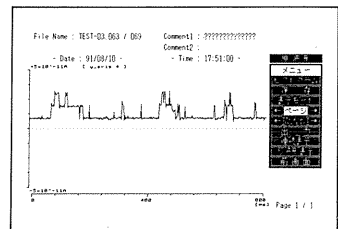
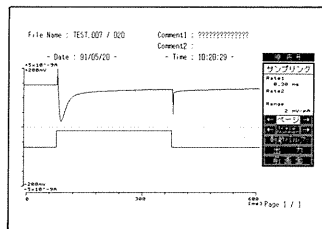
### ステップパルスジェネレータ SET-1201

高精度のパルス発生回路と、ステップ電圧発生回路を組み合わせ、パッチ / ホールセルクランプに必要なコマンド信号を高い精度で発生できます。



### パッチ / ホールセルクランプ用処理プログラム QP-120J

パッチクランプ法及びホールセルクランプ法により測定された微小イオン電流のデータを、パーソナルコンピュータ（PC-98シリーズ）を使用して、保存・解析するためのプログラムです。



編集兼  
 発行人

東京都文京区本郷三丁目三〇一〇  
 布池ビル(四階)  
 日本生理学会

印刷者

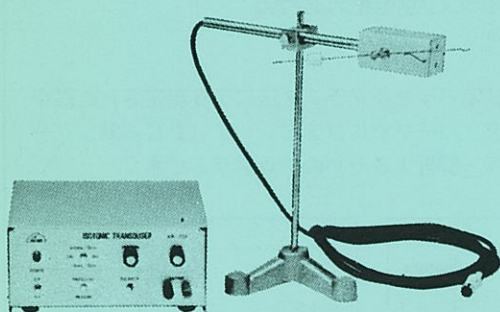
〒九九七  
 山形県鶴岡市山王町二四二四  
 平田印刷株式会社

発行所

〒一三三  
 東京都文京区本郷三丁目三〇一〇  
 布池ビル(四階)  
 日本生理学会

振替  
 口座  
 番号  
 〇〇三三  
 五三六八  
 一八四一  
 一四二二  
 三〇三三  
 〇三九四  
 円番九四

# KN-259 生体用変位計 PAT.P



トランスジューサーと増幅器からなる、微小変位測定装置です。これまでキモグラフィオン・ヘーベルを用いて行っていた測定を電氣的測定におきかえることにより、取扱いの簡便さ、再現性および信頼性を高めました。

- |           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 測定範囲      | 0~50mm (±25mm)<br>(中心軸より100mmの時) |
| 分解能       | 無限大                              |
| 最大摩擦トルク   | 50mg・cm以下                        |
| 直線性       | ±3%                              |
| 出力インピーダンス | 5KΩ以下                            |
| 校正器       | 10mm<br>極性切換スイッチ付                |

理化学器械・基礎医学器械・実験動物飼育機械器具・薬学研究器械・医科器械一般



株式会社 夏目製作所

〒113 東京都文京区湯島2丁目18番6号  
 電話 03(3813)3251 FAX 03(3815)2002  
 千里技術開発室(千里ライフサイエンスセンタービル11F)  
 〒565 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
 電話 06(873)3251 FAX 06(873)2045